

調布市基本計画策定に関する  
市民アンケート調査報告書

平成25年3月  
調布市



# 目次

## 第1章 調査の目的と概要

---

1 調査の目的	3
2 本報告書の特徴	3
3 調査の内容（設問の構成）	4
4 調査方法及び調査期間	6
(1) 調査対象者	6
(2) 配布と回収	6
(3) 調査期間	6
5 回収の結果	6
6 地域区分	7
7 報告書を見る際の注意事項	8
(1) 集計方法	8
(2) 数値の端数処理方法	8
(3) 自由意見	8
(4) その他	8

## 第2章 調査結果

---

1 回答者の属性	11
2 「新たな基本計画」について	14
1) 「強いまち」をつくるプロジェクト	14
2) 「安心して住み続けられるまち」をつくるプロジェクト	15
3) 「利便性が高く快適で豊かなまち」をつくるプロジェクト	16
4) 「うるおいのあるまち」をつくるプロジェクト	17
3 「日ごろの意識や行動」について	18
○ 防犯について	18
○ 子ども・子育て支援について	20
○ 健康づくりについて	22
○ 生涯学習について	26
○ 地域コミュニティについて	28
○ 芸術・歴史文化について	35
○ 市街地整備について	37
○ 道路・交通について	42
○ 人権・男女共同参画について	44
○ 参加と協働のまちづくりについて	48
4 「国民体育大会・オリンピック」について	52
○ 国民体育大会の開催について	52
○ 2020年東京オリンピック招致について	54
5 「調布のまちへの愛着・親しみ」について	56

## 第3章 自由意見

---

1 自由意見の内訳	61
-----------	----

2	4つの重点プロジェクトに関する自由意見.....	62
	1)「強いまち」づくりについての意見・提案.....	62
	2)「安心して住み続けられるまち」づくりについての意見・提案.....	67
	3)「利便性が高く快適で豊かなまち」づくりについての意見・提案.....	73
	4)「うるおいのあるまち」づくりについての意見・提案.....	83
3	今後の調布市におけるまちづくりの視点に関する事由意見.....	89
	施策 01 災害に強いまちづくり.....	89
	施策 02 防犯対策の推進.....	89
	施策 03 消費生活の安定と向上.....	90
	施策 04 子ども・子育て家庭の支援.....	91
	施策 05 学校教育の充実.....	93
	施策 06 青少年の健全育成.....	93
	施策 07 共に支え合う地域福祉の推進.....	94
	施策 08 高齢者福祉の充実.....	95
	施策 09 障害者福祉の充実.....	96
	施策 10 セーフティネットによる生活支援.....	97
	施策 11 雇用・就労の支援.....	97
	施策 12 生涯を通じた健康づくり.....	97
	施策 13 生涯学習.....	98
	施策 14 市民スポーツの振興.....	98
	施策 15 地域コミュニティの醸成.....	98
	施策 16 活力ある産業の推進.....	100
	施策 17 魅力ある観光の振興.....	101
	施策 18 都市農業の推進.....	103
	施策 19 芸術・文化の振興.....	103
	施策 20 地域ゆかりの文化の保存と継承.....	104
	施策 21 良好な市街地の形成.....	104
	施策 22 地域特性を生かした都市空間の形成.....	106
	施策 23 良好な住環境づくり.....	111
	施策 24 安全で快適なみちづくり.....	111
	施策 25 総合的な交通環境の整備.....	114
	施策 26 地球環境の保全.....	116
	施策 27 水と緑による快適空間づくり.....	116
	施策 28 ごみの減量と適正処理.....	118
	施策 29 生活環境の保全.....	118
	施策 30 平和・人権施策の推進.....	120
	施策 31 男女共同参画社会の形成.....	120
	行革プラン.....	120
	その他.....	123
	【参考】調査票.....	129

## 第1章 調査の目的と概要

---



## 1 調査の目的

---

調布市では、調布市総合計画に基づき、総合的かつ計画的なまちづくりを推進しています。平成13年度から平成24年度までを計画期間とする総合計画の終了に伴い、これを引き継ぎ発展させていくため、新たな総合計画（平成25年度から平成34年度）の策定に取り組みました。

平成24年6月には、市議会の議決を経て、「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」をまちの将来像として掲げた新たな調布市基本構想を策定しました。また、この将来像の実現に向け、基本的な施策の体系や各施策における主要事業の概要などを一体的に示す新たな調布市基本計画（平成25年度から平成30年度）の策定に取り組みました。

本調査は、新たな基本計画の検討内容などに関して、市民のみなさんの意識・行動等を把握し、計画づくりと今後の市政運営に活用することを目的として行いました。

## 2 本報告書の特徴

---

### まちづくり指標の現状値を把握

本報告書では、新たな基本計画に位置付けた施策等のうち、「防犯」「子ども・子育て支援」「健康づくり」「生涯学習」「地域コミュニティ」「芸術・歴史文化」「市街地整備」「道路・交通」「人権・男女共同参画」「参加と協働のまちづくり」の10分野に関して、市民の意識や行動を図る指標（まちづくり指標）の現状値を把握・整理しています。

新たな基本計画では、分野別計画の31施策について、施策の成果向上をはかるものさしとして「まちづくり指標」を設定しています。この調査で把握した指標等の一部についても「まちづくり指標」としています。今後の計画の推進にあたっては、これらのまちづくり指標等を定期的に把握し、目標達成に向けた進行管理を行っていきます。

### 新たな基本計画の重点プロジェクトに関する優先度を把握

新たな基本計画において、計画期間内に重点的に取り組むべきとして位置付けている「強いまち」「安心して住み続けられるまち」「利便性が高く快適で豊かなまち」「うるおいのあるまち」の4つの重点プロジェクトに関し、優先的に実施すべき取組内容を把握しています。

### 3 調査の内容（設問の構成）

本調査は、「新たな基本計画」、「日ごろの意識や行動」、「国民体育大会・オリンピック」、「調布のまちへの愛着・親しみ」の4区分から構成されており、具体的な設問構成は以下の通りです。

図表 設問の構成

問	内容	基本計画 まちづくり 指標	報告書 掲載頁
<b>「新たな基本計画」について</b>			p 14
1	「強いまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。		
2	「安心して住み続けられるまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。		
3	「利便性が高く快適で豊かなまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。		
4	「うるおいのあるまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。		
<b>「日ごろの意識や行動」について</b>			p 18
5	「防犯」について、自分の住んでいる地域が治安の面で安心できていると感じていますか。	○	
6	「子ども・子育て支援」について、地域の子どもの見守りを意識していますか。		
7	「子ども・子育て支援」について、児童虐待に関する相談をどこで受け付けているか知っていますか。	○	
8	「健康づくり」について、健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動などに参加していますか。	○	
9	「健康づくり」について、定期的ながん検診を受けていますか。		
10	「健康づくり」について、どのようながん検診を、どのような場所で受けていますか。		
11	「生涯学習」について、この1年くらいの間に、生涯学習に取り組んだことがありますか。		
12	「生涯学習」について、生涯学習を通じて身につけた知識・技能をまちづくりや仲間づくりなど自分以外のために生かしていますか。	○	
13	「地域コミュニティ」について、この1年間に地域の活動やイベントに参加したことがありますか。	○	
14	「地域コミュニティ」について、それほどのような団体のどのような活動ですか。		
15	「地域コミュニティ」について、「地区協議会」の取組をご存じですか。		
16	「地域コミュニティ」について、地域福祉センターやふれあいの家を利用されたことがありますか。		
17	「地域コミュニティ」について、地域福祉センターやふれあいの家を利用されていない理由は何ですか。		
18	「芸術・歴史文化」について、この1年間に市内外を問わず、文化施設等で芸術文化（音楽、演劇、美術、舞踊伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら芸術文化活動を行いましたか。		
19	「芸術・歴史文化」について、どこで芸術文化を鑑賞または芸術文化活動を行いましたか。	○	
20	「市街地整備」について、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的であると思いますか。また、中心市街地の魅力を高めるために必要なものは何だと思いますか。	○	
21	「市街地整備」について、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。	○	
22	「市街地整備」について、深大寺周辺で特に優れていると思う景観は何ですか。		
23	「市街地整備」について、普段利用する市内の駅周辺は、利便性が高いと思いますか。	○	
24	「道路・交通」について、普段利用する市内の道路が安全で快適であると思いますか。		
25	「人権・男女共同参画」について、いじめ・虐待・差別などの様々な人権問題について関心がありますか。		
26	「人権・男女共同参画」について、女性に関することで、人権問題として早期に解決すべきことはどのようなことだと思いますか。		
27	「人権・男女共同参画」について、調布市男女共同参画推進センターが市民プラザあくろす内にあることを知っていますか。	○	



問	内 容	基本計画 まちづくり 指標	報告書 掲載頁
28	「人権・男女共同参画」について、家事や子育て、介護など家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。	○	
29	「参加と協働のまちづくり」について、今後、市政・まちづくりに参加したいと思いますか。		
30	「参加と協働のまちづくり」について、どのような手法で参加できますか。また、どのような参加手法をとれば、より多くの市民の意見が行政に届きやすいと思いますか。		
31	「参加と協働のまちづくり」について、参加をしない・関心がない理由は、主にどのようなことですか。		
<b>「国民体育大会・オリンピック」について</b>			<b>p 52</b>
32	「国民体育大会」について、「第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会」（スポーツ祭東京 2013）が開催されることを知っていますか。		
33	「国民体育大会」について、開催をどのように知りましたか。		
34	「2020 年東京オリンピック招致」について、東京都が行っている 2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の招致活動において、東京スタジアム（味の素スタジアム）が競技会場の候補になっていることを知っていますか。		
35	「2020 年東京オリンピック招致」について、2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されることを希望しますか。		
<b>「調布のまちへの愛着・親しみ」について</b>			<b>p 56</b>
45	調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。		
46	調布のまちに親しみや愛着を感じている理由は何ですか		

## 4 調査方法及び調査期間

### (1) 調査対象者

市内に在住する満 16 歳以上の市民を対象とし、住民基本台帳から、性別・年齢・地域構成に合わせて、約 3,000 人を無作為に抽出しました。

### (2) 配布と回収

郵送による調査票の配布、返信用封筒による回収を行いました。

### (3) 調査期間

平成 24 年 1 2 月 7 日 (金) ~ 平成 24 年 1 2 月 27 日 (木)

## 5 回収の結果

調査票の回収率は 42.5% であり、各属性の回収結果は以下の通りです。

図表 属性ごとの回収結果

属性	対象者数 <sup>注1)</sup>		配布数 <sup>注2)</sup>		回収数		回収率 (%) (b/a)	
	実数 (人)	構成比 (%)	実数(票) (a)	構成比 (%)	実数(票) (b)	構成比 (%)		
<b>総数</b>	189,793	100.0	3000	100.0	1,276	100.0	42.5	
性別	男性	93,133	49.1	1474	49.1	481	37.7	32.6
	女性	96,660	50.9	1526	50.9	781	61.2	51.2
	無回答	—	—	—	—	14	1.1	—
年齢	16~19 歳	7,343	3.9	116	3.9	30	2.4	25.9
	20~29 歳	27,490	14.5	434	14.5	99	7.8	22.8
	30~39 歳	36,646	19.3	580	19.3	190	14.9	32.8
	40~49 歳	36,621	19.3	581	19.4	246	19.3	42.3
	50~59 歳	24,339	12.8	389	13.0	190	14.9	48.8
	60~69 歳	25,451	13.4	405	13.5	223	17.5	55.1
	70 歳以上	31,903	16.8	495	16.5	294	23.0	59.4
	無回答	—	—	—	—	4	0.3	—
地域	東部地域	46,443	24.5	736	24.5	272	21.3	37.0
	北部地域	41,113	21.7	653	21.8	297	23.3	45.5
	南部地域 (中心市街地)	29,874	15.7	471	15.7	202	15.8	42.9
	南部地域 (中心市街地以外)	38,538	20.3	602	20.1	259	20.3	43.0
	西部地域	33,825	17.8	538	17.9	237	18.5	44.1
	無回答	—	—	—	—	9	0.7	—

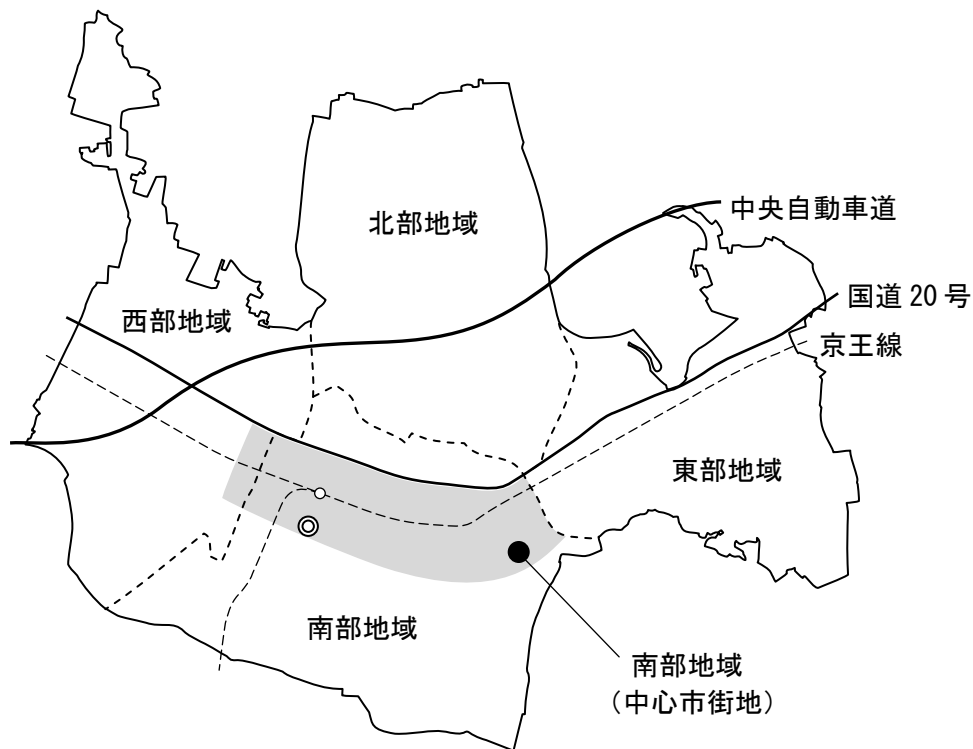
注1)平成 24 年 10 月 1 日現在の 16 歳以上の住民基本台帳登録者数。

2)宛名不明等の理由により、差し戻された分を除いた値。

**6 地域区分**

本調査における地域区分は、以下の通りです。

図表 各地域の位置と対象となる町丁目



1 東部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 西部地域
菊野台1～3丁目 東つつじヶ丘1～3丁目 西つつじヶ丘1～4丁目 入間町1～3丁目 仙川町1～3丁目 緑ヶ丘1～2丁目 若葉町1～3丁目	佐須町1～5丁目 柴崎1～2丁目 調布ヶ丘3～4丁目 深大寺元町1～5丁目 深大寺北町1～7丁目 深大寺東町1～8丁目 深大寺南町1～5丁目	小島町1～2丁目 布田1～4丁目 国領町1～5・8丁目	小島町3丁目 布田5～6丁目 国領町6～7丁目 染地1～3丁目 多摩川3～7丁目 調布ヶ丘1～2丁目 八雲台1～2丁目	飛田給1～3丁目 上石原1～3丁目 富士見町1～4丁目 下石原1～3丁目 多摩川1～2丁目 野水1～2丁目 西町

## 7 報告書を見る際の注意事項

---

### (1) 集計方法

- 本調査では、回答全体（n=1,276）をまとめて集計した「単純集計」のほか、性別や年齢層などの属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。
- 年齢層別クロス集計について、16～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が調布市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

### (2) 数値の端数処理方法

- 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して端数処理を行っているため、百分率の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。
- 上記比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。

### (3) 自由意見

- 自由意見は、新たな基本計画の施策体系に基づいて分類しています。
- 複数分野について言及している場合は、適宜分離した上で、該当する項目に分割して掲載しています。

### (4) その他

- 本文及び図表において、設問選択肢の表記の長いものについては、煩雑さを避けるために、一部で表記を簡略化しています。
- 一般的に、母集団が2万人以上の場合、統計上、無限母集団として捉えるため、2,000件程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映していると言われていています。本調査では、母集団は2万人以上の無限母集団であり、対象者数約3,000人（回収数約1,300件）は調査結果を見る上で、統計上有効な数値であると考えられます。

## 第2章 調査結果

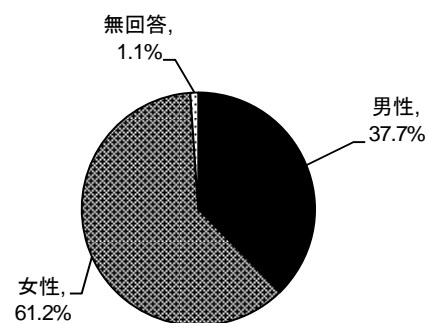
---



## 1 回答者の属性

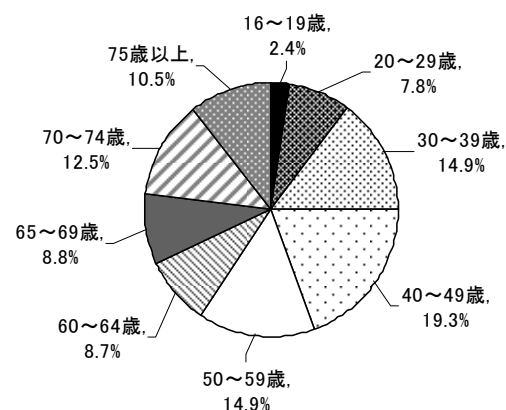
### (1) 性別

○回答者の性別は、男性が 37.7%，女性が 61.2%であり、女性が男性を 23.5 ポイント上回っています。



### (2) 年齢層

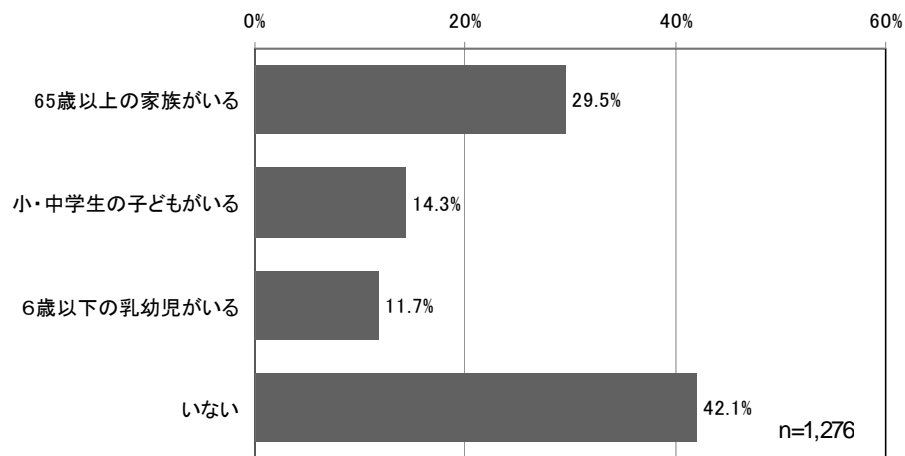
○回答者を年齢層別に見ると、40歳代が 19.3%，30歳代と 50歳代が 14.9%，70歳代が 12.5%の順で多くなっています。



### (3) 子ども又は高齢者の同居の有無

○回答者が同居する中学生以下の子ども又は 65 歳以上の高齢者は、「いない」が 42.1%で最も多く、次いで「65歳以上の家族がいる」の 29.5%の順となっています。

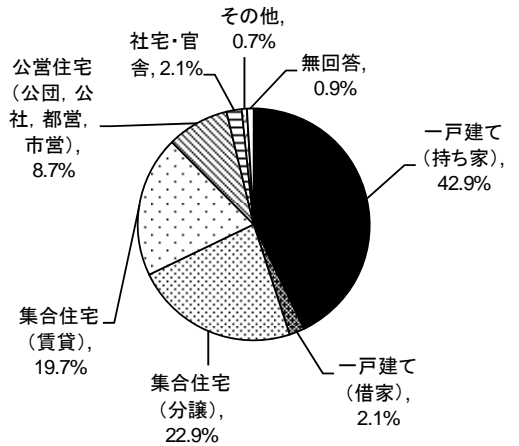
○中学生以下の子どもがいる回答者は 26.0%（「6歳以下の乳幼児がいる」+「小・中学生の子どもがいる」）で約3割近くを占めています。



第2章 調査結果 <回答者の属性>

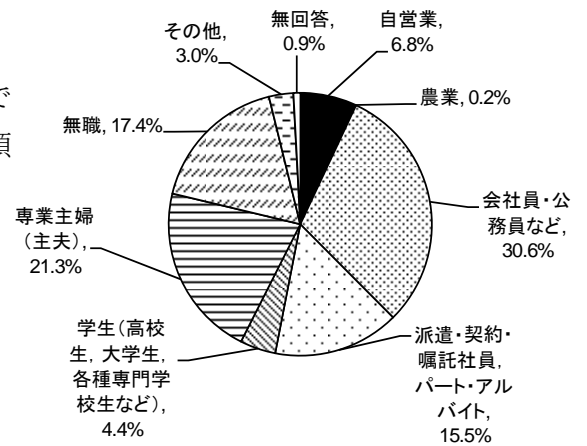
(4) 居住する住居形態

○回答者の住居形態は、「一戸建て（持ち家）」が42.9%で最も多く、次いで「集合住宅（分譲）」の22.9%の順となっています。



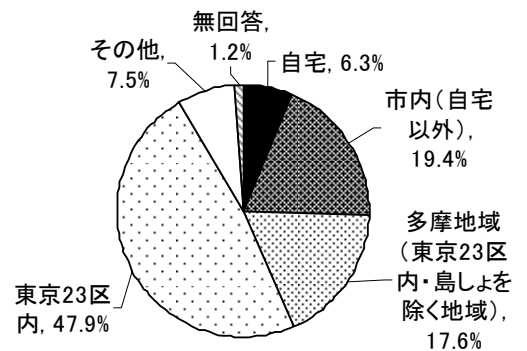
(5) 職業

○回答者の職業は、「会社員・公務員など」が30.6%で最も多く、次いで「専業主婦（主夫）」の21.3%の順となっています。



(6) 通勤・通学先

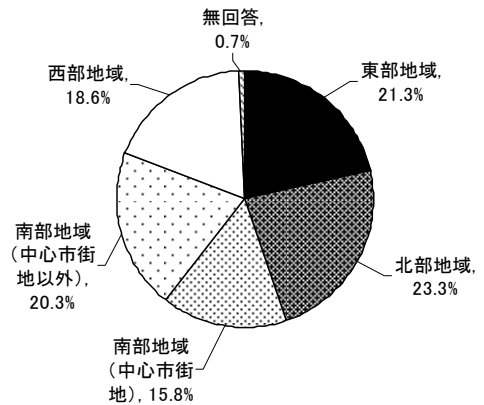
○回答者の通勤・通学先は「東京23区内」が47.9%で最も多く、次いで「市内（自宅以外）」の19.4%の順となっています。





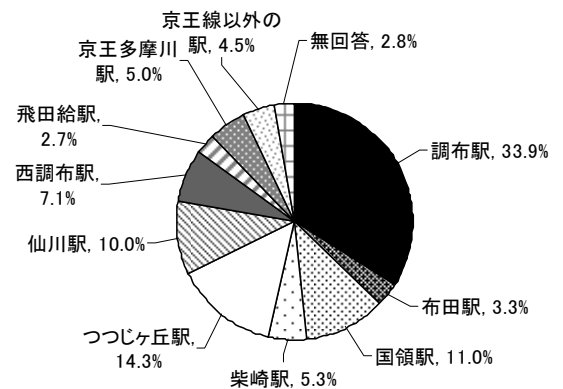
(7) 現在の居住地域

○回答者の居住地域は、平成 24 年 10 月 1 日現在の調布市の人口構成とほぼ同様となっており、「北部地域」が 23.3%で最も多く、次いで「東部地域」の 21.3%の順となっています。



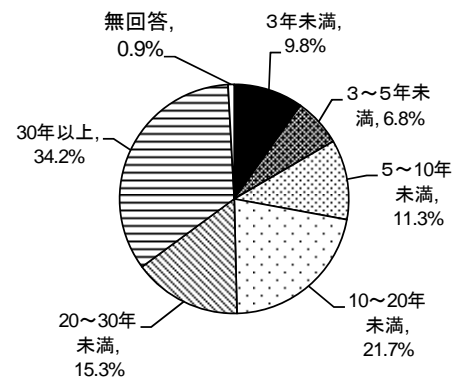
(8) 普段利用する駅

○回答者の普段利用する駅は、「調布駅」が 33.9%で最も多く、次いで「つつじヶ丘駅」の 14.3%の順となっています。



(9) 居住年数

○回答者の居住年数は、「30年以上」が 34.2%で最も多く、次いで「10~20年未満」の 21.7%の順となっています。



**2 「新たな基本計画」について**

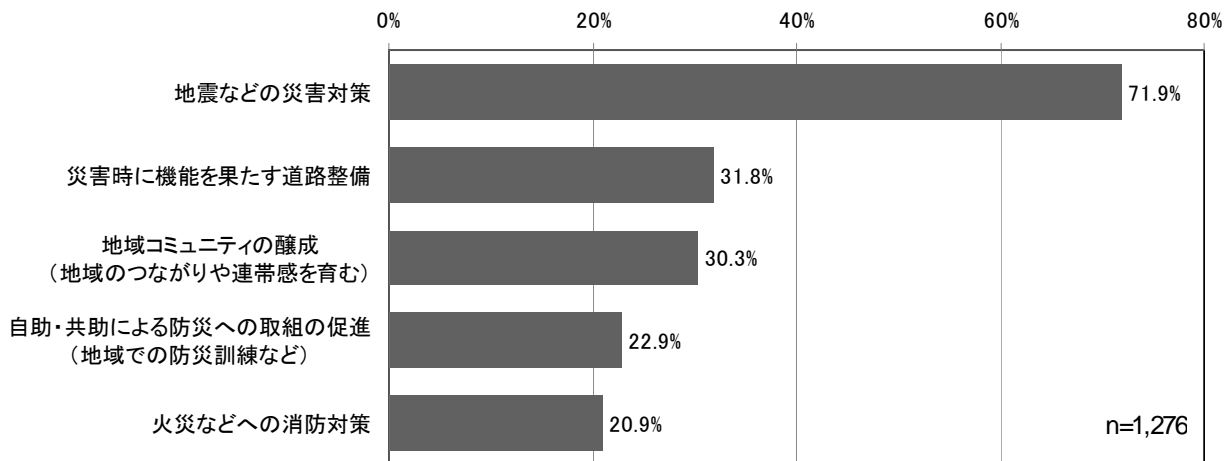
**1 「強いまち」をつくるプロジェクト**  
 これまでの防災対策の取組に加え、震災の対応や教訓を踏まえた災害に強いまちをつくりま

問1) 「強いまち」づくりについて、今後の市の取組として、どれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

<全体 (n=1,276) >

- 「地震などの災害対策」が71.9%で最も多く、7割を上回っています。
- 次いで、「災害時に機能を果たす道路整備」の31.8%、「地域コミュニティの醸成（地域のつながりや連帯感を育む）」の30.3%の順となっています。
- 年齢層別に見ると、「地震などの災害対策」の割合は50歳代以下で高くなる傾向が見られます。
- また、「自助・共助による防災への取組の促進（地域での防災訓練など）」と「地域コミュニティの醸成（地域のつながりや連帯感を育む）」それぞれの割合が60歳代を中心に高くなる傾向が見られます。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		地震などの災害対策	火災などへの消防対策	災害時に機能を果たす道路整備	自助・共助による防災への取組の促進 (地域での防災訓練など)	地域コミュニティの醸成 (地域のつながりや連帯感を育む)
年齢	16～19歳 (n=30)	73.3%	10.0%	26.7%	26.7%	30.0%
	20～29歳 (n=99)	73.7%	20.2%	30.3%	19.2%	28.3%
	30～39歳 (n=190)	77.4%	20.0%	34.7%	21.1%	23.7%
	40～49歳 (n=246)	76.0%	25.6%	33.3%	18.7%	28.0%
	50～59歳 (n=190)	74.7%	23.7%	33.7%	25.8%	31.6%
	60～69歳 (n=223)	68.2%	18.8%	30.9%	28.3%	35.0%
	70歳以上 (n=294)	64.6%	19.0%	29.6%	22.4%	32.7%

## 2 「安心して住み続けられるまち」をつくるプロジェクト

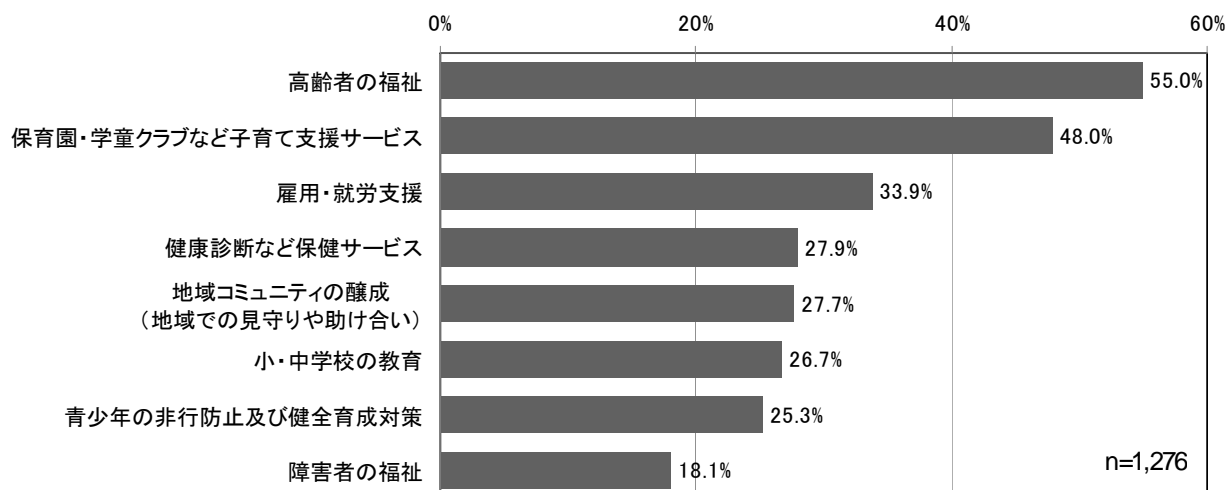
福祉や子育て，教育などの面で，誰もが安心して住み続けられるまちをつくります。

問2)「安心して住み続けられるまち」づくりについて，今後の市の取組として，どれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

<全体 (n=1,276) >

- 「高齢者の福祉」が55.0%で最も多く，半数を上回っています。
- 次いで，「保育園・学童クラブなど子育て支援サービス」が48.0%となっています。
- 年齢層別に見ると，20～30歳代では「保育園・学童クラブなど子育て支援サービス」「小・中学校の教育」「健康診断など保健サービス」の割合が高い一方，50～60歳代では「高齢者福祉」の割合が高くなっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		保育園・学童クラブなど子育て支援サービス	小・中学校の教育	青少年の非行防止及び健全育成対策	高齢者の福祉	障害者の福祉	雇用・就労支援	地域コミュニティの醸成 (地域での見守りや助け合い)	健康診断など保健サービス
年齢	16～19歳 (n=30)	40.0%	13.3%	20.0%	43.3%	10.0%	56.7%	33.3%	23.3%
	20～29歳 (n=99)	58.6%	32.3%	23.2%	37.4%	17.2%	40.4%	24.2%	37.4%
	30～39歳 (n=190)	69.5%	38.4%	21.6%	37.4%	14.2%	26.8%	22.6%	32.1%
	40～49歳 (n=246)	45.9%	34.1%	20.3%	54.5%	15.9%	37.8%	24.4%	28.0%
	50～59歳 (n=190)	46.3%	16.8%	26.3%	67.9%	19.5%	42.1%	29.5%	25.3%
	60～69歳 (n=223)	43.9%	17.5%	25.1%	65.5%	23.3%	33.2%	29.1%	26.5%
	70歳以上 (n=294)	37.1%	25.9%	33.0%	57.8%	17.7%	26.2%	32.3%	25.5%

### 3 「利便性が高く快適で豊かなまち」をつくるプロジェクト

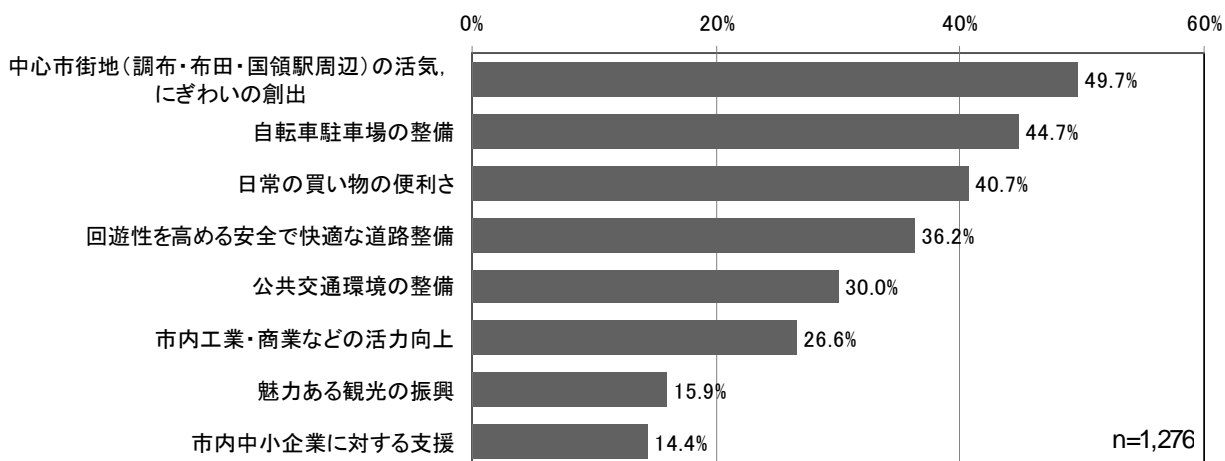
京王線の地下化により南北市街地の分断が解消されまちの一体化が図られます。この都市構造の大きな変貌を機に、利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと交流のある豊かなまちをつくります。

問3)「利便性が高く快適で豊かなまち」づくりについて、今後の市の取組として、どれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

<全体 (n=1,276) >

- 「中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気、にぎわいの創出」が49.7%と最も高く、約半数となっています。
- 次いで、「自転車駐車場の整備」の44.7%、「日常の買い物の便利さ」の40.7%の順となっています。
- 年齢層別に見ると、10～20歳代で「回遊性を高める安全で快適な道路整備」の割合が高くなっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

年齢	年齢層	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気、にぎわいの創出	回遊性を高める安全で快適な道路整備	市内工業・商業などの活力向上	魅力ある観光の振興	日常の買い物の便利さ	市内中小企業に対する支援	公共交通環境の整備	自転車駐車場の整備
		16～19歳	(n=30)	46.7%	40.0%	10.0%	16.7%	36.7%	13.3%
20～29歳	(n=99)	54.5%	41.4%	21.2%	12.1%	44.4%	11.1%	30.3%	46.5%
30～39歳	(n=190)	50.5%	32.6%	22.6%	13.2%	46.3%	13.2%	29.5%	50.5%
40～49歳	(n=246)	49.6%	36.6%	24.8%	12.2%	43.1%	12.2%	29.3%	54.1%
50～59歳	(n=190)	54.2%	35.8%	33.7%	15.3%	41.1%	18.4%	33.2%	40.0%
60～69歳	(n=223)	48.0%	35.4%	32.7%	19.7%	36.8%	15.7%	31.4%	44.8%
70歳以上	(n=294)	45.9%	36.4%	25.2%	19.7%	36.7%	15.0%	28.6%	36.1%

#### 4 「うるおいのあるまち」をつくるプロジェクト

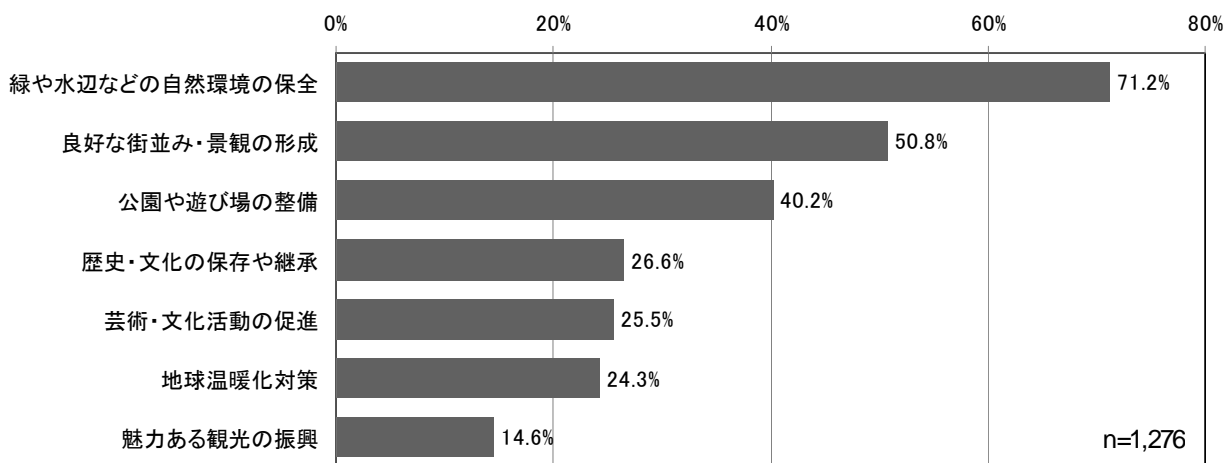
地域資源を生かした環境面等でうるおいを醸し出すまちをつくりまします。

問4) 「うるおいのあるまち」づくりについて、今後の市の取組として、どれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

<全体 (n=1,276) >

- 「緑や水辺などの自然環境の保全」が71.2%と最も高く、7割を上回っています。
- 次いで、「良好な街並み・景観の形成」が50.8%、「公園や遊び場の整備」が40.2%となっています。
- 年齢層別に見ると、50～60歳代で「緑や水辺などの自然環境の保全」「芸術・文化活動の促進」「歴史・文化の保存や継承」が他の年代に比べて高くなる傾向が見られます。
- また、子育て世代である20～30歳代では「公園や遊び場の整備」の割合が半数以上となっています。

図表 優先すべき取組の順位



図表 年齢層別の優先すべき取組

		緑や水辺などの自然環境の保全	公園や遊び場の整備	地球温暖化対策	良好な街並み・景観の形成	魅力ある観光の振興	芸術・文化活動の促進	歴史・文化の保存や継承
年齢	16～19歳 (n=30)	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%	16.7%	13.3%	16.7%
	20～29歳 (n=99)	65.7%	53.5%	20.2%	61.6%	14.1%	17.2%	17.2%
	30～39歳 (n=190)	63.7%	58.4%	16.3%	51.1%	16.3%	21.1%	24.2%
	40～49歳 (n=246)	70.7%	44.3%	26.0%	46.7%	17.1%	22.0%	26.0%
	50～59歳 (n=190)	77.4%	32.6%	22.6%	61.1%	11.1%	33.7%	31.6%
	60～69歳 (n=223)	76.2%	33.2%	24.2%	48.4%	13.5%	31.8%	31.4%
	70歳以上 (n=294)	72.1%	31.3%	28.9%	46.6%	14.3%	24.8%	25.9%

**3 「日ごろの意識や行動」について**

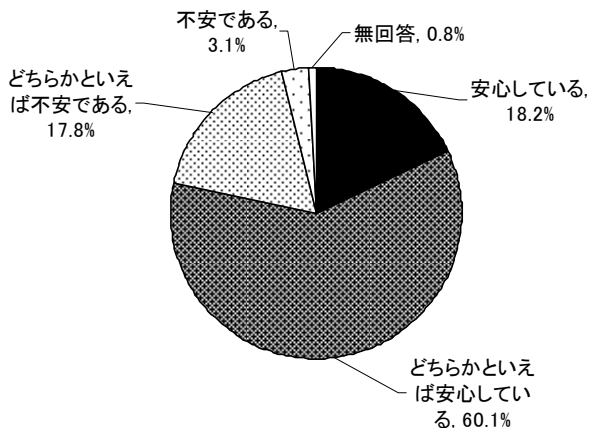
【 防犯について 】

問5) あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心できると感じていますか。

<全体 (n=1, 276) >

- 「安心している」は18.2%、「どちらかといえば安心している」は60.1%であり、合計すると8割近くを占めています。
- 男女別に見ると、「安心している」は男性が23.5%、女性が15.0%と、男性の方が、高くなっています。
- 年齢層別に見ると、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計はどの年齢層でも7割を上回っています。
- 地域別に見ると、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計はどの地域でも8割近くとなっています。

図表 防犯に関する意識



図表 男女別の防犯に関する意識

		安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	不安である
性	男性 (n=481)	23.5%	59.0%	13.9%	2.7%
別	女性 (n=781)	15.0%	60.9%	20.0%	3.3%

図表 年齢層別の防犯に関する意識

		安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	不安である
年齢	16~19歳 (n=30)	26.7%	46.7%	16.7%	6.7%
	20~29歳 (n=99)	25.3%	57.6%	13.1%	4.0%
	30~39歳 (n=190)	17.4%	58.9%	19.5%	3.2%
	40~49歳 (n=246)	16.7%	62.6%	17.5%	2.8%
	50~59歳 (n=190)	17.4%	60.0%	19.5%	3.2%
	60~69歳 (n=223)	16.1%	61.0%	19.3%	2.7%
	70歳以上 (n=294)	19.0%	60.9%	16.0%	2.7%

図表 地域別の防犯に関する意識

		安心している	どちらかとい えば安心して いる	どちらかとい えば不安であ る	不安である
地 域	東部地域 (n=272)	21.0%	58.5%	18.0%	1.8%
	北部地域 (n=297)	16.8%	60.9%	19.2%	2.4%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	20.3%	57.4%	18.3%	3.0%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	17.4%	60.6%	17.4%	4.2%
	西部地域 (n=237)	16.5%	63.3%	15.2%	4.2%

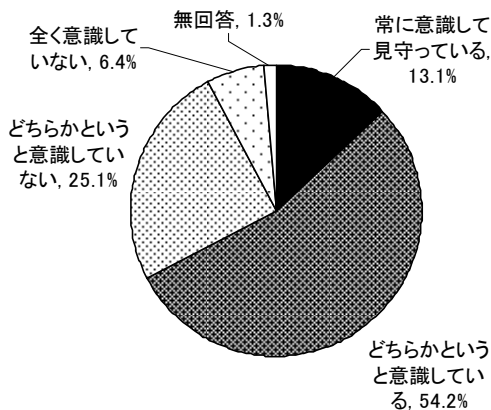
【 子ども・子育て支援について 】

問6) あなたは、地域の子どもの見守りを意識していますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「常に意識して見守っている」は13.1%、「どちらかという意識している」は54.2%であり、合計すると7割近くを占めています。
- 年齢層別に見ると、「常に意識して見守っている」と「どちらかという意識している」の合計の割合は、概ね年齢層が高いほど多い傾向が見られます。
- 地域別に見ると、「常に意識して見守っている」と「どちらかという意識している」の合計は、北部地域と南部地域（中心市街地以外）で7割を上回っています。

図表 子どもの見守りに関する意識



図表 年齢層別の子どもの見守りに関する意識

		常に意識して見守っている	どちらかという意識している	どちらかという意識していない	全く意識していない
年齢	16～19歳 (n=30)	3.3%	26.7%	50.0%	16.7%
	20～29歳 (n=99)	9.1%	35.4%	34.3%	21.2%
	30～39歳 (n=190)	7.4%	50.5%	32.1%	8.4%
	40～49歳 (n=246)	10.6%	55.7%	25.2%	8.5%
	50～59歳 (n=190)	10.5%	48.9%	34.7%	5.8%
	60～69歳 (n=223)	13.5%	60.1%	21.5%	3.6%
	70歳以上 (n=294)	22.4%	63.3%	11.2%	0.0%

図表 地域別の子どもの見守りに関する意識

		常に意識して見守っている	どちらかという意識している	どちらかという意識していない	全く意識していない
地域	東部地域 (n=272)	13.2%	48.9%	29.4%	7.4%
	北部地域 (n=297)	12.8%	59.6%	19.9%	6.7%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	9.9%	56.9%	25.2%	6.9%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	14.7%	55.6%	24.3%	4.2%
	西部地域 (n=237)	13.5%	49.8%	27.8%	7.2%

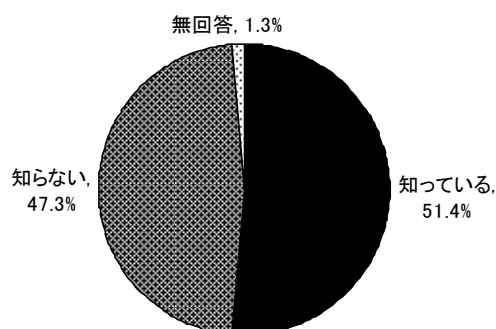


問7) あなたは、児童虐待に関する相談をどこで受け付けているか知っていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「知っている」は 51.4%、「知らない」は 47.3%であり、児童虐待の相談窓口に関する認知度は約半数となっています。
- 男女別に見ると、「知っている」は女性が半数を上回っている一方、男性は4割強となっています。
- 年齢層別に見ると、「知っている」割合は30～40歳代、60歳代以上で半数を上回っています。

図表 児童虐待に関する意識



図表 男女別の児童虐待に関する意識

	知っている	知らない
性 男性 (n=481)	43.7%	54.9%
別 女性 (n=781)	56.1%	42.8%

図表 年齢層別の児童虐待に関する意識

	知っている	知らない
16～19歳 (n=30)	33.3%	63.3%
20～29歳 (n=99)	46.5%	53.5%
30～39歳 (n=190)	53.2%	45.8%
40～49歳 (n=246)	52.8%	47.2%
50～59歳 (n=190)	48.9%	50.5%
60～69歳 (n=223)	53.4%	45.3%
70歳以上 (n=294)	52.4%	44.6%

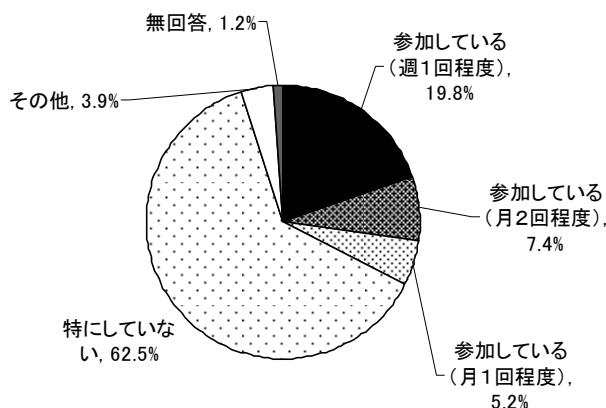
【健康づくりについて】

問8)あなたは、健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動などに参加していますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「参加している (週1回程度)」「参加している (月2回程度)」「参加している (月1回程度)」の合計は3割強を占めています。
- 年齢層別に見ると、「参加している (週1回程度)」「参加している (月2回程度)」「参加している (月1回程度)」の合計の割合は概ね年齢が高いほど多い傾向にあります。

図表 健康づくりに関する意識



図表 年齢層別の健康づくりに関する意識

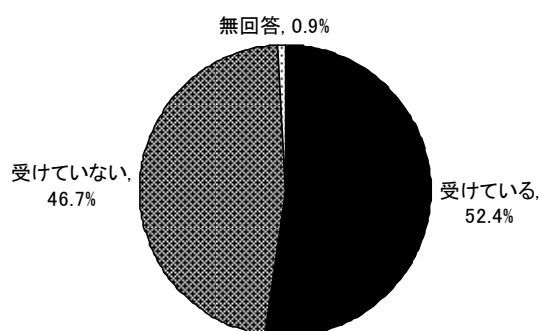
		参加している (週1回程度)	参加している (月2回程度)	参加している (月1回程度)	特にしていない	その他
年齢	16~19歳 (n=30)	6.7%	6.7%	3.3%	73.3%	6.7%
	20~29歳 (n=99)	10.1%	3.0%	6.1%	77.8%	2.0%
	30~39歳 (n=190)	12.1%	5.3%	8.9%	69.5%	2.1%
	40~49歳 (n=246)	17.1%	5.3%	5.7%	70.3%	1.2%
	50~59歳 (n=190)	18.4%	6.8%	2.6%	66.8%	5.3%
	60~64歳 (n=111)	27.0%	6.3%	4.5%	57.7%	3.6%
	65~69歳 (n=112)	28.6%	12.5%	2.7%	50.0%	4.5%
	70~74歳 (n=160)	28.1%	11.3%	4.4%	50.6%	4.4%
	75歳以上 (n=134)	25.4%	10.4%	5.2%	47.0%	9.7%

問9) あなたは、定期的ながん検診を受けていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「受けている」は 52.4%、「受けていない」は 46.7%であり、定期的ながん検診の受診者は半数を上回っています。
- 男女別に見ると、「受けている」は女性が 58.4%と6割近くである一方、男性は 42.6%と4割強となっています。
- 年齢層別に見ると、「受けている」割合は40歳代以上で多い傾向にあり、特に70歳以上と40歳代が6割を上回っています。

図表 定期がん検診の受診状況



図表 男女別の定期がん検診の受診状況

		受けている	受けていない
性	男性 (n=481)	42.6%	56.5%
別	女性 (n=781)	58.4%	40.7%

図表 年齢層別の定期がん検診の受診状況

		受けている	受けていない
年齢	16~19歳 (n=30)	0.0%	96.7%
	20~29歳 (n=99)	12.1%	87.9%
	30~39歳 (n=190)	35.3%	63.7%
	40~49歳 (n=246)	60.2%	39.8%
	50~59歳 (n=190)	54.2%	45.8%
	60~69歳 (n=223)	59.6%	39.5%
	70歳以上 (n=294)	69.4%	28.2%

問10) 問9で「受けている」を選んだ方に伺います。どのようながん検診を、どのような場所で受けていますか。

<全体 (n=669) >

- 男女別に見ると、「胃がん」「大腸がん」「肺がん」それぞれの割合は男性が女性のおよそ2倍となっています。
- 年齢層別に見ると、「胃がん」「大腸がん」「肺がん」それぞれの割合は年齢が高いほど高い傾向にあり、「子宮がん」の割合が20～30歳代で、「乳がん」の割合が30～50歳代で高くなっています。
- また、がん検診を受けている場所は、「住民検診（調布市で実施している検診）」が46.1%で最も高く、次いで「職場での検診」が20.5%、「人間ドック」が15.7%となっています。
- 男女別に見ると、「職場での検診」や「人間ドック」は男性の方が、やや高く、「住民検診（調布市で実施している検診）」は女性の方が、高くなっています。
- 年齢層別に見ると、20～50歳代では「職場での検診」「住民検診（調布市で実施している検診）」「人間ドック」に割合が分散している一方、60歳代以上では「住民検診（調布市で実施している検診）」が高くなっています。

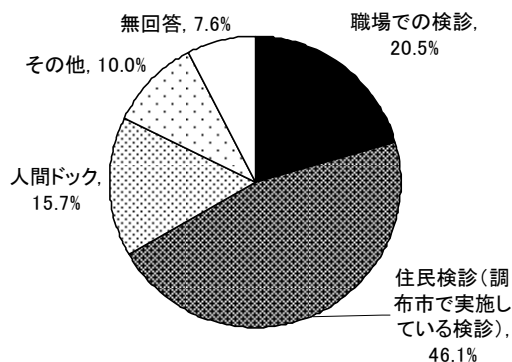
図表 男女別の受けているがん健診の種類

		胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん	肺がん	その他
性	男性 (n=205)	23.4%	14.1%	0.0%	0.0%	2.0%	3.9%
別	女性 (n=456)	12.7%	6.1%	10.7%	12.3%	0.4%	1.5%

図表 年齢層別の受けているがん健診の種類

		胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん	肺がん	その他
年齢	16～19歳 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	20～29歳 (n=12)	8.3%	0.0%	66.7%	8.3%	0.0%	8.3%
	30～39歳 (n=67)	4.5%	6.0%	26.9%	11.9%	0.0%	1.5%
	40～49歳 (n=148)	10.8%	4.7%	8.8%	19.6%	0.7%	0.7%
	50～59歳 (n=103)	15.5%	8.7%	2.9%	10.7%	0.0%	4.9%
	60～69歳 (n=133)	21.1%	12.0%	5.3%	3.0%	1.5%	0.8%
	70歳以上 (n=204)	21.6%	10.3%	0.0%	2.0%	1.5%	3.4%

図表 がん検診を受けている場所



図表 男女別のがん健診を受けている場所

		職場での検診	住民検診(調布市で実施している検診)	人間ドック	その他
性別	男性 (n=205)	22.4%	41.0%	24.9%	7.3%
	女性 (n=456)	20.0%	48.2%	11.6%	11.4%

図表 年齢層別のがん健診を受けている場所

		職場での検診	住民検診(調布市で実施している検診)	人間ドック	その他
年齢	16~19歳 (n=0)	-	-	-	-
	20~29歳 (n=12)	33.3%	33.3%	8.3%	16.7%
	30~39歳 (n=67)	31.3%	34.3%	20.9%	7.5%
	40~49歳 (n=148)	38.5%	23.0%	20.3%	10.1%
	50~59歳 (n=103)	35.9%	16.5%	25.2%	12.6%
	60~69歳 (n=133)	11.3%	57.1%	18.8%	6.0%
	70歳以上 (n=204)	1.5%	75.5%	3.9%	12.3%

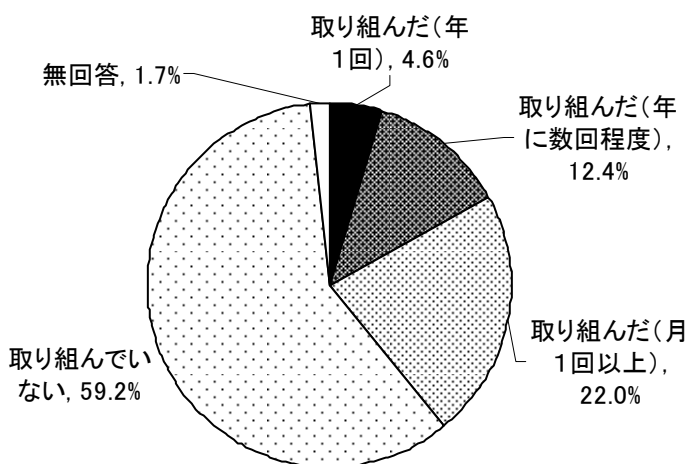
【生涯学習について】

問11) あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習に取り組んだことがありますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「取り組んだ (年1回)」「取り組んだ (年に数回程度)」「取り組んだ (月1回以上)」の合計が約4割を占めています。
- 男女別に見ると、男性よりも女性の方が、取り組んでいる傾向が見られます。
- 年齢層別に見ると、20歳代以下と60歳以上で取り組んだ割合が高い傾向にあります。

図表 生涯学習の取組状況



図表 男女別の取組状況

		取り組んだ (年1回)	取り組んだ (年に数回程)	取り組んだ (月1回以上)	取り組んでい ない
性別	男性 (n=481)	5.4%	10.0%	19.5%	63.6%
	女性 (n=781)	4.1%	13.7%	23.8%	56.5%

図表 年齢層別の取組状況

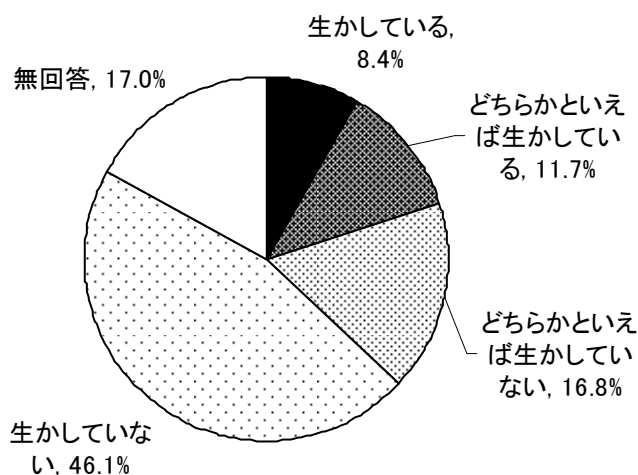
		取り組んだ (年1回)	取り組んだ (年に数回程)	取り組んだ (月1回以上)	取り組んでい ない
年齢	16~19歳 (n=30)	6.7%	10.0%	26.7%	53.3%
	20~29歳 (n=99)	3.0%	19.2%	25.3%	52.5%
	30~39歳 (n=190)	6.3%	14.7%	15.8%	61.6%
	40~49歳 (n=246)	4.5%	11.4%	21.1%	63.0%
	50~59歳 (n=190)	3.7%	10.0%	20.0%	65.3%
	60~69歳 (n=223)	6.3%	10.8%	26.5%	54.3%
	70歳以上 (n=294)	3.4%	12.6%	23.5%	56.8%

問 12) あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能をまちづくりや仲間づくりなど自分以外のために生かしていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「生かしている」が 8.4%、「どちらかといえば生かしている」が 11.7%であり、合計すると 2割を上回っています。
- 男女別に見ると、男性よりも女性の方が、知識を自分以外のために生かしている傾向が見られます。
- 年齢層別に見ると、「生かしている」の割合は 20 歳代以下と 60 歳代以上で 2割を上回っています。

図表 知識・技能の活用状況



図表 男女別の知識・技能の活用状況

		生かしている	どちらかとい えば生かして いる	どちらかとい えば生かして いない	生かしていな い
性	男性 (n=481)	9.4%	10.0%	15.2%	51.1%
別	女性 (n=781)	7.8%	12.8%	17.8%	43.3%

図表 年齢層別の知識・技能の活用状況

		生かしている	どちらかとい えば生かして いる	どちらかとい えば生かして いない	生かしていな い
年 齢	16～19歳 (n=30)	10.0%	6.7%	26.7%	50.0%
	20～29歳 (n=99)	10.1%	20.2%	14.1%	49.5%
	30～39歳 (n=190)	5.3%	10.0%	20.5%	51.1%
	40～49歳 (n=246)	6.9%	10.2%	13.8%	52.4%
	50～59歳 (n=190)	10.0%	7.9%	11.6%	52.6%
	60～69歳 (n=223)	7.6%	15.7%	19.3%	40.8%
	70歳以上 (n=294)	10.5%	11.2%	18.7%	35.7%

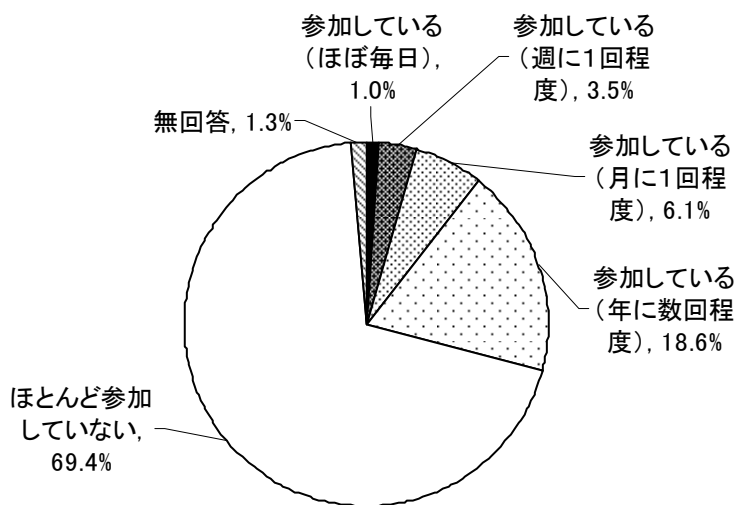
【 地域コミュニティについて 】

問 13) あなたは、この1年間に地域の活動やイベントに参加したことがありますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「参加している (ほぼ毎日)」「参加している (週に1回程度)」「参加している (月に1回程度)」「参加している (年に数回程度)」の合計は約3割となっています。
- 男女別に見ると、男性よりも女性の方が、参加する傾向が見られます。
- 年齢層別に見ると、少なくとも月に1回程度参加している割合 (「参加している (ほぼ毎日)」「参加している (週に1回程度)」「参加している (月に1回程度)」の合計) が60歳代以上で高くなっています。
- また、「参加している (年に数回程度)」の割合は、30~40歳代で高くなっています。
- 地域別に見ると、参加している人の割合 (「参加している (ほぼ毎日)」「参加している (週に1回程度)」「参加している (月に1回程度)」「参加している (年に数回程度)」の合計) が南部地域 (中心市街地以外) と西部地域で高くなっています。

図表 地域活動等への参加状況



図表 男女別の地域活動等への参加状況

	参加している (ほぼ毎日)	参加している (週に1回程度)	参加している (月に1回程度)	参加している (年に数回程度)	ほとんど参加していない
性 男性 (n=481)	1.5%	2.3%	5.8%	14.1%	75.1%
別 女性 (n=781)	0.8%	4.4%	6.0%	21.5%	66.1%



図表 年齢層別の参加状況

		参加している (ほぼ毎日)	参加している (週に1回程度)	参加している (月に1回程度)	参加している (年に数回程度)	ほとんど参加 していない
年齢	16～19歳 (n=30)	3.3%	0.0%	3.3%	3.3%	90.0%
	20～29歳 (n=99)	0.0%	3.0%	2.0%	8.1%	86.9%
	30～39歳 (n=190)	0.5%	0.5%	3.7%	22.6%	72.6%
	40～49歳 (n=246)	0.0%	2.4%	6.5%	25.6%	64.6%
	50～59歳 (n=190)	0.5%	0.5%	5.3%	12.6%	80.5%
	60～69歳 (n=223)	2.7%	3.1%	6.7%	16.6%	68.6%
	70歳以上 (n=294)	1.4%	9.2%	8.8%	20.7%	56.8%

図表 地域別の参加状況

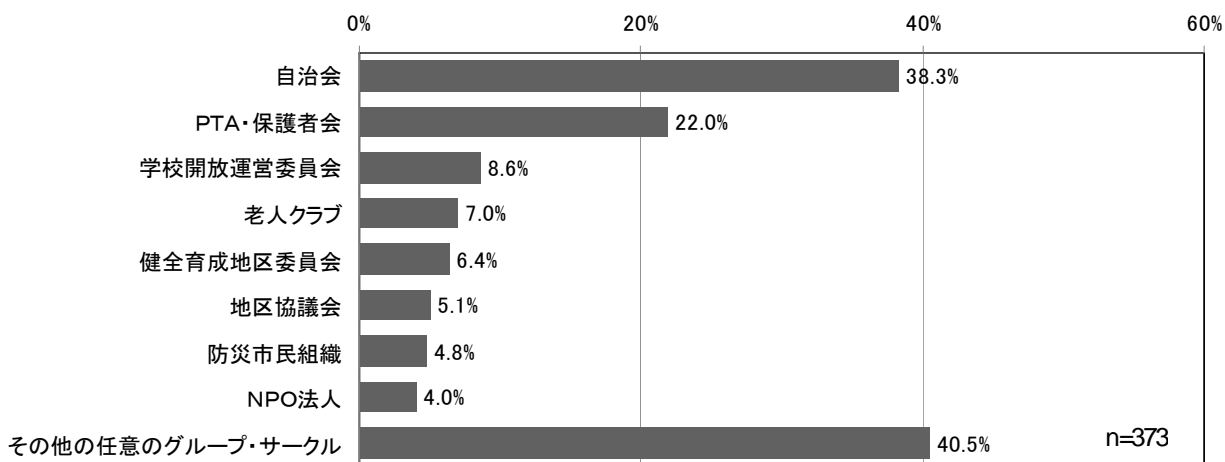
		参加している (ほぼ毎日)	参加している (週に1回程度)	参加している (月に1回程度)	参加している (年に数回程度)	ほとんど参加 していない
地域	東部地域 (n=272)	0.4%	3.7%	4.4%	19.1%	69.9%
	北部地域 (n=297)	1.3%	4.4%	5.4%	17.5%	70.4%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	1.0%	2.5%	4.0%	15.3%	75.7%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	0.8%	4.6%	7.3%	22.0%	64.5%
	西部地域 (n=237)	1.3%	2.1%	8.9%	19.0%	67.9%

問 14) 問 13 で「参加している（ほぼ毎日）（週に 1 回程度）（月に 1 回程度）（年に数回程度）」のいずれかを選んだ方に伺います。それはどのような団体のどのような活動ですか。（複数回答可）

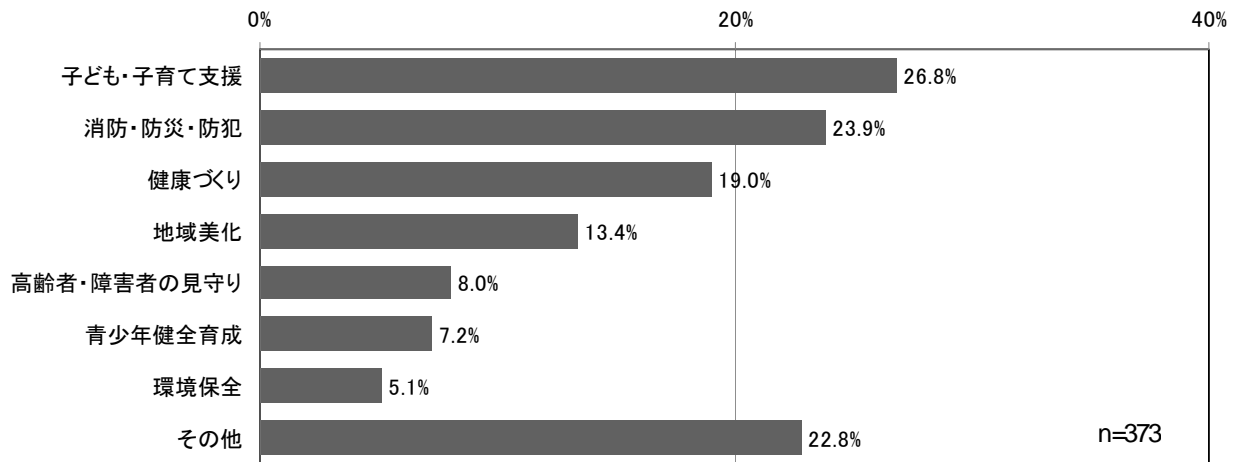
<全体（n=373）>

- 活動団体の種類としては、「その他の任意のグループ・サークル」が 40.5%で最も多く、約 4 割となっています。
- 次いで「自治会」が 38.3%、「PTA・保護者会」が 22.0%の順となっており、これら以外の団体の割合は 1 割以下となっています。
- 活動内容としては、「子ども・子育て支援」が 26.8%と最も多くなっています。
- 次いで、「消防・防災・防犯」が 23.9%、「その他」が 22.8%、「健康づくり」が 19.0%の順となっています。
- 活動場所としては、「小・中学校」が 30.0%と最も多く、「その他」も 29.0%と 3 割近くとなっています。
- 次いで、「文化会館たづくり」が 19.6%、「地域福祉センター」が 18.0%の順となっています。

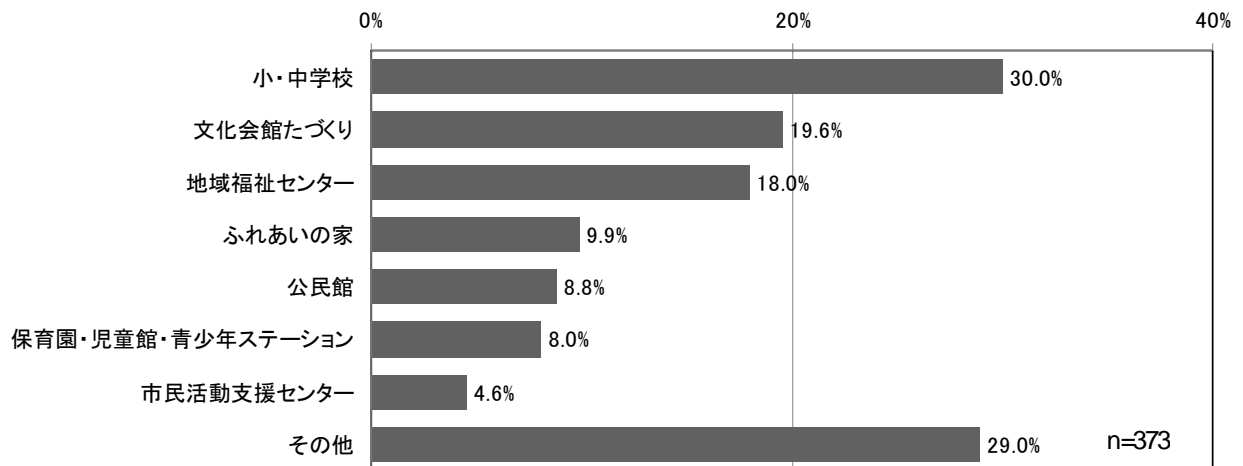
図表 活動団体の種類



図表 活動内容



図表 活動場所

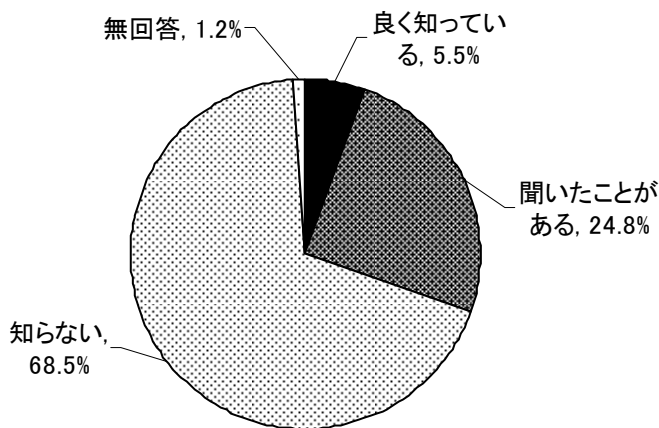


問 15) あなたは、「地区協議会」の取組をご存じですか。

<全体 (n=1,276) >

- 「良く知っている」が 5.5%、「聞いたことがある」が 24.8%であり、合計すると3割を上回っています。
- 年齢層別に見ると、年齢が高くなるほど「良く知っている」と「聞いたことがある」の合計の割合が高くなる傾向にあります。
- 地域別に見ると、西部地域では「良く知っている」が 10.5%と1割を上回っているほか、東部地域でも「聞いたことがある」が 31.6%と3割を上回っており、他地域よりも認知度が高くなっています。

図表 地区協議会の認知度



図表 年齢層別の地区協議会の認知度

		良く知っている	聞いたことがある	知らない
年齢	16～19歳 (n=30)	3.3%	6.7%	90.0%
	20～29歳 (n=99)	1.0%	17.2%	81.8%
	30～39歳 (n=190)	1.1%	15.8%	82.1%
	40～49歳 (n=246)	1.6%	21.5%	76.0%
	50～59歳 (n=190)	5.3%	21.6%	72.1%
	60～69歳 (n=223)	6.3%	31.8%	60.1%
	70歳以上 (n=294)	12.9%	35.0%	50.3%

図表 地域別の地区協議会の認知度

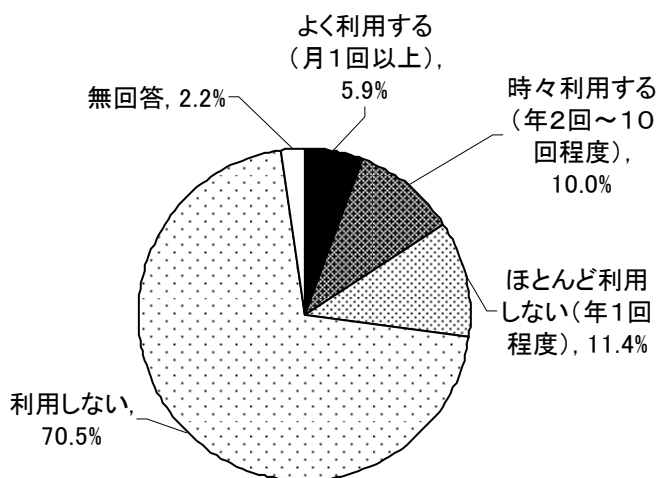
		良く知っている	聞いたことがある	知らない
地域	東部地域 (n=272)	3.3%	31.6%	63.6%
	北部地域 (n=297)	4.0%	24.9%	70.4%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	4.0%	20.3%	73.3%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	6.2%	27.0%	66.0%
	西部地域 (n=237)	10.5%	18.1%	70.5%

問 16) 地域福祉センターやふれあいの家は、地域活動や住民同士の交流の拠点として整備されていますが、利用されたことがありますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「よく利用する (月1回以上)」が 5.9%、「時々利用する (年2回～10回程度)」が 10.0% となっており、合計すると 15.9%となっています。
- 年齢層別に見ると、70歳以上で「よく利用する (月1回以上)」が1割以上となっているなど、年齢が高くなるにつれ、利用される傾向にあります。

図表 施設利用状況



図表 年齢層別の施設の利用状況

		よく利用する (月1回以上)	時々利用する (年2回～10 回程度)	ほとんど利用 しない(年1回 程度)	利用しない
年齢	16～19歳 (n=30)	0.0%	10.0%	3.3%	86.7%
	20～29歳 (n=99)	3.0%	3.0%	7.1%	86.9%
	30～39歳 (n=190)	1.6%	10.0%	10.5%	76.8%
	40～49歳 (n=246)	2.4%	10.2%	10.2%	76.8%
	50～59歳 (n=190)	3.7%	7.4%	15.3%	71.1%
	60～69歳 (n=223)	6.3%	11.7%	11.7%	67.3%
	70歳以上 (n=294)	14.3%	12.2%	12.6%	56.5%

図表 地域別の施設の利用状況

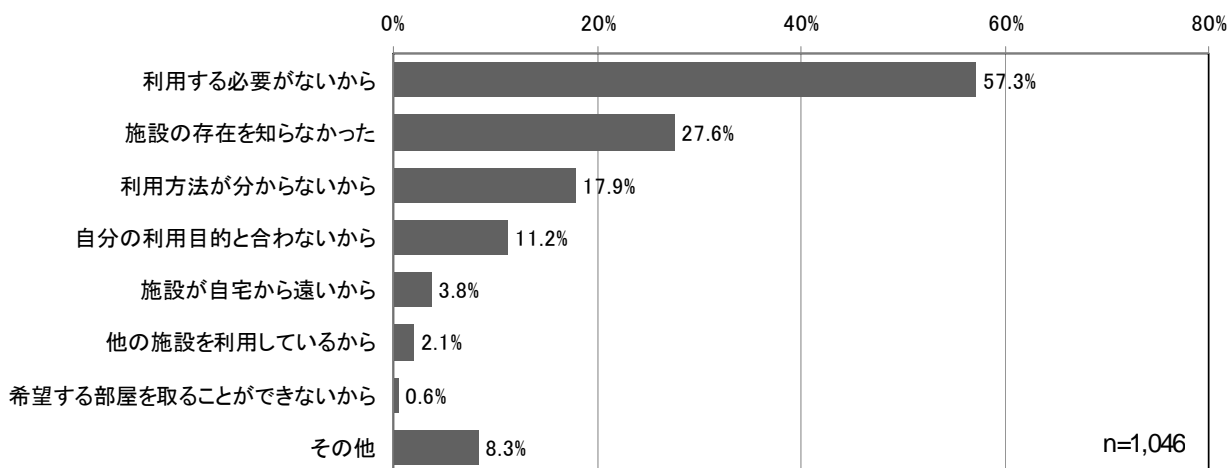
		よく利用する (月1回以上)	時々利用する (年2回～10 回程度)	ほとんど利用 しない(年1回 程度)	利用しない
地域	東部地域 (n=272)	5.9%	9.6%	11.4%	71.0%
	北部地域 (n=297)	6.1%	11.1%	12.8%	67.3%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	4.5%	5.4%	10.4%	77.7%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	6.9%	11.2%	7.7%	72.2%
	西部地域 (n=237)	5.5%	11.8%	14.3%	66.2%

問 17) 問 16 で「ほとんど利用しない（年 1 回程度）」「利用しない」のいずれかを選んだ方に伺います。利用されていない理由は何ですか。（複数回答可）

<全体（n=1,046）>

- 「利用する必要がないから」が 57.3%と最も多く、6 割近くとなっています。
- 次いで、「施設の存在を知らなかった」が 27.6%、「利用方法が分からないから」が 17.9%、「自分の利用目的と合わないから」が 11.2%の順となっています。

図表 利用していない理由



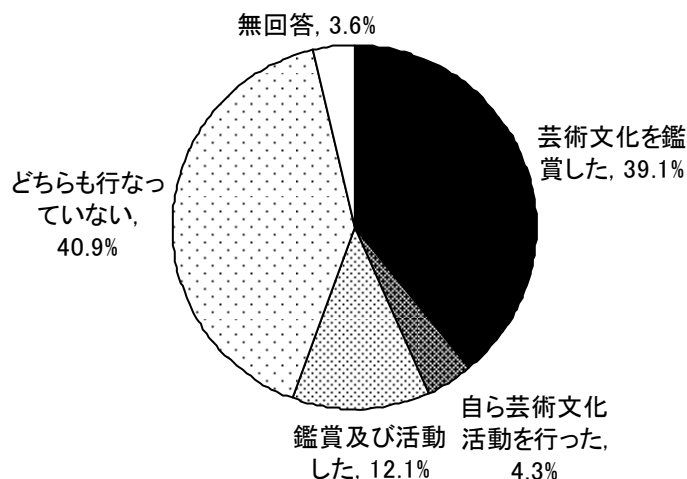
【 芸術・歴史文化について 】

問 18) あなたは、この1年間に市内外を問わず、文化施設等で芸術文化（音楽、演劇、美術、舞踊伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら芸術文化活動を行いましたか。

<全体 (n=1,276) >

- 「芸術文化を鑑賞した」が 39.1%、「鑑賞及び活動した」が 12.1%、「自ら芸術文化活動を行った」が 4.3%であり、合計の割合が半数を超えています。
- 年齢層別に見ると、「自ら芸術文化活動を行った」割合は10歳代を除き、年齢が高くなるにつれ高くなっています。「観賞及び活動した」割合は20～40歳代で高い傾向にあります。

図表 芸術文化活動への参加状況



図表 年齢層別の芸術文化活動への参加状況

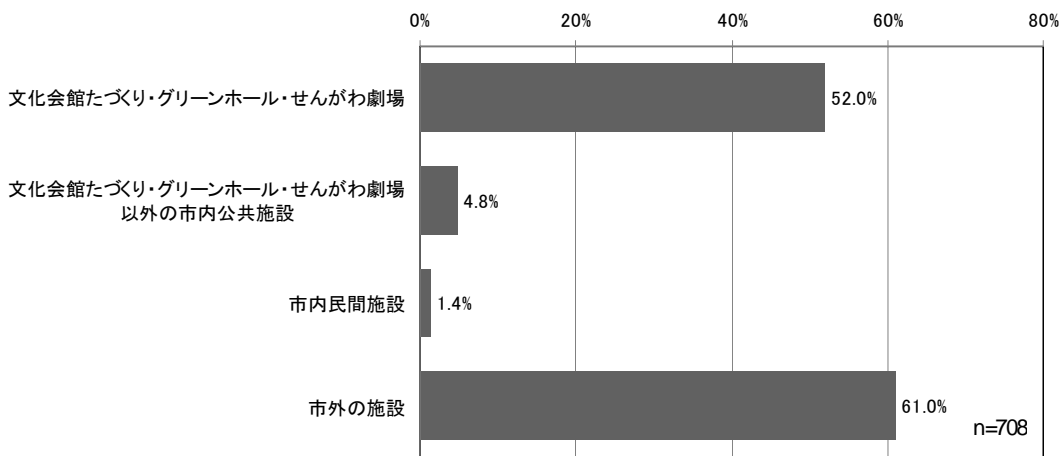
		芸術文化を鑑賞した	自ら芸術文化活動を行った	鑑賞及び活動した	どちらも行っていない
年齢	16～19歳 (n=30)	33.3%	13.3%	10.0%	43.3%
	20～29歳 (n=99)	39.4%	1.0%	14.1%	45.5%
	30～39歳 (n=190)	39.5%	1.6%	14.7%	43.7%
	40～49歳 (n=246)	36.6%	4.1%	16.3%	42.3%
	50～59歳 (n=190)	38.4%	4.7%	9.5%	43.7%
	60～69歳 (n=223)	40.4%	4.0%	11.2%	39.5%
	70歳以上 (n=294)	40.5%	6.5%	8.8%	36.1%

問 19) 問 18 で「芸術文化を鑑賞した」「自ら芸術文化活動を行った」「鑑賞及び活動した」のいずれかを選んだ方に伺います。どこで芸術文化を鑑賞または芸術文化活動を行いましたか。(複数回答可)

<全体 (n=708) >

- 「市外の施設」が 61.0%と最も多く、6割を上回っています。
- 市内の施設の中では、「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」が 52.0%と半数を上回っており、これら以外の市内公共施設は5%を下回っています。

図表 芸術文化活動の場所





【市街地整備について】

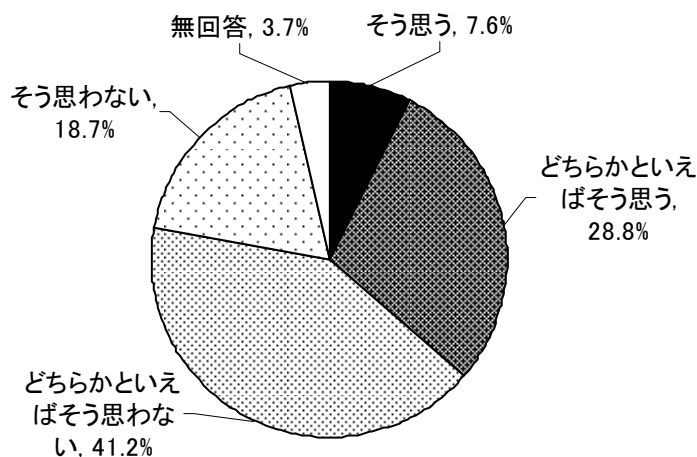
問 20) あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的であると思いますか。

また、中心市街地の魅力を高めるために必要なものは何だと思いますか。（複数回答可）

<全体（n=1,276）>

- 「そう思う」が 7.6%、「どちらかと言えばそう思う」が 28.8%であり、合計すると約4割近くとなっています。
- 年齢層別に見ると、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計の割合は、年齢が若いほど高くなる傾向にあり、両者を合計した値は、10歳代では6割以上、20歳代でも半数を上回っています。
- 魅力を高めるために必要なものとしては、「商業・業務施設」が 48.7%で最も多く、次いで「良好な駅前景観」「駐輪場」「人に優しい道路」「公園・みどり」の順となっています。

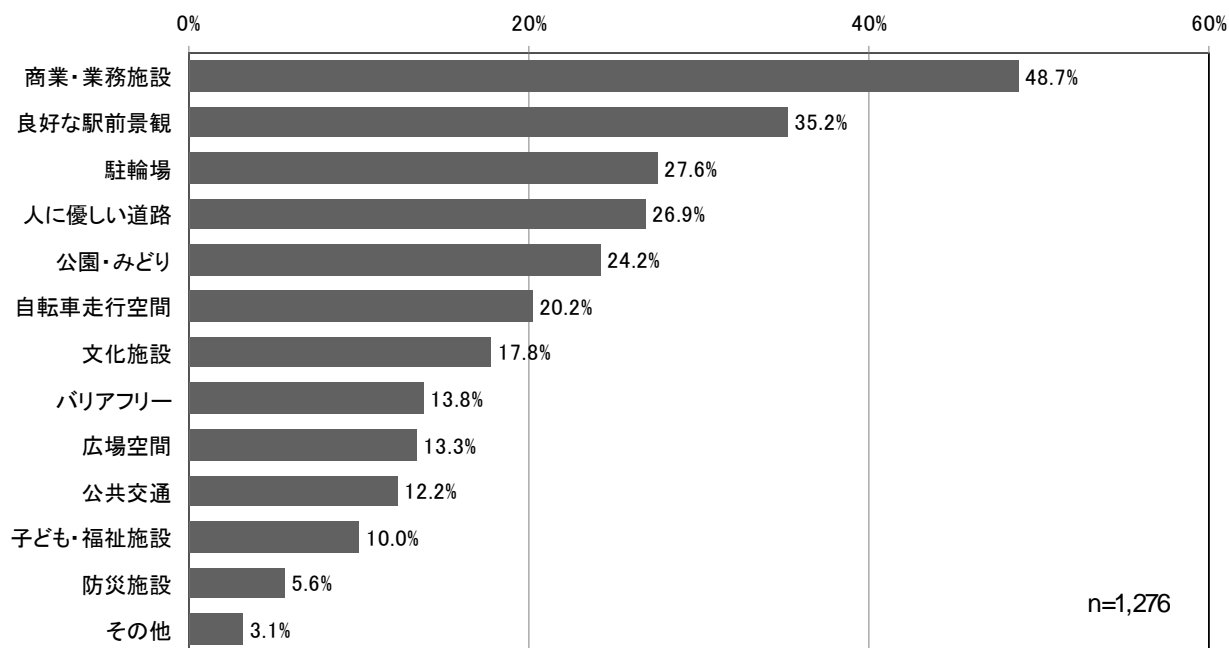
図表 中心市街地の魅力に対する意識



図表 年齢層別の中心市街地の魅力に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
年齢	16～19歳 (n=30)	10.0%	53.3%	30.0%	6.7%	700.0%
	20～29歳 (n=99)	9.1%	42.4%	33.3%	15.2%	700.0%
	30～39歳 (n=190)	8.9%	32.1%	40.5%	17.9%	700.5%
	40～49歳 (n=246)	6.5%	27.6%	42.3%	20.3%	703.3%
	50～59歳 (n=190)	5.3%	21.1%	49.5%	22.6%	701.6%
	60～69歳 (n=223)	5.8%	20.2%	46.6%	22.9%	704.5%
	70歳以上 (n=294)	9.5%	32.7%	35.0%	14.3%	708.5%

図表 魅力を高めるために必要なもの



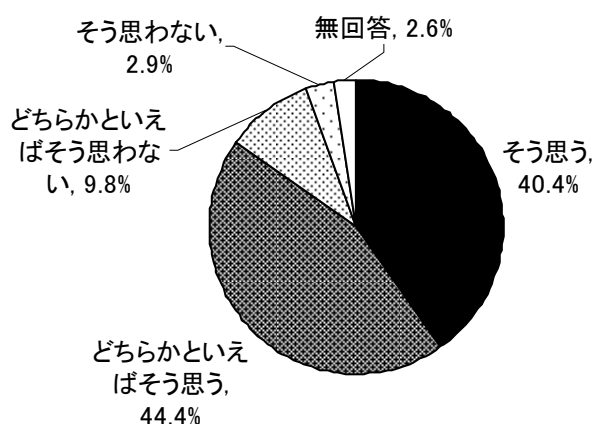
問 21) あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。

<全体 (n=1,276) >

○「そう思う」は 40.4%、「どちらかといえばそう思う」は 44.4%であり、合計すると 8割以上となっています。

○年齢層別に見ると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、30歳代が9割を超えており、他の年齢層でも、20歳代以外で8割を超えています。

図表 深大寺周辺の景観に対する意識



図表 年齢層別の中心市街地の魅力

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
年齢	16～19歳 (n=30)	40.0%	40.0%	13.3%	3.3%
	20～29歳 (n=99)	40.4%	37.4%	17.2%	5.1%
	30～39歳 (n=190)	44.7%	46.8%	6.3%	1.1%
	40～49歳 (n=246)	41.1%	47.2%	9.3%	1.6%
	50～59歳 (n=190)	38.9%	47.4%	7.4%	3.7%
	60～69歳 (n=223)	39.5%	43.5%	7.6%	4.5%
	70歳以上 (n=294)	38.8%	41.8%	12.6%	2.7%

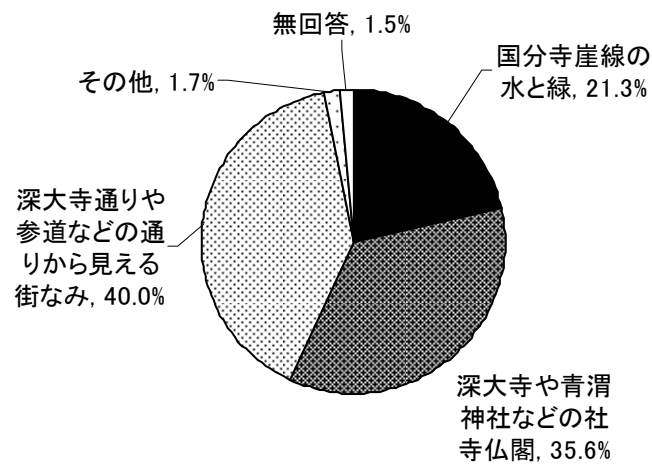
第2章 調査結果 <「日ごろの意識や行動」について>

問 22) 問 21 で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」のいずれかを選んだ方に伺います。特に優れていると思う景観はどこですか。

<全体 (n=1,081) >

- 「深大寺通りや参道などの通りから見える街並み」が 40.0%と最も多くなっています。
- 次いで、「深大寺や青渭神社などの社寺仏閣」が 35.6%、「国分寺崖線の水と緑」が 21.3%の順となっています。

図表 特に優れていると思う景観

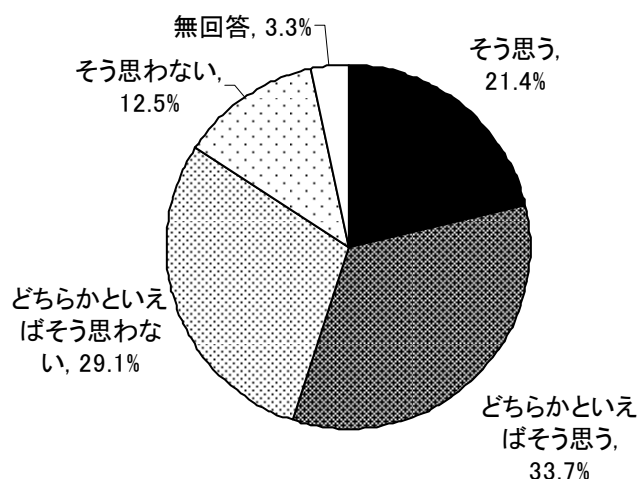


問 23) あなたが普段利用する市内の駅周辺は、利便性が高いと思いますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「そう思う」が 21.4%、「どちらかといえばそう思う」が 33.7%であり、合計すると 55.1%で、半数を上回っています。
- 男女別に見ると、女性より男性の方が、利便性が高いと思う傾向にあります。
- 年齢層別に見ると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は 20 歳代以下で 6 割となっており、40 歳代以外の全ての年齢層で 5 割を超えています。

図表 市内駅周辺の利便性に対する意識



図表 男女別の市内駅周辺の利便性に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
性別	男性 (n=481)	24.1%	32.4%	29.9%	9.8%
	女性 (n=781)	19.8%	34.3%	28.6%	14.2%

図表 年齢層別の市内駅周辺の利便性に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
年齢	16～19歳 (n=30)	30.0%	30.0%	30.0%	10.0%
	20～29歳 (n=99)	25.3%	42.4%	19.2%	12.1%
	30～39歳 (n=190)	20.5%	34.2%	33.7%	10.5%
	40～49歳 (n=246)	15.4%	34.1%	30.9%	16.7%
	50～59歳 (n=190)	25.3%	29.5%	28.9%	14.7%
	60～69歳 (n=223)	23.3%	29.6%	28.7%	12.6%
	70歳以上 (n=294)	20.7%	36.4%	27.9%	9.5%

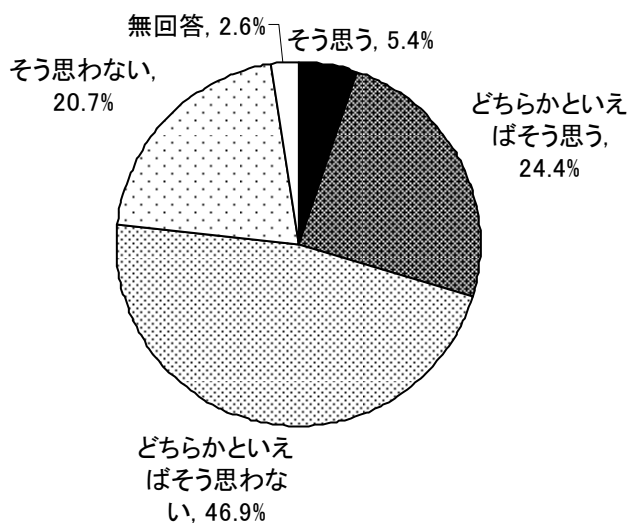
【 道路・交通について 】

問 24) あなたは、普段利用する市内の道路が安全で快適であると思いますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「そう思う」は 5.4%、「どちらかといえばそう思う」が 24.4%であり、合計すると約3割となっています。
- 年齢層別に見ると、30歳代以下及び70歳以上では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が3割を上回っています。
- 地域によって意識に大きな差はありません。

図表 市内道路の安全性に対する意識



図表 男女別の市内道路の安全性に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
性別	男性 (n=481)	5.0%	25.2%	48.6%	19.8%
	女性 (n=781)	5.6%	23.8%	46.1%	21.3%

図表 年齢層別の市内道路の安全性に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
年齢	16～19歳 (n=30)	16.7%	26.7%	50.0%	6.7%
	20～29歳 (n=99)	9.1%	23.2%	39.4%	28.3%
	30～39歳 (n=190)	6.8%	26.8%	44.7%	21.1%
	40～49歳 (n=246)	2.0%	26.0%	52.0%	17.1%
	50～59歳 (n=190)	4.7%	22.6%	48.9%	21.6%
	60～69歳 (n=223)	4.5%	20.2%	51.1%	20.6%
	70歳以上 (n=294)	6.1%	26.2%	42.2%	21.4%

図表 地域別の市内道路の安全性に対する意識

		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない
地 域	東部地域 (n=272)	4.8%	25.4%	47.1%	21.3%
	北部地域 (n=297)	6.4%	23.6%	43.8%	23.9%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	9.4%	19.3%	52.0%	17.8%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	3.1%	27.0%	48.3%	18.9%
	西部地域 (n=237)	4.2%	26.6%	45.1%	20.3%

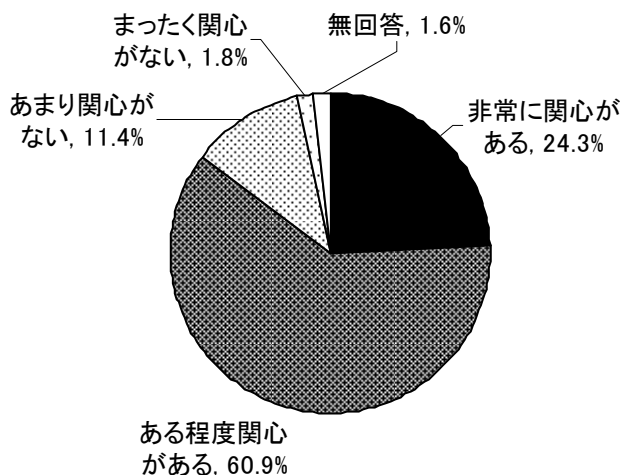
【 人権・男女共同参画について 】

問 25) あなたは、いじめ・虐待・差別などの様々な人権問題について関心がありますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「非常に関心がある」は 24.3%、「ある程度関心がある」は 60.9%であり、合計すると 8 割を上回っています。
- 男女別に見ると、「非常に関心がある」は男性が 20.8%、女性が 26.2%となっており、女性の方が、やや関心が高くなっています。
- 年齢層別に見ると、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計は、20 歳代以上の全ての年代で 8 割を超えていますが、70 歳以上で 9 割近くと関心が高くなっています。

図表 人権問題への関心



図表 男女別の人権問題への関心

		非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない
性	男性 (n=481)	20.8%	61.3%	13.9%	2.9%
別	女性 (n=781)	26.2%	60.8%	9.9%	1.2%

図表 年齢層別の人権問題への関心

		非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない
年齢	16～19歳 (n=30)	16.7%	56.7%	16.7%	10.0%
	20～29歳 (n=99)	23.2%	57.6%	15.2%	4.0%
	30～39歳 (n=190)	24.7%	62.1%	10.0%	2.6%
	40～49歳 (n=246)	20.3%	64.6%	14.6%	0.0%
	50～59歳 (n=190)	18.4%	63.7%	14.2%	1.6%
	60～69歳 (n=223)	24.2%	61.9%	9.9%	2.7%
	70歳以上 (n=294)	32.0%	56.1%	7.5%	0.7%

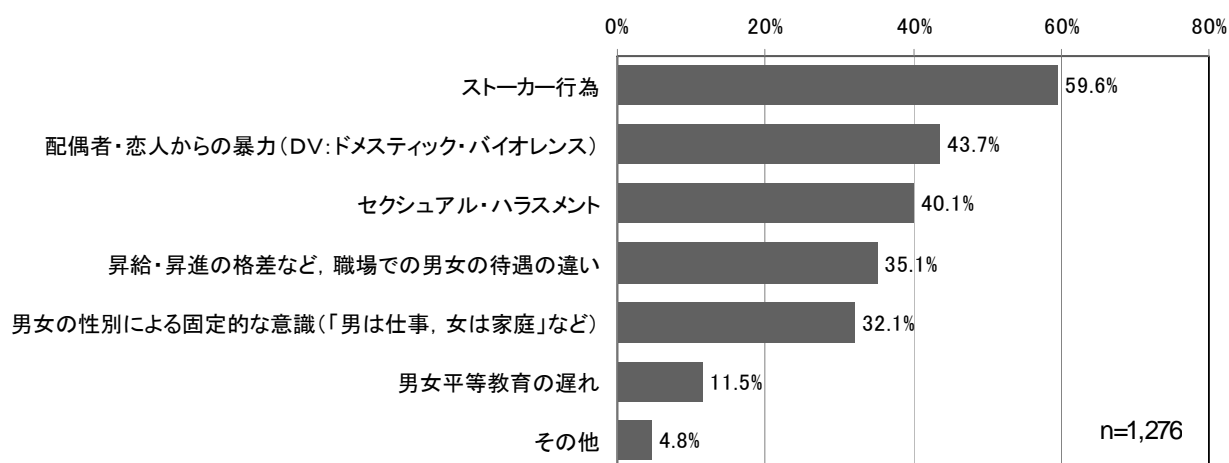


問 26) あなたは、女性に関することで、人権問題として早期に解決すべきことはどのようなことだと思えますか。(複数回答可)

<全体 (n=1,276) >

- 「ストーカー行為」が 59.6%と最も多く、約6割となっています。
- 次いで、「配偶者・恋人からの暴力 (DV:ドメスティック・バイオレンス)」が 43.7%、「セクシュアル・ハラスメント」が 40.1%となっています。
- 男女別に見ると、男女間の意識の差が「昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」で 10.8 ポイント、「男女の性別による固定的な意識 (「男は仕事、女は家庭」など)」で 5.6 ポイントの開きがあります。

図表 人権問題として早期に解決すべきこと



図表 男女別の人権問題として早期に解決すべきこと

		セクシュアル・ハラスメント	ストーカー行為	配偶者・恋人からの暴力 (DV:ドメスティック・バイオレンス)	男女の性別による固定的な意識(「男は仕事、女は家庭」など)	昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い	男女平等教育の遅れ	その他
性別	男性 (n=481)	41.2%	62.6%	41.8%	28.5%	28.5%	11.4%	5.2%
	女性 (n=781)	39.8%	57.7%	45.3%	34.1%	39.3%	11.4%	4.4%

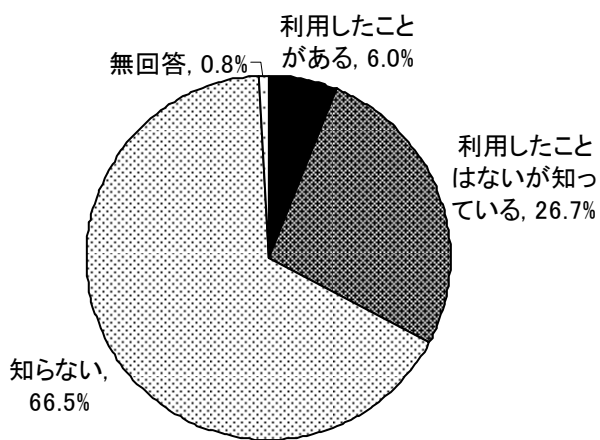
第2章 調査結果 <「日ごろの意識や行動」について>

問 27) あなたは、講座・講演会の開催，女性のための相談，図書貸出など男女共同参画社会実現に向け取り組んでいる調布市男女共同参画推進センターが市民プラザあくろす（国領駅北口コクティ―）内にあることを知っていますか。

<全体（n=1,276）>

- 「利用したことがある」が 6.0%，「利用したことはないが知っている」が合計で 3 割を上回っています。
- 年齢層別に見ると，概ね年齢が高いほど「利用したことがある」と「利用したことはないが知っている」の合計の割合が高くなる傾向が見られます。

図表 市民プラザあくろすの認知度



図表 年齢層別の市民プラザあくろすの認知度

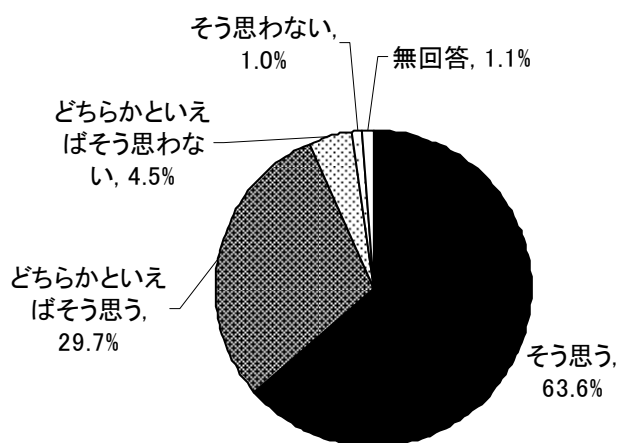
		利用したことがある	利用したことはないが知っている	知らない
年齢	16～19歳 (n=30)	0.0%	10.0%	90.0%
	20～29歳 (n=99)	3.0%	11.1%	85.9%
	30～39歳 (n=190)	5.3%	24.2%	70.5%
	40～49歳 (n=246)	5.7%	27.2%	66.7%
	50～59歳 (n=190)	6.3%	24.2%	68.4%
	60～69歳 (n=223)	4.9%	33.6%	61.0%
	70歳以上 (n=294)	8.8%	31.3%	57.8%

問 28) あなたは、家事や子育て、介護など家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。

<全体 (n=1, 276) >

- 「そう思う」は 63.6%、「どちらかといえばそう思う」は 29.7%であり、合計すると9割を上回っています。
- 男女別に見ると、「そう思う」の割合は、男性が 58.8%、女性が 66.6%と 7.8 ポイントの開きが見られます。
- 年齢層別に見ると、20 歳代で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が高くなっています。

図表 家庭内での役割に対する意識



図表 男女別の家庭内での役割に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
性	男性 (n=481)	58.8%	32.6%	5.8%	1.7%
別	女性 (n=781)	66.6%	28.0%	3.6%	0.6%

図表 年齢層別の家庭内での役割に対する意識

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
年齢	16～19歳 (n=30)	70.0%	23.3%	6.7%	0.0%
	20～29歳 (n=99)	67.7%	29.3%	2.0%	1.0%
	30～39歳 (n=190)	67.9%	24.7%	5.8%	0.5%
	40～49歳 (n=246)	60.2%	32.5%	4.9%	1.6%
	50～59歳 (n=190)	65.8%	28.4%	4.2%	1.6%
	60～69歳 (n=223)	66.8%	27.4%	3.6%	0.4%
	70歳以上 (n=294)	57.8%	34.4%	4.8%	1.0%

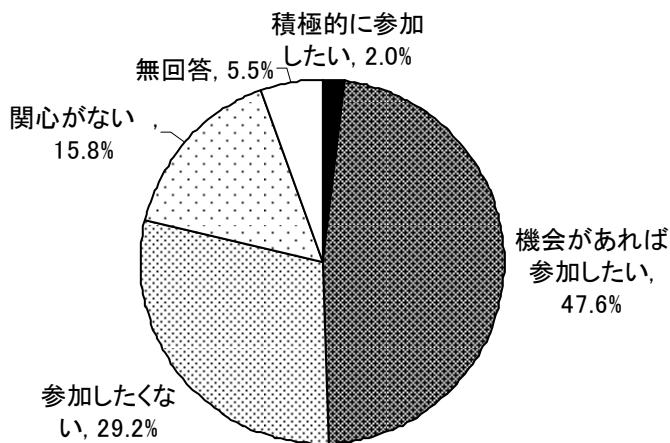
【 参加と協働のまちづくりについて 】

問 29) あなたは今後、市政・まちづくりに参加したいと思いませんか。

<全体 (n=1,276) >

- 「積極的に参加したい」は 2.0%、「機会があれば参加したい」が 47.6%であり、合計すると約半数となっています。
- 男女別に見ると、男性の参加意欲が高い傾向が見られます。
- 年齢層別に見ると、年齢が若いほど「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」割合と「関心がない」割合が高くなっており、まちづくりへの参加意向は二極化する傾向が見られます。

図表 まちづくりへの参加意向



図表 男女別のまちづくりへの参加意向

	積極的に参加したい	機会があれば参加したい	参加したくない	関心がない
性 別 男性 (n=481)	2.1%	52.0%	25.2%	16.4%
女性 (n=781)	1.8%	44.9%	31.8%	15.4%

図表 年齢層別のまちづくりへの参加意向

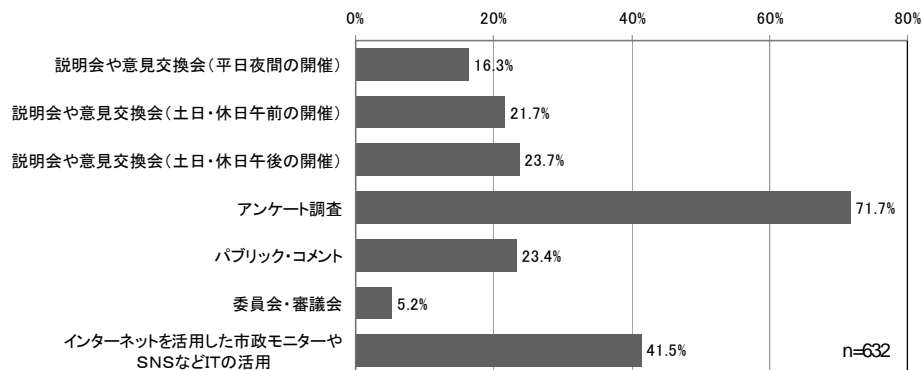
	積極的に参加したい	機会があれば参加したい	参加したくない	関心がない	
年 齢	16～19歳 (n=30)	3.3%	53.3%	16.7%	26.7%
	20～29歳 (n=99)	4.0%	52.5%	14.1%	29.3%
	30～39歳 (n=190)	2.6%	51.6%	25.3%	17.9%
	40～49歳 (n=246)	0.8%	55.3%	25.2%	15.4%
	50～59歳 (n=190)	3.2%	47.9%	30.5%	15.3%
	60～69歳 (n=223)	0.9%	45.7%	31.8%	14.3%
	70歳以上 (n=294)	1.7%	37.4%	38.4%	10.9%

問 30) 問 29 で「1 積極的に参加したい」、「2 機会があれば参加したい」を選んだ方にうかがいます。あなたはどのような手法で参加できますか。また、どのような参加手法をとれば、より多くの市民の意見が行政に届きやすいと思いますか。(複数回答可)

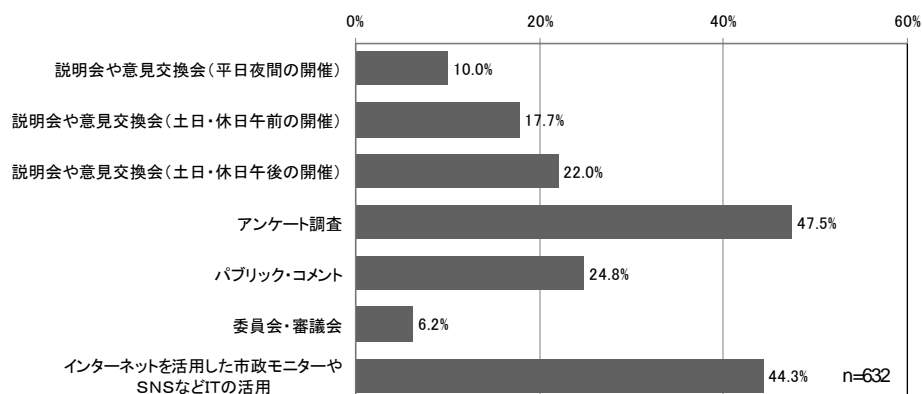
<全体 (n=632) >

- 参加できると思うものについては、「アンケート調査」が 71.7%と最も多く、7割を上回っています。
- 次いで「インターネットを活用した市政モニターや SNS など IT の活用」が 41.5%となっています。
- 一方、「説明会や意見交換会」は時間帯にかかわらず概ね 2割前後、「委員会・審議会」は 5.2%となっており、直接的な参加を伴う手法の割合は低い傾向が見られます。
- 参加できると思う手法を年齢層別に見ると、年齢が若いほど「説明会や意見交換会(土日・休日午後の開催)」「アンケート調査」「パブリック・コメント」の割合が高くなる傾向が見られます。
- 参加できると思う手法を男女別に見ると、女性よりも男性の方が、各手法の選択率が高い結果となっています。
- より多くの市民の意見が届きやすいと思うものについて、「アンケート調査」が 47.5%と最も多く、次いで「インターネットを活用した市政モニターや SNS など IT の活用」も 44.3%と 4割を上回っています。

図表 参加できると思う手法



図表 より多くの市民の意見が届きやすいと思うもの



図表 男女別の参加できると思う手法

	説明会や意見交換会(平日夜間の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午前の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午後の開催)	アンケート調査	パブリック・コメント	委員会・審議会	インターネットを活用した市政モニターやSNSなどITの活用
性別 男性 (n=260)	18.8%	26.5%	30.8%	66.9%	25.8%	8.1%	43.8%
性別 女性 (n=365)	14.2%	18.4%	19.2%	75.9%	21.9%	3.0%	40.3%

図表 年齢層別の参加できると思う手法

	説明会や意見交換会(平日夜間の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午前の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午後の開催)	アンケート調査	パブリック・コメント	委員会・審議会	インターネットを活用した市政モニターやSNSなどITの活用	
年齢	16～19歳 (n=17)	17.6%	0.0%	23.5%	88.2%	35.3%	0.0%	47.1%
	20～29歳 (n=56)	16.1%	25.0%	26.8%	85.7%	37.5%	1.8%	62.5%
	30～39歳 (n=103)	9.7%	22.3%	23.3%	87.4%	26.2%	2.9%	58.3%
	40～49歳 (n=138)	10.1%	24.6%	22.5%	80.4%	26.1%	2.2%	55.1%
	50～59歳 (n=97)	28.9%	19.6%	20.6%	67.0%	26.8%	9.3%	42.3%
	60～69歳 (n=104)	19.2%	24.0%	20.2%	64.4%	11.5%	5.8%	27.9%
	70歳以上 (n=115)	16.5%	19.1%	30.4%	47.8%	17.4%	8.7%	10.4%

図表 男女別のより多くの市民の意見が届きやすいと思うもの

	説明会や意見交換会(平日夜間の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午前の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午後の開催)	アンケート調査	パブリック・コメント	委員会・審議会	インターネットを活用した市政モニターやSNSなどITの活用
性別 男性 (n=260)	10.4%	21.9%	25.0%	47.7%	24.2%	6.9%	41.9%
性別 女性 (n=365)	9.3%	14.8%	19.7%	47.9%	25.5%	5.5%	46.6%

図表 年齢層別のより多くの市民の意見が届きやすいと思うもの

	説明会や意見交換会(平日夜間の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午前の開催)	説明会や意見交換会(土日・休日午後の開催)	アンケート調査	パブリック・コメント	委員会・審議会	インターネットを活用した市政モニターやSNSなどITの活用	
年齢	16～19歳 (n=17)	11.8%	23.5%	29.4%	52.9%	41.2%	0.0%	58.8%
	20～29歳 (n=56)	14.3%	25.0%	26.8%	55.4%	39.3%	3.6%	75.0%
	30～39歳 (n=103)	11.7%	19.4%	25.2%	50.5%	28.2%	5.8%	52.4%
	40～49歳 (n=138)	10.1%	21.7%	21.7%	51.4%	24.6%	5.1%	52.9%
	50～59歳 (n=97)	9.3%	13.4%	19.6%	49.5%	24.7%	6.2%	53.6%
	60～69歳 (n=104)	7.7%	24.0%	16.3%	49.0%	20.2%	8.7%	26.0%
	70歳以上 (n=115)	7.8%	5.2%	23.5%	33.0%	17.4%	7.8%	19.1%

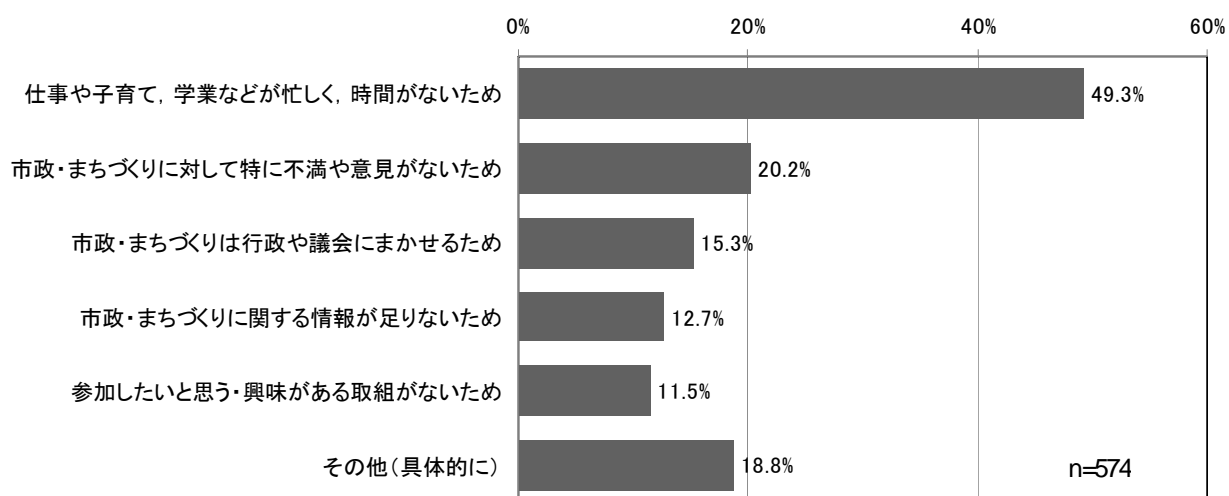
問 31) 問 29 で「参加したくない」、「関心がない」を選んだ方にうかがいます。参加をしない・関心がない理由は、主にどのようなことですか。(複数回答可)

<全体 (n=574) >

○「仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないため」が 49.3%と最も多く、約 5 割となっています。

○それ以外の選択肢については、いずれも概ね 1～2 割となっており、分散しています。

図表 参加しない・関心がない理由



**4 「国民体育大会・オリンピック」について**

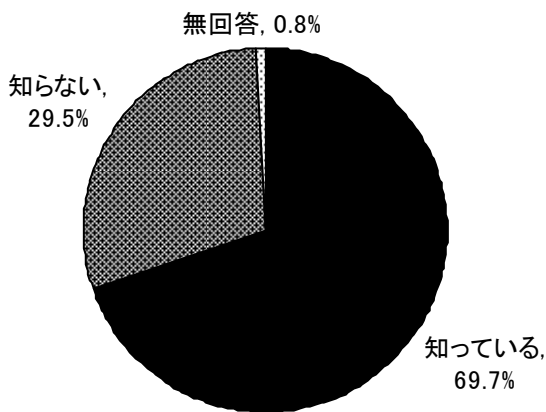
【 国民体育大会の開催について 】

問 32) あなたは、平成 25 年（2013 年）秋に、味の素スタジアムをメイン会場として「第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会」（スポーツ祭東京 2013）が開催されることを知っていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「知っている」が 69.7%と約 7 割となっています。
- 年齢層別に見ると、「知っている」は 40 歳代を中心に高くなる傾向が見られます。
- 地域別に見ると、「知っている」は南部及び西部地域で 7 割を上回っている一方、北部地域では約 7 割、東部地域では 4 割強となっています。

図表 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催の認知度



図表 年齢層別の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催の認知度

		知っている	知らない
年齢	16～19歳 (n=30)	43.3%	56.7%
	20～29歳 (n=99)	61.6%	38.4%
	30～39歳 (n=190)	71.1%	28.4%
	40～49歳 (n=246)	76.0%	23.2%
	50～59歳 (n=190)	70.5%	29.5%
	60～69歳 (n=223)	68.6%	31.4%
	70歳以上 (n=294)	69.0%	28.6%

図表 地域別の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催の認知度

		知っている	知らない
地域	東部地域 (n=272)	61.8%	35.7%
	北部地域 (n=297)	68.0%	31.6%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	76.2%	23.8%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	73.0%	26.6%
	西部地域 (n=237)	71.7%	28.3%

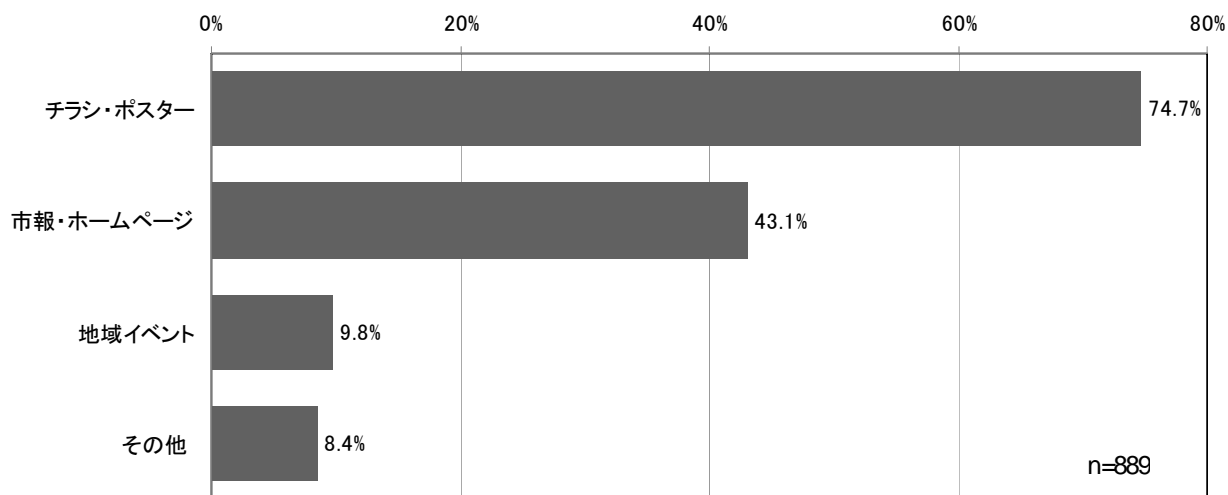


問33) 問32で「1 知っている」を選んだ方にうかがいます。開催をどのように知りましたか。(複数回答可)

<全体 (n=889) >

- 「チラシ・ポスター」が74.7%と最も多く、7割を上回っています。
- 次いで、「市報・ホームページ」が43.1%となっています。
- 年齢層別に見ると、「市報・ホームページ」は年齢が高いほど高く、逆に「チラシ・ポスター」は年齢が若いほど高くなる傾向が見られます。
- 地域別に見ると、南部地域(中心市街地)では「市報・ホームページ」が他地域と比較して低く、「チラシ・ポスター」が高い結果となっています。

図表 開催を知った経緯



図表 年齢層別の開催を知った経緯

		市報・ホームページ	チラシ・ポスター	地域イベント	その他
年齢	16～19歳 (n=13)	0.0%	92.3%	23.1%	0.0%
	20～29歳 (n=61)	23.0%	90.2%	1.6%	6.6%
	30～39歳 (n=135)	31.1%	79.3%	16.3%	5.9%
	40～49歳 (n=187)	39.0%	83.4%	17.1%	13.4%
	50～59歳 (n=134)	39.6%	73.1%	8.2%	9.0%
	60～69歳 (n=153)	50.3%	71.2%	6.5%	6.5%
	70歳以上 (n=203)	60.1%	61.1%	3.9%	7.9%

図表 地域別の開催を知った経緯

		市報・ホームページ	チラシ・ポスター	地域イベント	その他
地域	東部地域 (n=168)	42.3%	74.4%	10.7%	6.5%
	北部地域 (n=202)	42.6%	69.8%	7.4%	11.9%
	南部地域(中心市街地) (n=154)	37.7%	78.6%	11.0%	5.2%
	南部地域(中心市街地以外) (n=189)	47.6%	74.6%	9.5%	11.6%
	西部地域 (n=170)	43.5%	77.6%	11.2%	5.9%

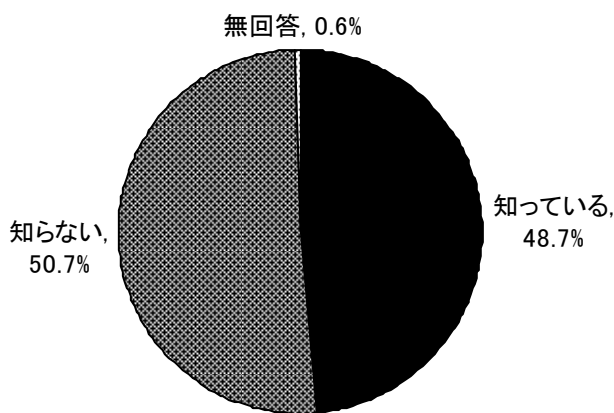
【 2020 年東京オリンピック招致について 】

問 34) あなたは、東京都が行っている 2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の招致活動において、東京スタジアム（味の素スタジアム）が競技会場の候補となっていることを知っていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「知っている」が 48.7%で 5 割近くとなっています。
- 年齢層別に見ると、概ね年齢が高いほど「知っている」割合が高くなる傾向が見られます。

図表 競技会場候補であることの認知度



図表 年齢層別の競技会場候補であることの認知度

		知っている	知らない
年齢	16～19歳 (n=30)	30.0%	70.0%
	20～29歳 (n=99)	35.4%	64.6%
	30～39歳 (n=190)	48.9%	50.5%
	40～49歳 (n=246)	46.7%	52.0%
	50～59歳 (n=190)	51.1%	48.9%
	60～69歳 (n=223)	51.6%	48.4%
	70歳以上 (n=294)	52.7%	45.9%

図表 地域別の競技会場候補であることの認知度

		知っている	知らない
地域	東部地域 (n=272)	47.1%	51.5%
	北部地域 (n=297)	50.2%	49.5%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	46.0%	54.0%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	51.7%	47.9%
	西部地域 (n=237)	47.7%	51.9%

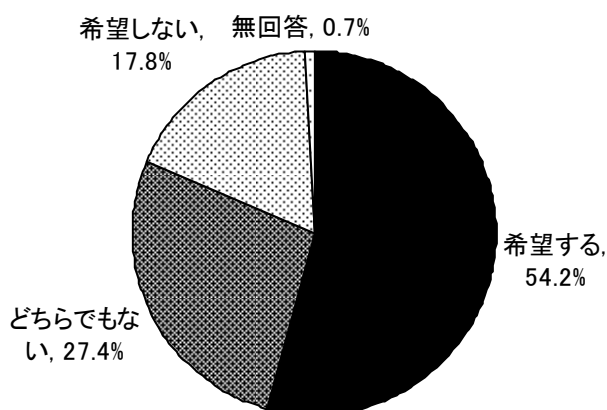
問 35) あなたは、2020年オリンピック・パラリンピック大会が東京で開催されることを希望しますか。

<全体 (n=1,276) >

○「希望する」は 54.2%、「どちらでもない」は 27.4%、「希望しない」は 17.8%となっています。

○年齢層別に見ると、20～40歳代で開催を希望する割合が比較的高い傾向が見られます。

図表 オリンピック・パラリンピック大会の開催希望



図表 年齢層別のオリンピック・パラリンピック大会の開催希望

		希望する	どちらでもない	希望しない
年齢	16～19歳 (n=30)	46.7%	33.3%	20.0%
	20～29歳 (n=99)	60.6%	23.2%	16.2%
	30～39歳 (n=190)	59.5%	19.5%	20.5%
	40～49歳 (n=246)	56.5%	27.2%	15.4%
	50～59歳 (n=190)	50.5%	28.9%	19.5%
	60～69歳 (n=223)	52.5%	29.1%	18.4%
	70歳以上 (n=294)	51.0%	31.0%	16.7%

図表 地域別のオリンピック・パラリンピック大会の開催希望

		希望する	どちらでもない	希望しない
地域	東部地域 (n=272)	55.5%	26.1%	16.5%
	北部地域 (n=297)	55.2%	29.0%	15.8%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	51.0%	26.7%	21.8%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	51.4%	26.3%	22.0%
	西部地域 (n=237)	57.0%	29.1%	13.9%

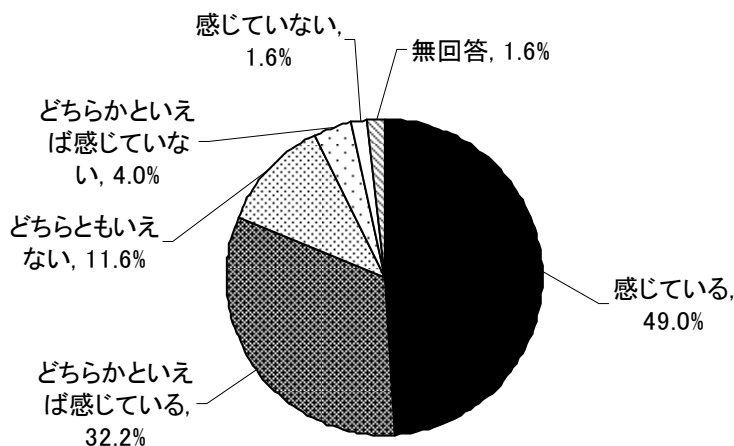
**5 「調布のまちへの愛着・親しみ」について**

問 45) あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。

<全体 (n=1,276) >

- 「感じている」は49.0%、「どちらかといえば感じている」は32.2%であり、合計すると8割以上となっています。
- 年齢層別に見ると、30歳代及び60歳代以上で「感じている」とする割合が半数以上となっています。
- 地域別に見ると、「感じている」とする割合は南部地域で比較的高くなっています。

図表 まちに対する親しみや愛着



図表 年齢層別のまちに対する親しみや愛着

		感じている	どちらかといえば感じている	どちらともいえない	どちらかといえば感じていない	感じていない
年齢	16～19歳 (n=30)	40.0%	36.7%	10.0%	6.7%	6.7%
	20～29歳 (n=99)	46.5%	30.3%	18.2%	3.0%	1.0%
	30～39歳 (n=190)	50.0%	33.7%	10.5%	4.7%	1.1%
	40～49歳 (n=246)	43.9%	38.2%	11.4%	4.5%	1.2%
	50～59歳 (n=190)	47.9%	34.2%	11.1%	3.7%	1.6%
	60～69歳 (n=223)	53.4%	27.8%	12.1%	3.1%	1.3%
	70歳以上 (n=294)	52.4%	28.9%	10.2%	4.1%	2.0%

図表 地域別のまちに対する親しみや愛着

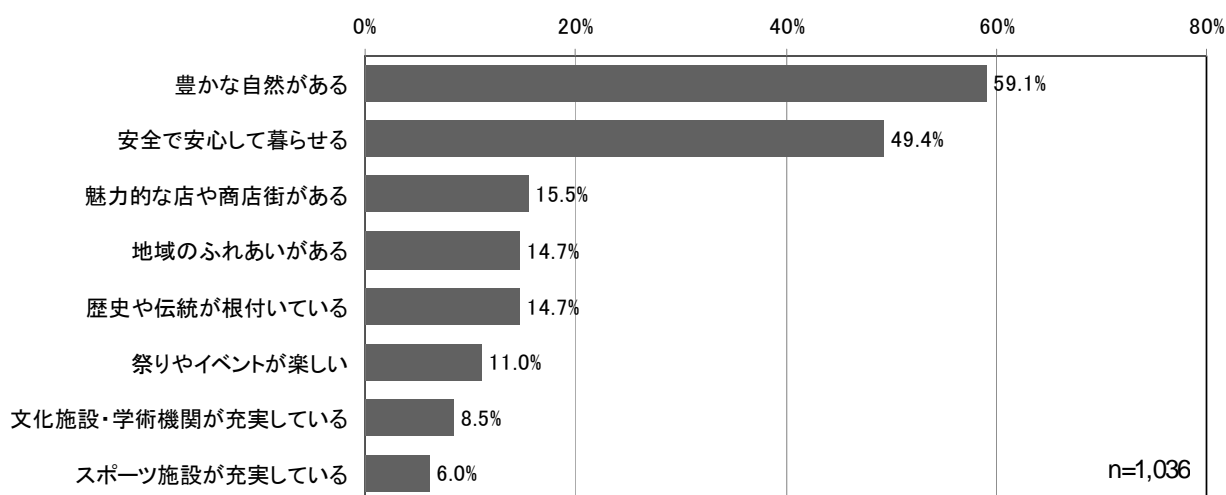
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらともいえない	どちらかといえば感じていない	感じていない
地域	東部地域 (n=272)	46.3%	37.1%	9.6%	4.0%	1.8%
	北部地域 (n=297)	49.2%	33.0%	10.4%	5.4%	1.7%
	南部地域(中心市街地) (n=202)	54.5%	28.2%	11.4%	4.5%	0.5%
	南部地域(中心市街地以外) (n=259)	52.1%	31.3%	12.0%	1.9%	0.4%
	西部地域 (n=237)	44.7%	30.8%	14.8%	4.2%	3.4%

問 46) 問 45 で「1～2」のいずれかを選んだ方にうかがいます。あなたが、調布のまちに親しみや愛着を感じている理由はなんですか。(複数回答可)

<全体 (n=1,036) >

- 「豊かな自然がある」が 59.1%と最も高く約6割、次いで「安全で安心して暮らせる」が 49.4%と約半数となっています。
- 年齢層別に見ると、「豊かな自然がある」や「文化施設・学術機関が充実している」は年齢が高くなるにつれて多くなる傾向が見られます。
- 20歳代では「魅力的な店や商店街がある」の割合が 35.5%と高くなっています。
- 地域別に見ると、北部地域では「豊かな自然がある」(86.9%)や「歴史や伝統が根付いている」(26.6%)の割合が他地区と比較して高くなっています。
- また、東部地域では「魅力的な店や商店街がある」(37.9%)の割合が他地域と比較して高くなっています。

図表 親しみや愛着を感じる理由



図表 年齢層別のまちに対する親しみや愛着

		安全で安心して暮らせる	地域のふれあいがある	祭りやイベントが楽しい	歴史や伝統が根付いている	豊かな自然がある	魅力的な店や商店街がある	スポーツ施設が充実している	文化施設・学術機関が充実している
年齢	16～19歳 (n=23)	60.9%	13.0%	13.0%	4.3%	47.8%	21.7%	4.3%	0.0%
	20～29歳 (n=76)	63.2%	10.5%	13.2%	13.2%	48.7%	35.5%	6.6%	6.6%
	30～39歳 (n=159)	53.5%	15.7%	15.1%	19.5%	71.1%	20.1%	7.5%	5.7%
	40～49歳 (n=202)	59.4%	18.8%	17.8%	14.9%	64.9%	21.3%	8.9%	8.9%
	50～59歳 (n=156)	59.6%	17.3%	12.2%	23.1%	80.1%	16.7%	5.1%	9.6%
	60～69歳 (n=181)	63.0%	17.7%	11.0%	19.9%	81.2%	16.6%	8.3%	14.9%
	70歳以上 (n=239)	65.3%	23.0%	11.7%	18.4%	79.5%	14.6%	7.5%	14.2%

図表 地域別のまちに対する親しみや愛着

		安全で安心して暮らせる	地域のふれあいがある	祭りやイベントが楽しい	歴史や伝統が根付いている	豊かな自然がある	魅力的な店や商店街がある	スポーツ施設が充実している	文化施設・学術機関が充実している
地域	東部地域 (n=227)	62.1%	19.4%	10.1%	14.1%	65.6%	37.9%	6.2%	9.7%
	北部地域 (n=244)	57.8%	17.6%	14.3%	26.6%	86.9%	9.8%	9.0%	7.4%
	南部地域(中心市街地) (n=167)	63.5%	15.6%	12.0%	14.4%	61.1%	19.2%	7.8%	10.8%
	南部地域(中心市街地以外) (n=216)	57.9%	17.6%	19.9%	17.6%	74.5%	14.8%	6.5%	12.5%
	西部地域 (n=179)	64.2%	20.1%	10.1%	15.1%	71.5%	13.4%	7.8%	12.8%



## 第3章 自由意見

---

注) 原則として原文のまま掲載しています。ただし、個人名等プライバシーに関する記述がある場合は、該当部分を省略している場合があります。





## 1 自由意見の内訳

○重点プロジェクトや施策に対する意見・要望等の自由意見は、1,306件寄せられており、内訳は以下に示した通りです。なお、複数項目に該当している項目は、分離又は再掲しています。

図表 自由意見の内訳

内訳	件数
<b>1 4つの重点プロジェクトに関する自由意見</b>	<b>660</b>
1) 「強いまち」づくりについての意見・提案	132
2) 「安心して住み続けられるまち」づくりについての意見・提案	162
3) 「利便性が高く快適で豊かなまち」づくりについての意見・提案	226
4) 「うるおいのあるまち」づくりについての意見・提案	140
<b>2 今後の調布市におけるまちづくりの視点に関する事由意見</b>	<b>562</b>
施策01 災害に強いまちづくり	13
施策02 防犯対策の推進	20
施策03 消費生活の安定と向上	0
施策04 子ども・子育て家庭の支援	35
施策05 学校教育の充実	6
施策06 青少年の健全育成	5
施策07 共に支え合う地域福祉の推進	20
施策08 高齢者福祉の充実	22
施策09 障害者福祉の充実	4
施策10 セーフティネットによる生活支援	2
施策11 雇用・就労の支援	3
施策12 生涯を通じた健康づくり	14
施策13 生涯学習	8
施策14 市民スポーツの振興	6
施策15 地域コミュニティの醸成	21
施策16 活力ある産業の推進	34
施策17 魅力ある観光の振興	28
施策18 都市農業の推進	5
施策19 芸術・文化の振興	10
施策20 地域ゆかりの文化の保存と継承	5
施策21 良好な市街地の形成	25
施策22 地域特性を生かした都市空間の形成	95
施策23 良好な住環境づくり	6
施策24 安全で快適なみちづくり	67
施策25 総合的な交通環境の整備	48
施策26 地球環境の保全	3
施策27 水と緑による快適空間づくり	26
施策28 ごみの減量と適正処理	8
施策29 生活環境の保全	21
施策30 平和・人権施策の推進	1
施策31 男女共同参画社会の形成	1
行政改革プラン	39
その他	45

## 2 4つの重点プロジェクトに関する自由意見

### 1) 「強いまち」づくりについての意見・提案

#### ① 地震などの災害対策

- 地震災害対策や災害機能道路整備等
- 地震災害対策や地域コミュニティ
- インフラの整備の強化—優先的予算の配備が必要今や、電気、水、ガスは市民生活の不可欠案件
- 緊急地震速報や大きな地震があった時の状況などを放送して欲しい。(市内にあるスピーカーで)
- 災害時(地震、停電等)の市民の住居、食糧の確保は重点を置いていただきたい。
- 非常用食料と水の保管所を数十カ所設置する。
- 地震発生後、徒歩で帰宅する時に道や道路に駅の方角が示す看板等があれば便利だと思います。
- ライフラインが無い場合の対策
- 障害者の災害時避難をスムーズに行えること。
- 立川に近いので地震が不安
- 公園をもっと有効活用して災害に備えてほしい。
- 災害時での十分な食料の確保(備蓄)
- 高齢化の中、一人暮らしや、二人暮らしでも高齢者を災害時に優先的にケアする仕組みと、その把握が必要と思われる。又、ライフラインの確保
- 天災のみの対策だけでなく、人災に対する備えも必要
- 災害時の食料の確保
- 地震などに洪水対策も含めて下さい。⑤(地域コミュニティの醸成)ができれば④(自助・共助)による防災への取組の促進は自然発生的にできると思う。③(災害時に機能を果たす道路整備)の道路整備は災害のシュミレーションをしないとはっきりビジョンが見えないと思う。道路だけでなく役につか、費用とのバランス
- 事後処理の費用を考えれば、事前の対策費は微々たるもの。原因を根本からなくすことが大切。耐震化は力を入れるべき
- 震災の時、渋谷から徒歩で帰宅しましたが、狛江市では「トイレ」等の表示を持った方があちこちに立ち、案内していました。調布市に入った時には、そのような方を見かけませんでした
- ”防ぐ”に重点を置く施策に目が向きがちだが効果は？災害は起きる。風水害は別として、地震が発生した時の対応にシフトした方が良いのでは。
- 数年前、台風が多摩川源流域を通過した時に多摩川の流量が増加し、京王線鉄橋周辺が浸水しそうになった。防水対策も検討すべきである。
- 古き良き街の景観を残しつつも、新しく機能的な災害対策を望みます。また、一方が多摩川に面しているので、橋の点検、補修は入念に行うべきかと
- 当面は首都直下型地震が大きな懸念事項、国や都の施策を活用・連携し、同地震対策を進めていただきたい。
- 防災シェルター(避難場所)の確保と拡大をお願いします。多分市立の中学校が該当すると思いますが。例えば拡大とは空き家住宅の確保とか。
- 耐震対策、(公共の場、学校や保育園、幼稚園等)早急に各マンション、アパート(賃貸含め)耐震診断と対策、補助

- 多摩川地区に住んでいるので、災害時の氾濫が気になる。川向こうの方が整備されてて景観も良いように思う
  - 昨年の地震後、計画停電が行われた際、権力者や金持ち、送電線鉄塔が少ない調布ではあちこちで停電となり、調布駅前までがその対象となった。駅前だけは避けられるようなシステムにして欲しい
  - 文教機関との連携で避難スペースを確保する
  - 調布駅が地下化になり、地上に道路が出来るのを、災害時のトイレのための穴をたくさん作ってほしい。東北震災で、トイレの行列がすごく、一番切実に感じました。
  - 大型新築マンション等も出来、実際に災害があった時、避難所とされている現施設でキャパは充分なのだろうか？
  - 災害時に対応できる備えをお願いします。(飲食、衣類、寝具等の生活用品、住居→雨風寒さをしのぐ場所)
  - 川添いに住んでいるので、最近ゲリラ集中豪雨で全国的に水害が毎年起きているので心配です。水害に対する対策はどうでしょうか。
  - 万が一の災害でも被害を最小限とするために、ソフト、ハード両面から予防保全に取り組むべき
  - 電線通信回路の災害が多くリスクも高い。
  - 古い建物が多いので災害対策がどうなるのか
  - 公共建築物、マンション等の耐震強化
  - 古い家はブロック塀も多くひび割れも見かけます。新しくするのに市の補助金を出してほしいです。
  - 賃貸アパートに住んでいるが(木造)40年、心配です。行政から耐震策を進める方向へお願いします。
  - 耐震診断や耐震工事をより多くの家が行えるように、補助金を出してもらえると良い
  - 公共施設の耐震化はほぼ進んだと思う。個人住宅は難しい。災害後も生活しなければならず、その備えも不足していると思う。(避難先での生活訓練、共同生活の在り方等、東日本震災の教訓が参考になると思われ、情報を発信する事が必要)
  - 強い街としては防災をもっと強く応じてもらいたい。
  - 強い街としてまだ感じられていない。
  - 地震が多い中、町中において、どこへ行けば良いのかわかりません。調布駅周辺では、一時避難場所を決めてほしい
- ② 火災などへの消防対策
- 火災時消火困難な狭路の拡張整備
  - 大震災への対策は継続的に取り組んでももらいたい。また調布は放火事件が多いので、市としても対策を考えてもらいたい
  - 消防対策と防災への取組の促進
- ③ 災害時に機能を果たす道路整備
- 道路整備は当然のこと

#### 第4章 自由意見

- 地震災害対策や災害機能道路整備等
  - 新しい信号機を作り，使用しなくなった歩道橋の撤去。地震時に倒壊のおそれがあるため
  - 車輛を使用しての災害時の制限
  - 避難も救援も道路の整備が最優先です。巾着状の細街路，へび玉状の生活道路は，地域計画や区画整理等の事業を活用して，早急に整備する必要がある
  - 歩道が狭い
  - 予算消化のための無駄な道路整備は改めてほしいです。年度末になると毎年同じ所の道路が工事をしています
  - 東京都すべてに言える事ですが，道路がせまくて緊急時に本当に大丈夫なのかと思います
  - 防災上では道路等のインフラ面で不備，格差が大きすぎる。
  - 普段でも思っていますが，旧甲州街道など，とにかく歩道が狭い箇所が多いです。
  - 電通大横の通り狭くて危険
  - 京王線地下化の時，つつじヶ丘，柴崎を地下化しなかったのも，地上部の道路整備をしてほしい
  - 道路の歩道はせますぎる。電柱も多すぎ，ベビーカーで利用出来ない町はいかかなものでしょうか。
  - 災害時機能道路整備や防災への取組
  - 住宅密集地の道路整備を急ぐべき
  - 道路整備されても自転車があふれてはどうにもならない。
  - 調布は昔の畑道が多く，迷路の様な行き止まりの所が多い地域なので，火災時にすぐに消防車が入って来られるか心配な場所もあります。
  - 狭あいな街路が多い地区もあるので，交通基盤を再整備すれば，地震，火災をはじめとする天災に効率よく対応できると思う。
  - 幅の狭い道路が多く，とても「強いまち」のイメージがわかりません。まず，道路整備が優先だと思っています。
- ④ 自助・共助による防災への取組の促進（地域での防災訓練など）
- 自助・共助による防災への取組の促進における数々の補助
  - いろいろな場合を想定して，個人がどう動けばよいか，地域ごとにわかりやすい小冊子を配布し浸透させる（すべての人が理解出来る様に）
  - 防災のしおりを勤務先でもらいました。
  - 防災無線放送の充実
  - 防災放送が聞きとりにくいです。
  - 避難場所の明示
  - 避難場所の明確化
  - 地震や火災のときの避難場所が分かりません
  - 防災マップ，防災施設の地図，防災対策
  - 地域限定の情報誌等
  - 世田谷区で実施していましたが，「震災時井戸水利用」の明示
  - 行政機関（市，警察，消防署）と地域住民が連携した大規模な防災訓練を実施し，災害に備える

必要

- 防災訓練の内容が、毎回同じで意味がないと思う。色々なパターンの訓練が必要だと思う
  - 自助、共助をメインテーマに市民教育を図る。→コミュニティ向上へ
  - まだまだ地震などの時の避難経路や場所が市民にいきわたってない。おきた時の備えは十分なのか？
  - 市民の意識を出来れば高めてほしいです
  - これから社会の中心となる 10 代～40 代この世代の人たちの積極的な活動が大事だと思います。
  - 自助・共助による防災への取組の促進に取り込む事によって、地域コミュニティの醸成の地域のつながり・連帯感を育むことができるのでは？
  - 地域社会の復活（防犯活動，火災予防運動）
  - 地域の中で助けが必要な人，助けることのできる時間・力のある人などを登録して，お互いに顔見知りになっておく。
  - 調布市民のみでなく，市内で働く人たちが帰宅難民になってしまった時に，受け入れられる優しい街にもなってほしいです。
  - 訓練に出向かないお年寄りを把握すると良いと思う
  - 人作り，組織作り（若い人達の育成が大事）
  - 既存の自治会などは，役員の負担も大きく，また災害対策（一番重要と思われる）には機能していない。存続もむずかしい状況だと聞いている。災害対策に特化した現状にあった住民の負担の少ない横のつながりを再編成してほしいです。
  - 災害時には住民間の助け合いが必要
  - 防災訓練いつも日曜とかにやる為，お休みが違うと出たくても出れなく，どういう風になっているのか全く分からない。もっと曜日を考えると，今回は日曜日だったら次は違う曜日とかにやってほしい。
  - 多摩川の洪水など，災害に対する防災や訓練も強化してほしい
  - 地域のつながりが希薄になっている昨今，各自で災害対策を行わなければならないのではないのか。それにはセキュリティシステムを設けて，各家庭に取り付けるなどの対策など。
  - 自治会で年 2 回ほど防災訓練をしており参加していますが大きな災害に対して不安が残ります。
  - 災害時に素早く行動をとれるように，公共の目立つところに（地域ごと）簡単な場所の表示などが欲しい。
  - 最近震災などがあったために，地震や災害が来た時の対策を市民全員が分かるようにしてほしいです
  - 災害時，各地域でどこに避難したらいいのか，分かる冊子，地図などが有ったらと思う。
  - 実際に避難場所など理解度は低いと思うので，誰でもどこでもすぐわかるように掲示してほしい。
  - 災害時やその時に関する伝達の確実さと速さ。一つの所に集中してパンクしないように，事前に〇〇に連絡すれば…のような知識を持ってほしいもの。危機感を薄れさせないためのイベントなどを望む。
- ⑤ 地域コミュニティの醸成（地域のつながりや連帯感を育む）
- 地域のつながりがあれば，火災の時など早い発見や手助けが出来る

#### 第4章 自由意見

- 5番（地域コミュニティの醸成）が出来れば4番（自助・共助）もうまくいくと思います
- 普段からお隣り，ご近所と円満な関係に心かける
- かつて存在した地域の自治会が新住民の転入や役員のなり手が居らず，解散した。この傾向を阻止するため市の援助が欲しい。
- 将来像の「みんなが笑顔で」にもつながることだと思います。ただ，簡素で分かりやすく参加も楽なものでなければ（億劫でないものでなければ）ならないと思います。
- 「強いまち」づくりは日常のつながりが大事なので，自治会のある所は良いが，調布に住む方は，自治会員であるほうが望ましい
- 「強いまちづくり」の基本は，地域住民の連帯だと思う。子供がいる家庭，いない家庭の特長を考慮した連帯づくりが必要。子供を通した連帯は築き易いが，いない家庭の場合，年代，生活パターンに応じた連帯作りの為のサークルを定期的に開催してはどうか？
- 自治会はあるが，あまり機能していない様と思う
- 都営に住んでいるが，一人暮らしの人が多く，又老人はがんで，すぐドアを閉めてしまい，人と話し等しない
- 災害時はどうなるか想像が付きません！日ごろから地域の助け合い，とても大切です。コミュニケーションをしていないと
- 自治会の見直し，（現自治会加入は高齢者が多い為）
- 地域のつながりが薄くなりつつある今，連帯を強くする町内会の活動などを活発にする必要があると思います。
- 調布市は密集市街地も少なく災害への危険度は小さい，23区や都心と同様に大げさな防災は叫ばなくと良いと考える。その力を地域助成・共助の育成によるコミュニティ養成に向けた方が良い
- 挨拶を目が合ったり，人の気配がしたらその方向を見て，積極的にするということからでも，地域のつながりは育む事が出来ると思います。小さいことでもそれを地域の方々積極的に行っていけるよう，呼びかけ根付かせることが大切だとも思います。
- 「人」は支え合ってこそ「人」。支え合ってこそ「強さ」が発揮できる。従って④（自助・共助）⑤（地域コミュニティの醸成）が強さの原点
- 住むだけの街ではなく，産業のある町に，おのずとコミュニティが発生する
- 何かあった時地域で近所で声を掛け合えるつながりが必要と思います。
- 調布に転入してから日が浅い為，地域の交流など，あまり見受ける事がない為，地域の連帯感を感じられない
- 現代は昔と異なり近所との密度が薄くなり，「隣は何をする人ぞ」と言った様になりつつあり，40年程前のフロンティアスピリットというか協力とか親しさがなくなり，災害の時など心配です。
- 今住んでいる所の近所は高年者そして近所づきあいもありないので，いざという時不安です。
- うちの自治会は染地に指定されているが，団地が立つ前はジャリ穴，田んぼで地盤が不安定，考えてもらいたい。
- 災害時に安心安全なのかを共有する。

## その他

- 特に警察官の対応の強化が必要。自信を持たせて上司が責任を取るよう指導させること
- 犯罪のない街づくりにしたい。
- 犯罪ゼロとモデル地区とし交番を増やす
- 役所の対応が遅いと感じた
- 災害時に機能を果たす道路整備は市でなく家庭で取り組むべき事柄だと思います。
- プロジェクトに対し、各項目が書かれているので特になし
- 調布市も新しい市の様子を見せ始めています。
- 植栽を多用した Garden City を目指して下さい。建ぺい率、容積率を緩和して 3F 建てを作れるように。
- 地震などの災害対策，火災などへの消防対策，災害時に機能を果たす道路整備のハード面は限界があり，目標が不明。地域コミュニティの醸成は人口増加中の調布市にとって欠落しつつある。災害初期に大切。
- 商業の発展&文化発信による活力あるまち
- マンションを建てる地域と一戸建ての地域を別々にして。欲しい。災害の時にも，美観にも日照にもいい。
- 子供達の安全を常に配慮，町全体で見守る。

## 2) 「安心して住み続けられるまち」づくりについての意見・提案

## ① 保育園・学童クラブなど子育て支援サービス

- 保育園・幼稚園の増設
- 0歳2歳の子供がいるのですが，児童館を活用させて頂いています。このような場があり，親子で楽しませて頂いています。
- 病院は駅周辺に多く，住宅周辺になく不便（小児科等）特に元町地区，深大寺の観光が重視されていて，子育て世代は不便
- 放射能の空間線量（主に子どもが集まる場所）測定の継続，給食・調布市産の食物の測定の継続
- 子育て支援や介護，教育に関する新ビジネスの積極的誘致
- 保育園に空きが無く，姉と妹が（年子）離れたところへ通うのを送り迎えする母がとても大変そうでした。女性が安心して働くためにも，手厚くするのが良いのではと思います。
- 保育施設が少なすぎて，子育てしやすい環境と言いつらい
- 母子家庭への現金支給を増やす
- 待機児童のない保育園の充実（数と内容の充実）
- もっと若い人が子供を育てやすい町，子供が増えなければ老後の安心はあり得ない。老人は子供を考えた方が良い。
- 共稼ぎが増える現状，市として学童クラブなどの充実が必要（子供が増えない）
- 地震などの災害対策，火災などへの消防対策の場合，広いスペースを確保し，環境を整え，モデルケースになるような施設，設備を作ってみたら，素晴らしいと思います。
- 保育園学童支援や雇用就労支援
- 子育てしやすい街ならば，結果として若い世帯が増え，働く世帯が増えれば，それによる税の増

#### 第4章 自由意見

取などがみこめるため⇒福祉もみこめる

- 少子高齢化の時代が来ているのだから、例えば保育園・学童クラブなど子育て支援サービス、高齢者の福祉や地域コミュニティの醸成を市は真剣に待ったなしで取り組んでほしい
- 安心して子育てを出来る経済的・精神的安定の継続が不可欠
- 子育てを支援するため、学童クラブに地域の住民が参画できる仕組みをつくり、運営する事を検討してはいかがでしょうか
- 小児科医療の充実
- 子供が生まれる時に色々見て、公園などの環境が良くて調布に決めました。今後は、子供が健やかに成長していく環境を望みます。
- 市立の幼稚園がない。助成などの交付も必要
- 幼稚園も増やしてほしいです。調布市には、子供を幼稚園に入れて働きたいと思っている家庭に向けた幼稚園が少なすぎだと思いました。
- 「子供駆け込み110番」のステッカーを張ってあるお宅やビルを見かけるが、実際何が事故があった場合、どこのお宅に駆け込んでよいのか子供はわからないと思う。(ビルなどはどこへ助けを求めて良いのかわからない) 幼・小・中学校へ「駆け込み110番マップ」を配るか、集団下校の際上級生と駆け込みのお宅に年に1回挨拶へ行くなど受け入れ側も意識を再確認してほしい。
- 子供(乳幼児)をもっと大切にすること。その子供たちが大人になって社会を支えてくれる人になっていくので、全てにつながる事と思っています。サービスだけでなく、子供の豊かな環境は人的環境と思います。
- 保育園・学童クラブなど子育て支援サービス
- 保育園の待機児童の無い町にしてほしい
- 他自治体は学童は19:00までシルバーさんがグループごとについて自宅まで送り届ける等サービスが自治体の予算であるそうです。小中学校での食育(お弁当の日の実施)、いのちの教育(誕生学)など。(いのちの映画上映)
- 保育園・学童クラブなど子育て支援サービス
- 保育園・学童クラブなど子育て支援サービス
- 人口減少の状況では、若い世代にこのまちに住みたいと思ってもらうことが必要。
- 調布市は人口も増えているように思うので、若い世代が調布を好きと思ってほしいので、子どもを育てやすい環境は必須です！
- 保育園に希望者全員が入れるようになって欲しい。失業した場合の一个月以内の再就職の規定の見直し。今の状況でそう簡単にはいかない為。
- 現在、幼稚、小学校、中学、でも問題が起きた時、相談するところはあるが、問題解決できるところが無い。結局親はどうすればいいか(法的問題)心を痛めているのは知っているだろうか?安心して住めない、生きづらい。
- どれも大事な取り組みだと思うが、調布市は若い世代に対する支援が高齢世代の支援より軽すぎると思われます。
- 若い夫婦が多い町は未来に夢がありますので、地域の活性化につながると思う。



## ② 小・中学校の教育

- 小中学校の字がもっと上がると良いです
- 小中学校の教育や雇用・就労支援など
- 学校や教育改革による改善
- 子供の教育に力を入れて下さい。
- 安心（強い）ということを考えれば，教育が大事で，それにより福祉への意識，就労意欲など後追いながらついてくるのではと思います。
- 私立校優越（感）の払拭一対策。先生の質の向上，給料UP環境整備等 分を補助にまわす等。
- 子供関係や教育の支援してもらいたい
- 教育も大事
- 小中学校の教育
- 子供が学ぶことを楽しみにして出かける学校，そしていい先生がいるという学校生活が出来たら。安心して住む所で仕事が出来るとよい
- 日本国の愛についてもっと教えること，教育委員会を大きく変える必要がある
- 福祉は最低限でよい。学校は学校長が重要である
- 小学校のプールをもっと広くして頂きたい。
- 通学路の整備
- 未だに夕方になると暗い通学路や，道路にあるミラーの向きや取り付けなど子供やその保護者など安心して通れるようにして欲しい。
- 小中学校の教育や地域コミュニティ
- 小中学校の教育や健康保サービス
- 小・中学校の教育に於いては道徳教育 青少年の非行防止及び健全育成対策，現代の子供はすぐ切れる 忍耐力をつける事
- 子供の道徳教育に力を入れてほしい。
- 子供達が安心をして通学出来る道路の整備
- 将来ある子供達に力を入れて欲しい。
- 学校での「いじめ」には教師の積極的な対応が必要
- 学校と家庭の教育改革問題
- 教育現場改革の見直し。

## ③ 青少年の非行防止及び健全育成対策

- とにかく子供達の安全，声かけ，皆で育てる気持。ゴミのないきれいな街は，犯罪も少ないと思います。
- 青少年に有害とされるコンテンツ（マンガ等）は規制されるべきではない
- 少子社会で社会の目が届きにくい。しかし次世代育成は大切。国レベルでなく，自治体レベルが注視して欲しい
- 小さい頃からしつけ教育をしないと，大人になって非行に走る人が多くなる。人に対してやってはいけない事，言っはいけない事を小さい頃からしつけを大事に。
- 地域での見守りを強化する事

#### 第4章 自由意見

- 青少年非行防止対策や雇用就労支援
- 深夜のバイクの騒音や、コンビニ周辺に若者達が集団でいるところをよく見かける
- 結局は地域の結びつきが非行等、色々な防止になると思います。

#### ④ 高齢者の福祉

- 高齢福祉や地域のコミュニティ
- 福祉の充実する街にしたい。
- 高齢者の福祉の場合楽しみに湯にはいり、皆など話し入浴場から気分よく帰る姿がないのはかなしい。
- お年寄りの足腰の悪い方が目立ちます。内蔵の検診は有りますが、整形関係は個人の養生にまかされています。若いうちから生活習慣や運動をもっと進める啓蒙を計って頂きたい。
- 独居等の高齢者が必要としているのに、制度上の理由などで受けられないサービスがあることを耳にする一方、不正に生活保護を支給している話も聞きます。不公平という面では、明日は我が身と考えると、安心できません。
- 高齢者への医療体制確立（医療費軽減、国保税軽減など）
- 大きなスーパーが出来たので近くの商店が無くなり高齢者の買い物に不便になりました。
- 特養を増やして、希望する人が利用しやすい環境を整えてほしい。
- 元気な高齢者がいっぱいいます。半分ボランティアのような形で、働ける場所はいっぱいあると思います。生きがいのある生活と街の活性化のためにも活用すべき。
- 「年金をこれ以上減らさないでほしい」と高齢者が申しております。
- 調布市も高齢者世帯が多いと思います。活気づく街とするなら、子育て世帯の支援と高齢者への取り組みの同時進行が必要です。
- 高齢者の方が安心して暮らせる町は、誰にでも優しい“街”となるはずです。
- 高齢夫婦であり（妻）障害者～団地7Fに住んでいるので地震の時エレベーターのストップ心配です。
- 孫達の為に都心からこして参りました為（68才）住宅が近いと良いと考えます。（たとえば3LDKと1K）となりあわせにあると老人も助かり、孫達も安心と思われれます。
- 弱者（高齢者・障害者）への窓口の周知を願います。
- 高齢者の入浴施設と保育園、学童クラブを同じ敷地にし、交流をする事により、こどく感や、ボケをなくし、子供のしつけやマナーやルールをみにつけさせる →例えば廃校になった学校を使う等
- いろいろ高齢者の為の催しも健康な方達のもの あまり参加出来ない者も居る事を考えに入れて下さい。
- 独居老人に対するサポート
- 高齢者、障害者、弱者の方々への支援活動に、力を入れてほしい。

#### ⑤ 障害者の福祉

- 幼児も老人も障害者も大切にされる地域なら、安心して住めます
- 子供は富、宝、障害者も安心して住める環境の充実をお願いしたい。

- 障害者の福祉
- 震災など災害時の避難所，体調の悪い人，障害のある人などに配慮。一番困っている人を切り捨てない社会を希望。
- 障害者のグループホーム用地の斡旋，高齢者世帯の一人暮らし，高齢障害者世帯への関与，空き家対策と有効活用をして欲しい。
- 障害者の福祉というよりは，道路整備という点で，車椅子の方が安心して外出できるような道路（歩道）整備を望みます
- 障害者の社会復帰に取り組んでほしい
- いざという時は，障害者が一番弱いので，体力的にも早く助けてほしい。
- 障害者福祉や教育改革制度
- 家庭介護の実態アンケートの公表→政策に反映 ・退職強要などの労働相談を大きく強化

#### ⑥ 雇用・就労支援

- 日本経済の低迷で仕事に困っている。
- 年齢をとわずの雇用，就労支援
- 市民の雇用や就労機会の確保や健康診断の充実を計ってもらいたい。
- 調布市は職をもっと提供してほしい。
- 障害者の雇用の充実を図っていただきたいです。そして，まだ経済が不安定なので，調布市内の雇用や就労支援にも力を入れていただきたいですね。
- 新たな産業を開発して誰もが仕事につけるようにする。
- 調布市自身事業をおこして，就労率を高めて頂きたい。
- 企業の誘致をもっと積極的に実施し，雇用の推進により，人口を増やすことが大事。住みたいと思わせるまちにしないと
- 雇用を増やす必要がある。地元での勤務者は市内では少ないのでは？
- 指定病になってなくても辛い持病のある人（鬱，パニック症 e t c）でも働ける場を増やしてほしい。高齢者が気軽に相談できる場も増やしてほしい。

#### ⑦ 地域コミュニティの醸成（地域での見守りや助け合い）

- 自治体単位での助け合いが必要
- 独身→既婚→子持ち→老人，この様なサイクルが成り立つ街作りが必要。各サイクルにとって，他サイクルの見守りや助け合いがスムーズにできるコミュニティが必要
- 地域コミュニティの醸成は大切な事だが，高齢化の世帯が多くなり，難しい
- 他の市町に比べ，地域コミュニティの醸成出遅れ顕著 他力本願でなく自助努力への市民教育必要
- セーフティネットは充実した方が良いが，福祉やサービスを拡充しようと力を入れても好転はしない。回帰志向でも保守志向でも無いが，核家族の流れが今日の結果として生じている。
- 地域でのサークル活動や余暇活動などを通して，子供や高齢者が健康に暮らせる取り組みができると良いと思う
- 全部大切な事ではありますが，地域コミュニティの醸成が一番かな！

## 第4章 自由意見

- 少子高齢化対策と、安心して住み続けられる地域ないでのつながりを育むことが必要。
- ⑧ 健康診断など保健サービス
- 予防保全の強化ー誕生日検診もよいが、人間ドックの補助を求む（治療費の削減）
  - 保健サービスはある程度の所で止めるべきではないか？市民の自己責任でカバーできる範囲があると思う。教育の充実は重要、学校については不安な話もきいています
  - 健康診断など保健サービス→診断後メタボの指導の連絡を何度もされた。これは1回だけで良いのではと本人達の声がありました
  - 心の防止対策(孤独死,自殺の対策)
  - 健康診断と保険サービス
  - 調布市は福祉に関しては頑張っていると思うので、これからは調布市民全体が健康で、若年から高齢までの雇用で、人口減しないように努めてほしい
  - 救急医療に充実
  - 予防医療と健康づくりをすすめ、医療費削減を図る。
  - 医療費削減対策として、特定健診の対象外のガン健診を受けた時は補助金を出してくれると、いろいろな検診に取り組み易くなるのでは・・・？
  - 医療、介護はもちろん大切だが、予防（老化、健康）も必要だと思う
  - 医療費の補助設定
  - 内視鏡検査まで無料で検査できるよう【健康診断で胃、腸、前立腺等）
  - 特定健診サービスで夫婦で大変恩恵を受けている。3才未満の幼児は一生の土台になる為、直接親による子育て、教育訓練が必須と思われ、この為の金銭的支援と意義等のサービスが必要と感じる。又、高齢者の心配の一つは葬式費用や墓地問題で、例えば永島平（？）での森林葬サービスも期待したい。
  - 保健サービスに関しても力を入れて欲しい。
  - 人間ドックの助成の取り組みをしてほしい。

## その他

- 街づくりをレベルアップが欲しい。
- 環境対策がほしいです。
- 高層建築の規制
- 現在サービスを受けていると思います（かなり）
- 計画的な政策がされていないと感じる。大切に税金を使ってほしい。
- 「安心して住み続けられる」の中に住宅支援が抜け落ちている
- 地域のミニバスをよく利用しますが、30分に一本しかなく、夕方や雨の日はすごく混むのもっと便数を増やしてほしい。
- 収入に応じてで良いが、助成金など増やしてほしい。
- 憩いの場を増やす。縁を増やす。
- 商店街の入口で客引きをしている方が歩道を占領しているので、いつも困っています。子供への悪影響も心配です

- 若年，高齢，既婚，未婚等，それぞれの立場で望むことは異なるかと。自身，単身者の為，上記になります
- コミュニティバス 1ヶ所 1台で運転されています（回遊式）。もう少し多くなりませんか
  - ・ できるだけ街のバリアフリー化を願いたい。
  - ・ 電柱の地下化を徐々に進めて頂きたい。
- 「富士見橋通り」の歩道・自転車道の整備
- 財政確保が必要
- 調布にパチンコゲンセンの撤退処分あり。
- 本当に弱者になった時，頼れる市政であってほしい。病人，核家族，一人暮らしなど，社会とのつながりが途絶えてしまうことのない様な市政を望む。
- 調布駅近くに大きな駐輪場が欲しい。つつじヶ丘からのバスが少ない。
- つつじヶ丘から野川までは（京王線の）立体もしくは地下計画を早くお願いします
- 誰にとつての安心な社会なのか。対象ごとに細かいプランを立てるべき。特に弱者のニーズを把握すべきだ。
- 細い道でとばす車が多いので，危険を感じる。（特に子供に対して）細い道の交差点にスピードバンプを設置して欲しい。
- 路上喫煙を禁止にすべきではないでしょうか（市内全域）喫煙しながら自転車に乗っている方をよく見かけます。「歩きたばこ禁止」では効果が無いのでは？
- 人口増が必要
- 以前住んでいた世田谷では 5年に1度は少なすぎると思う
- 各施設のバリアフリー化（道路，歩道など） 自転車用の道路
- 暴走や爆音が多い，指導強化をするべき。
- 犯罪を地域で防ぐようにしたい(高齢者の呼びかけ)
- 防犯を強化してもらいたいです
- 「安心して住み続けられるまち」に防犯の観点はないのでしょうか？ 例えば防犯カメラの多数設置等については，市としてはどうなのでしょう？
- 防犯対策
- 犯罪防止への取組強化も重要と考える
- 暗い場所が多い
- 防犯カメラの設置を検討してもらいたい。
- 犯罪者の検挙に役立つ，防災カメラの設置を増強する。
- 夕方・夜間の身の周り

### 3) 「利便性が高く快適で豊かなまち」づくりについての意見・提案

- ① 中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気，にぎわいの創出
  - 駅前ショッピングの充実等
  - 駅ビルを建設して集客による街の活性化
  - 美意識の安全豊かな街にしたい。
  - 中心市街地の街は素敵で良い。
  - 飛田給駅前，何も無さすぎで不便すぎる。ショッピングセンターを作ってほしい。

#### 第4章 自由意見

- 魅力ある観光の振興
- 全く活気ない状態です。
- 活性化を支える社会インフラが重要
- 高齢者や障害者にとっては不便
- 調布駅周辺が仙川駅に負けている。
- 柴崎駅の周囲も開発しろ
- 個人的な意見ですが、柴崎だけがとり残されている様ですが、なにか理由があるのでしょうか
- 中心地ににぎわいや活気を創出することも大切ではあるが、その他の住宅街などで人がよく通るのに暗かったり犯罪が起きやすい所があるので、細かい所の配慮があってほしい
- 調布駅前にはPARCOだけの印象です。天神通りなどもっと活気がほしいです。
- 調布駅以外の振興，出店
- 街のイメージアップをもっと積極的に行うべき
- 中心市街地の活気，賑わいは良いことだと思いますが、どうにも看板，広告の乱立する新宿あたりの景観を想像してしまいます。「古き良き日本」のような美しい景観に期待します。これは観光にはもちろん快適さにも貢献すると感じます。便利での汚い町には住みたくありません。
- どの市にも一押しのレストラン，和食のお店，中華料理屋さん等あるのですが，調布には少ない様な気がします。どうしてなのでしょう？
- 大型店でない商店街の活性化を求めます
- つつじヶ丘駅も分断解消願います。大規模商業施設の誘致など，総合的プロジェクト開発が必要。豊洲や砂町など，若い人が集まる街作りを5年～10年計画で
- つつじヶ丘駅周辺の開発
- 地下化は賛成。町づくりは住民主体で実行すればいい。市としては，特に京王線の快速以上が停まる駅（例えばつつじヶ丘）等の駅前の拡大について力を入れるべき
- 京王線地下化により，線路跡の利用方法。各駅付近にはテナントを，駅～駅には駐輪，駐車場などの設置
- 商店街の活性化
- 駅前にパチンコ店，ゲームセンター，居酒屋が並び，若者がたむろする，これは「活気」「にぎわい」ではありません。質のよい活気を求めます。
- 先10年は，団塊世代が通勤先から地域に関心を向けることとなる。よって，自転車利用による買い物，散策，レクリエーション活動が賑わいづくりの鍵となる。
- 京王線の地下化により，市街地分断が解消されることに加え，来年には終電時刻が遅くなるなど，ますます利便性が向上することから，魅力ある街づくりを期待している。
- 中心市街地があまりにも雰囲気が悪すぎる。
- 今後調布駅跡地がどうなるか知りませんが，有効利用されることを望みます
- 中心市街地3駅が共に活性化するには，どの駅にも，明るくきれいな駐輪場が欲しい。無料であればとても良い。また調布3駅の地下化を機に，車での交通の利用者も植えるような，安全な町作りをしてもらいたい
- 調布駅にはパルコと西友しかないのが残念。美味しいパン屋さんやケーキ屋さん，大きな書店やおしゃれなカフェや雑貨屋さん，安いスーパーがいくつもあったら利用すると思います。吉祥寺，

自由ヶ丘みたいなまちにしてほしいです。

- 地下化による地上部を緑地化遊歩道とし、地場商業（大手チェーン店を除く）空間として沿道に配置。コミュニティーの発生と活気を促す。緑地遊歩道での様々な、文化および商活動を可能とする。
- 大きなショッピングモール（イトーヨーカドーなど）があるのはいいことだと思うけど、その周りにある商店街をもっと支援してほしい。調布のいいところは活気があって便利だけど、ちょっと田舎でおちつける所だと思う。
- 調布のブランドを高めるためにも、調布駅周辺の商業施設の集約化、多様化を図り、集客力を高めていくべき。
- 南口周辺はパチンコや、居酒屋等のお店が多い。もっと駅前にスーパー等があったらいいなと思う。駅ビル等ができれば、にぎわいも出るのではないかな。
- 現状、調布駅ホームの明かりが地上にはなくなり、夜になると外灯が少なく暗い。桜並木などいらないので、明るく、治安の良い状態にして欲しい。裕福な層の人達は新宿や銀座など都心に買い物に行き、調布ではお金を使っていないようである。パルコより1ランク上の商品を調布で扱うように商業施設を誘致して欲しい
- 20 数年、世田谷に住んで、高くて家が買えず調布に住んだが、おどろいた。歩道がせまく、又、まちに活気がない。府中の方がよほど活気がある。やはり一番は、まちが元気で活気がないと。中心市街地を若者が集まるまちにしてほしい
- 地方都市の個人店が、10 年前に比べると衰え、個人商店は廃業したりして、活気がなく、ゴーストタウンになっているので、もっと活気をとりもどして頂きたい。駅前のゲームセンターばかりで淋しい。
- 地下化による南北市街地の一体化を早期に実施して戴きたい。京王線調布駅の地上と駅に降りるところのエスカレーターの設置を早急に願いたい。
- 吉祥寺アトレのような素敵なお店ビルが欲しい。
- 駅ビルを作ってそこに商業施設を入れると良いと思う。
- 駅ビル、デパートを設置してほしい。大型ショッピングモールがあるといい
- 商業施設が少ないと思う
- 今のみ充分満足しています（国領在住）
- 京王線地下で「エキナカ」が無かったのでがっかり…賑わい、活気を作る気あるの？駐輪場が少なく、自転車ジャマ！誰もが安心して歩けるように考えて…
- 駅周辺などは魅力的な商業地区、住宅地には静かな、自然が残る。二者を結ぶ便利な公共交通。望みます。
- 調布駅が地下化になり、にぎわいが目立たなくなっております。京王電鉄にも働きかけ、調布駅ビルの建設と、テナントや企業の誘致をお願いしたい。それに伴い、町の活気、にぎわいにつながると考えます。
- イオンモールなどの大きなショッピングモールが近くにあると便利
- 調布駅への人の集まり、にぎわいが欲しい。
- 活性化は成功、大型商業施設は不要。
- 街の意見を安定化の計画

#### 第4章 自由意見

- 東南海地震は予測されている中で高層建築は倒壊等で多くの投資が無駄になる危険性があります。高齢化で家財は充足され、低成長社会では重厚長大な店舗より小まわりのきく、例えば、製品・商品の再利用促進等の店舗、市役所による寄付やバーゲンの催し等望まれる。自転車道化も。
- 駅自体が便利で使いやすい。
- 高齢化により良い快適な街を
- 豊かな街＝緑（樹木）が充実しているイメージが強いので、中心部や広い道路、駅周辺には、緑が欲しいです。
- 1を達成する為に3，6の活力が大事。底力はやはり3，6の立ち上りが必須。
- 電柱の地下化 商店荷物駐車化（危険多いため）

#### ② 回遊性を高める安全で快適な道路整備

- 回遊性を高める安全で快適な道路整備
- 中心市街地や自転車駐車場の整備
- 市内の駅周辺が利用しにくい。
- ロータリーをしっかりと整理し、一般車の駅前への進入をやすくしてほしい。市の中心ということで、もっと調布駅に活気とまわりに使いやすさがほしい。
- 柴崎は踏切があかなくて困ります。
- 歩行者優先のまちづくり
- 三鷹市や調布などよく利用しないのでわかりません
- 歩道を広く(自転車道も作る)
- 調布駅北口の再生(道路,歩道拡幅,)
- 自転車の危険運転が目立つので、歩行者専用道などを整備してほしい
- 歩道を広く、安全に
- 調布市は概ね平坦な、坂の少ない道路が多いので、自動車より自転車中心の道路を配備されたら如何でしょうか？
- 歩道を広くしてほしい
- 調布は古い街なので、以前住んでいた日野市のはずれより、魅力的な個人店舗（＝専門店）が多いと感じる。情報提供（ex「182」）で回遊性アップして欲しい
- 幹線道路の坂道の自転車通路の確保及び拡幅、特に三鷹通り航空研付近
- 車道と歩道の区別。できれば歩道をゆったりと広く。
- 自転車用道路を作りたいと思います（無理でしょうが）通常の駐車場が、調布駅北口には少ないと思います
- 調布駅の北口、南口ともロータリーが混み合っており、歩きづらい事などが多い。地下化と同時にロータリーを作り直し、雨天でも濡れず、歩道もゆとりある構造にして欲しい
- ベンチ等座って休める場所を増やし、車と人を隔離した、人が安心・安全に買い物ができると思います。車の駐車も、もっと安くとめられれば、便利で人も増えるし、違法駐車もなくなるのでは？ 駐輪も同様です。広い歩道も自転車の駐輪でせまくなり、いつも腹立たしく思います。モラルの問題もありますが…
- 高齢者や障害者が広がりでも外出して安全な道路や横断歩道の整備をしてほしい。横断歩道と道路



の段差の解消にとどまらずよりきめ細かい対応を考えるべき。利用者への調査を、このようなアンケート用紙だけでなく、インタビュー方式でも聞き取るべきでしょう。

- 市内には、ベビーカー、車いす等も通れない歩道が数多くあると思います。道路整備の必要性が重要です。
- 三鷹市のような水のはねないアスファルトにしてほしい。
- 車中心ではなく、人や自転車に便利なエコな街にして欲しい。
- 道路を整備し尽くしても回遊性は生まれにくい。(回遊性に着眼したのは良いが)京王電鉄各駅に、市の公共施設の一部を設け、サービスに努めたり、保育室、被介護利用を考えられる場を設けたら良い。
- ベビーカーが通りやすく、広い歩道を作ってほしい。
- 道路整備においては、車道を広くするよりもむしろ歩道や自転車道を整備し、歩行者が安全に散策できる環境を作ったほうがよい。そのほうが商店に立ち寄りやすくなり、商店街も活性化する。大きな道路が増えると、車で通行するだけの街となり、街の発展につながらない。実際、海外ではあえて車道をせまくし、歩道を広くとって、人々の回遊を進めている所が多くある。車道のみが広いと、車のスピードも上がり、危険
- 歩行者専用、自転車専用、それぞれ分けて、歩行者を守ることになる。自転車専用道路があれば、尚いい。
- 調布駅北口のマルエツ前から駅方向へ抜ける細い道ですが、人と自転車がが多く、ほとんど車が通りませんが、駅が地下化してからとても交通量が(車の)増えました。近くに保育園もあるので、早く整備して欲しい。又布田1丁目の駐輪場がなくなるのは困ります。早く再開して下さい。
- 市役所と調布駅との導線間が上手くいかされていない感あり。
- 無料駐車場をもっと増やして欲しい
- 地下化以外の道路の渋滞解消促進
- 調布駅北口のバスターミナルの整備、特に北口パルコ周辺の混雑の解消をお願いします。
- 駐輪場(屋根付)が少ない。歩道がとても狭いところを抜げる。暗くてこわいところの照明
- 旧甲州街道の渋滞を減らして欲しい
- 道路が非常にせまく危ない(三鷹通り等)
- いまだ工事中の調布駅周辺がどのようになるか(時期や予想図)の周知が少ない
- 調布駅に安全で乗降しやすい、タクシーなどに邪魔されないロータリーが必須!
- つつじヶ丘～深大寺植物公園のバス通り、交通量に対して、非常に危険な道中。拡張を望む。
- 調布駅が地下駅になったら、かえって不便になりました。地上に出るまで時間がかかる
- 法定速度 20km/hなのに守っているドライバーは皆無。守れないなら一通にしてほしい。信号(柴崎2)～甲州街道に抜ける道
- 不安な道路整備による雑木林など自然環境を除去することは避けていただきたい。
- 歩道を自転車が走行しているという状況を早く改善すべき。メインの道路から一本入った道が暗すぎて、非常に治安がよくないように思う。
- 車の多い道は歩道を安全に作ってほしい。
- 調布駅北口の道路が狭くてバスも危険

## 第4章 自由意見

- 自転車用道路の整備をしてほしい
- 歩いたり，自転車，それぞれにとって快適で安全な道を望む。又，歩きやすい道から，商店街の活性化を望む。
- みんなが利用するであろう駅周辺の整備に力を入れてほしい。自転車置場や車で駅に送迎する場合の車の進入経路など。

### ③ 市内工業・商業などの活力向上

- ターミナル都市としての総合的活力拡大の施策推進 ①インフラ整備 ②町作りビジョンのレベルアップ，他市に比し，パチンコ等の遊戯店が多すぎる。 ③都市としての品格を高めて，商・工・芸・教のぶんやで誘致能力をアップする。
- 横浜元町商店街のように，創作意欲のある若者を呼び入れる商店街づくり。モノづくり学校など創造性のある（クリエイティブ）個人企業の拠点づくり。
- 大型店のみの街（再開発によって，国領のようにマルエツ，西友しかなくなった）ではなく，個人が個性を出して経営する店がある街づくりを意識してほしい
- この10年でジューキ，和光堂，キューピーが移転し，さらに栄太楼もとか。調布の体力がどんどん弱くなっている現実をどう見るかの視点で考えると，②③⑥が優先されるべきだろう
- 今，調布駅前へ買い物へ行きたくても，駐車，駐輪，スペースが無く，市外へ行くしかない。早く整備してほしい。
- 市内中心企業に対する支援
- 個人商店は営業を続けられるように，支援の形を考えてほしい。個人商店は町の便利・安心・快適さの核だと思います。
- 「天神通り」や「調布銀座」を老若男女に魅力のある通りにしてほしい。（地域のお店を大事にしてほしい）
- 働く人々で活気づく事が出来れば
- 地域の事業主を大切にしてもらいたい。大きな企業を優先している
- 市内工業・商業などの活力向上

### ④ 魅力ある観光の振興

- 駅前ロータリーにもっと緑を
- 映画，小田急線と接続する南北公共交通を充実させる（コミュニティサイクル等自転車も含む）
- 調布駅から深大寺に至る都市計画道路を早期に整備すること（沿道にレストランやカフェ等，魅力のある商業立地が望める）
- 自転車専用道路などを整備して，深大寺観光の利便性を向上させる
- 観光の振興には，考える余地大いに有り，経済につながる。
- せっかく映画の町，調布です。生かすプロジェクトをもっと考えれば魅力ある調布になると日頃思っていました。
- 植物公園に遊びにいらした人が，バス停を降りて，草の匂い，土の匂いがすると喜んでいました。魅力ある植物園（幸せの泉）公園にして下さい。
- 毎日歩きたくなるような遊歩道。道路に街路樹，日陰を作る。

- 景観や街並みなど広めて欲しい。
- 商業や観光のまちづくりプロジェクトを建てたい。
- 観光の振興は計画性などがあまりにも幼稚，調布の良さのアピールを！！
- 魅力ある観光の振興
- メディアへの露出を増やしてアピールする
- 多摩川河川敷の有効利用。川遊びができる街にする。第3セクター的な機関をつくり，管理をする。有料にしてトイレ，水場，駐車場，バーベキュー場等の設備をする。
- 観光よりも市民が住みやすいまちづくりが先だと思う。
- 今後の調布の発展において特に重要と考えるので，「わざわざ駅に降りて，歩きたいまち」とするための広報活動も重要

#### ⑤ 日常の買い物の便利さ

- 駅直結の商業施設があると便利
- 年代を超えた利便性を特長としたまち
- 地元での買い物をしやすくするため，自転車駐輪場は多く必要。地元での過ごす時間が多くとれるようにしたい。緑化も同じ。
- 調布駅にはありますが，他の駅で衣類を買えるところがなく，高齢者が肌着くらい歩いて買えるところがあればいいのにとの事です。
- 特急停車駅である調布駅前をもっと商業施設が欲しい。駅から外へ出なくても買い物できる店（本や，パン屋等）が欲しい。
- 駅から離れても買い物しやすくしてほしい。高齢者や車通勤の人も考慮して
- 京王多摩川駅前，駐車場や競輪もいいですが，何か商業施設が欲しいです。買い物できるところが少ない。
- 調布駅周辺に何でもそろそろ町にして欲しい
- 銀行，コンビニ，飲食店が多数並ぶような街並にはしないで下さい
- 駅周辺の巨大デパートだけでなく，高齢者の人々なども近場で買い物できるように，昔からある商店や商店街を元気あるものにするとうまい
- 商店街を増やして欲しい
- 調布駅がどのように完成するかわかりませんが，長い通路，何かテナントが入るのでしょうか。だらだらと長いだけで，京王の売店があるだけではあまりに味気なく，つつじヶ丘のように賑やかな駅になってほしいです。駅近辺にはコンビニ等もなく，朝何か買いたくても，結局勤務先の他市で買い物し，調布市にお金を落とせません
- フロなしアパートに住んでいます。銭湯の廃業があり，現在西調布の銭湯を利用中。一時廃業のうわさあり。これ以上廃業させないで。

#### ⑦ 公共交通環境の整備

- 京王線のラッシュ解消が何より
- 私は80才に近い老人ですが，毎日の買物に自転車を使います。雨の時はバスです。そこで選んだのが日常の買い物の便利さ，公共交通環境の整備，自転車駐車場の整備です

#### 第4章 自由意見

- 道路を拡張して、コミュニティバスを近くまで
- ミニバス網の整備を考えて欲しい。
- 最近自転車の事故が多い。
- 更なる駅前駐車場の確保や駅前スペースの充実、京王線仙川駅（急行停車を望む）の地位向上
- 自転車が走る道を作って欲しい。歩いていると邪魔、自転車は軽車両だから。
- 国領駅が快速・急行電車がとまるようになってほしい。
- 仙川駅へのバスの乗り入れ。成城からのバスルートが不便
- 中央線（吉祥寺）と小田急線（狛江駅）を結ぶ都市計画道路を整備し街を活性化すること
- 自転車 vs 人の問題は深刻化しつつあります。歩行者として危険を感じますので、抜本的対策を望む
- 自転車の調布市の条例を作っていただきたいです。
- ヨーロッパの様に自転車専用の道があると良いなと思っていました。
- 駅の周りで駐停車している車が多く、渋滞の原因になっているので、放置自転車とともにきちんととりしまってほしい。
- 調布駅・仙川駅～三鷹・吉祥寺行の南北のバス路線は充実していますが、深大寺方面～緑ヶ丘方面等の東西を走るバス路線を拡充して頂きたいです。
- 市内に乘る 100 円のバスが必要。
- つつじヶ丘に住んでいます。この地域は急行が止まり、人口も増えていると思われませんが、バスの便が非常に悪い。JR につながる路線が無く、不便です。三鷹、吉祥寺へ行くバスがほしいです
- 問 1 で記したが、つつじヶ丘、柴崎の交通環境整備
- 吉 1 4 のバスをいつも利用していますが、本数をもう少し増やしてほしい。それと、土曜日と日曜日の最終バスが 9 時 40 分というのは早すぎ。もう少し、遅くまで運行していただけないでしょうか。
- 自転車専用レーンの整備
- 調布から府中や中央線沿線により行き来しやすい交通を希望します。
- 調布市は自転車利用が多い。自転車に乗っていると細い道など歩道の段差が不快に感じることもある。
- 調布⇄狛江間の多摩川沿いを走るバスがあれば良い。
- 自転車の危険運転，違法駐輪への取り締まりを強化してほしい。
- 京王線の地震災害対策
- 多摩川住宅から国領駅までのバスが欲しい
- 調布駅から「多摩川住宅西」のバスが発着しておりますが、是非狛江駅を回れる路線にしてほしい。
- 市街地にアクセスするコミュニティバス等の交通導線の整備（買物難民をなくすため）（病院もコースに含める）
- 柴崎駅をどうにかしてほしい

## ⑧ 自転車駐車場の整備

- 自転車駐車場の整備が問題。
- 駐車場でのクレーム
- 放置自転車の撤去の徹底。
- 自転車の整備がなっていない。
- 自転車は「エコ」「健康」「手軽」「便利」、利点が多い生活ツール。駐輪場や走行路整備，交通ルールの徹底など，お願いします
- 土日の駅近くは自転車であらゆる，大いに”迷惑”自転車の所有者が判るように，登録システムを実施，駅などの放置自転車にはペナルティを科す。
- 自転車が歩行者の安全を脅かしています。自転車と歩行者の共存の仕方を考える必要があります
- 歩いていると，自転車が怖いし，自転車に乗っていると車が怖い。車に乗っていると自転車が危ない。駐停車があると，車も自転車も危ない運転が多くなる
- 駐輪場の数をもっと増やしてほしいです。
- 自転車の整備がなっていない。
- 調布近辺の駐車場は（市役所も含め）常に満車で，子乗せ自転車を利用する身としてはつらいものがあります。左右にゆとりのある駐車場を強く希望します。パルコ前も厳しく取り締まっているようなので，せめてスペースの確保はして頂きたいです。
- 自転車はとてもエコと思っています。体力づくりにも良いと思うので，是非自転車置場の確保は必要と思っています。
- 柴崎駅にも無料駐輪場がほしいです
- 調布の中心に自転車で出かけた場合，自転車のおくスペースが無い。道路や歩道におかざるをえない。（おきにくいところに自転車スペースを置いても意味が無いと思う（パルコのように・・・）使いやすい街づくりをお願いします。
- 買い物に出かけても駅（調布）周辺に駐輪場が少なすぎてゆっくり買い物に行けない。
- 自転車駐車場の整備
- 生活圏内で日常の買い物をするようになれば，地元の活性化につながるから。つつじヶ丘の駅前北口に駐輪場をつくって！
- 駅前近くのマンションの駐車場に，通勤，通学の方の自転車を止める方が多すぎ，放置自転車を扱う課の職員 TEL 対応も悪い。結局駐輪場を駅の近くにしないでダメ，遠い駐輪場は駅まで歩く時間をもったいないので，駅近くのマンション内駐輪場へ置いてしまう。
- 無料の自転車場を増やしてほしい
- 歩道に駐輪している自転車であふれています。歩行者の安全のためにも，駐輪場を増やしてください。少なすぎます！
- 買い物は自転車で行く主婦がほとんど。安心して駐輪出来る場所があれば，ランチしたりふと立ち寄りたりと，経済の活性化につながる
- 外出時，つつじヶ丘駅の有料駐輪場を一時利用していますが，満車の場合が多く，無料駐輪場が駅から離れていて，ほんとうに困ります
- とにかく駐輪場が少ないと思います。東口が閉鎖になると，どこまで置きに行けばいいのでしょうか。通学で使う子供達にとって大変なストレスです。東口付近に仮設駐輪場を作って下さい。

## 第4章 自由意見

東口再開時には、それを使用してきた人に優先に案内してほしいです。

- 無料駐輪場は有料化せず、無料のまま維持して頂きたいです。
- 路上駐輪の撤去を土日もやった方が良くと思う。
- 快適な環境を著しく阻害しているのが、自転車の無法駐車です。にぎわいのある街に危険走行と無法駐車をどうするのか！！だいじ！！
- 中野坂上などは地下に駐輪場があり改札に直接通じていたりします。買い物する場合は、お店の近くに止めたくなくなります。(荷が重いので) どうぞ使いやすく止めやすい駐輪場を考えてもらいたいです。
- 駅前駐輪場は増設すべきだと思う
- 駅前の駐輪が心配です。
- 自転車置場がなくて大変困っています。
- 駅前自転車止められない
- 自転車置場がないため買物が大変である。
- 高齢者にも利用できる自転車置場を
- 自転車駐車が圧倒的に不足していると思う。安心して自転車で出かけられるように、調布駅近くに整備してほしい。

### その他

- 「強いまち」と言うのであれば、地震などの災害対策、火災などへの消防対策、災害時に機能を果たす道路整備が市として取り組むなら一番だいじと思うが、自助・共助による防災への取組の促進、地域コミュニティの醸成は、市民としてとてもだいじな事だと思う。
- 国土の大きさもありますが、広場がほしいですね
- バイク置場を作ってほしい。
- 公衆便所の増設
- 高齢者の外出機会を増やすよう、バス、電車あるいはタクシー利用での無料化又は優遇
- 利便性の街を障害者達にも使えるように
- 南口のパチンコ屋、ゲームセンター、北口の飲み屋など子育て環境に相応しくない。
- 駅周辺にゲームセンター等が新たに建設できないような規制や居酒屋などの呼び込みを禁止する条例制定。
- 駅前にパチンコや居酒屋が多すぎる
- 駅前付近は、指定場所以外で喫煙した場合、罰則のとれる条例を制定してほしい。
- 道路上の「くわえ煙草」禁止条例の施行
- 歩行喫煙の廃止、自転車の左側通行の徹底化（自転車のマナーが悪い！）
- 地下化になって、今まで以上に住みやすいのですが、駅が地上にない分、暗いので夜がこわい感じがしている。明るくしてほしいと思う。
- 緑地化も含めて緑の多い豊かなまちづくりを願っています
- 早急な対策
- 終電後、駅が閉まるといわゆるヤンキーがうろついていてうるさい上に怖いので、その辺の取締りも強化してほしい。快適な眠りが欲しい。

- 税金が高すぎる
- 国領の人口が多いのに（どんどん人が増え続けている）設備、道路整備、保育園、学校、駅（入口1か所やエレベーター一基などはおかしい）が追いついていない。急行、快速、特急などをとめてもいい駅になったと思うので止めてほしい。
- 布田駅前通りはさびしい（花火の時のように）人が集まる街に。自動車より市内経済が良くなる、自然にやさしい自転車置き場沢山作って、安心して買い物が沢山できるようすぐ処分して2000円とるとか市民はみな怒っている。重大すぐやる問題。

#### 4) 「うるおいのあるまち」づくりについての意見・提案

##### ① 水や水辺などの自然環境の保全

- 野川の整備が進んでおります。大歓迎ですが反面野鳥等への人、犬の圧力（至近距離となった）考慮の要あり。利用側の配慮要。存在感が持てる措置強化 看板の整備強化（数、内容等）
- 生産緑地の活用，一般市民への開放できる制度
- 今でも多摩川，野川を散策し，心身をリフレッシュし，快適で豊かな環境を享受する人は多い。市はこのことを強く受け止めてほしい。今後10年生産緑地が維持される場所であるが，平成34年以後も市内農地が保全できるよう，施策を練っていただきたい。現状の市民農園法では限界があるが，新しい市民農園を構想すべきである。
- 自然環境保全は当然である。加えて街並・景観の見た目をきれいに統一する。河川の遊歩道（散歩路）をもっと充実して欲しい。
- 自然で安心できる街でありがたいです。
- 生産緑地が2,3年の内にずいぶん減少しました。緑を感じられる風景は絶対に保護すべき
- 多摩川をより良い環境にしてほしい。
- 自然や，古い物は，失うと二度と取り戻せません。そういったものは大切にしつつも，商業地域等は近代的に開発してもよいのではないかと思います
- 調布に住んで50年になりますが，他へ移転など考えた事がなく，緑や水辺を大切に守っていきたくて願います
- 野川，仙川の環境保全 特に野川の定期的ゴミ除去への取組
- 野川整備(せつかくなのでキレイにしたい)
- 野川の川辺に降りられる階段を増やしてほしい
- 野川の十分な環境維持を願いたい。
- 野川附近の緑や近辺の更なる推進（外環道地下が予定されてる），若葉町や入間町の森の保全を望む。
- 残っている自然をそのまま保全，人工的につくり変えない方がよい。
- みどり，花は健康によく精神的にも安心です。
- 緑が少ないと思います。
- 緑は必要だが，手入れも十分にしてほしい。死角等が増えるようでは困るので
- 緑化は造園業者ではなく，植物の知識がある人が管理するべきだと思います。
- 調布市は緑が多くて暮らし易い。図書館も大変充実していて，生活しやすい

② 公園や遊び場の整備

- (公園の名にふさわしくない管理が行われているのではないかと思います) ①1.清掃業者の委託 (1)公園樹木 (雑木林) の枝おろしを毎年行われていることにより、樹木の特性 (くぬぎは2年ごとに実をつける) が失われている (2)子供のどんぐり拾い, 落葉遊びは, 自然環境に親しむ最大の楽しみであるのに, 早期に落葉を掃き集め, 排除している (3)業者の公園清掃時の写真撮影について, 目に余る状況が見られる ②経費の節減対策としての意見。雑草の刈込, ゴミの收拾等, ボランティア対策が望まれます
- 老若男女が集え, 食事, 文化活動, 芸術活動, 芸術鑑賞のできる大規模公園の整備
- 木を切りたおして“公園”を作るのはやめて! 今東京で子育てをするのに, “かに山”のように自然に近い状態の中で遊ばせてあげられる場所は本当に貴重です。森の中を心から楽しそうに“冒険”する子どもたちの笑顔をうばわないで。せっかく調布にある緑を, どうか大切に残して下さい。きれいに整備された公園, 広い芝生だけが遊び場ではありません
- 公園, 仲良し広場等の砂場や棚を設けてほしい。
- 公園が少ない, 小さい。芝生の公園 (樹木が少ない) が欲しい。
- 公園の砂場を犬ねこのふん尿から守る。くわの木がどんどん切られて残念。切らないで!!
- 公園は既にキレイに整備されている。今後, 児童学童が親と一緒に学べる, 自然観察ができる野生公園が必要ではないか? (魚, 昆虫, 小動物など。植物は神代がある。) また結婚や高齢者就労の為の資格・趣味の無料塾等, 双方向の文化交流の場も欲しい。ヒマ潰し, 高額な場は不要。
- 子育てを通し, 調布は子育てはしやすいですが, 公園に木々が少なく, 夏場は日かげが少なく, 子供と外で遊びたくても, いいところがありませんでした。遊具もプラスチックや鉄製なので, 熱くなりすぎて遊べません。以前住んでいた杉並区は木々が多く, 鉄製のもの木かげにあり, 遊具も木製のものが大事に使われていました。府中の郷土の森や, 川崎の「西町公園?」を参考にしたいです。
- ごちゃごちゃした駅前が街としての評価を落としています。大きな公園も少ないので, 子どもが遊べる場所がありません。(マンション掲示板などで語られているので, ごらんいただきたい。)
- 子供が楽しくいられる遊具がある, 明るい公園を作って欲しい。
- 子供達が安心して遊べるスペース, キャッチボール等ができる場所が少ない。老人会等でグラウンドゴルフとか可能になれば, 問2にもつながるのではないのでしょうか?
- 子ども達が楽しく遊べる公園や遊具が少ない。
- 子供の遊び場
- 施設 (公園や植栽) を作るだけではダメ。問題は良好なメンテナンスが必要です
- 自然公園や児童公園が多くて良い
- 小学校高学年等が遊べる (サッカー, 野球等) 場所を確保してほしい
- 小学校が遊べる広場 (グラウンド) 小さい公園で野球をしていてキケン。小学校, 校庭の開放はできないのか?
- 職業柄公園に行く事が多いのですが, (調布市内) 劣化した遊具が多く, 木製のものはとげがささることもある。又ボール使用禁止の所が多く, ボールあそびが全くできない。ボールを使用できる所があっても良いのでは? 又砂場の衛生管理もきちんとしているのか疑問。
- 市内の農家のファーマーズマーケット, W I F Iフリーの公園 (テーブルとイスが自由に使える),



イベントができる広場、道路跡地に街路樹とベンチ

- 広い公園を作って欲しい
- 野球やサッカーのできる遊び場公園がほしい
- プレイパーク（自然に近い環境で子供が自由に遊べる）の設置など、緑、水辺、公園の活用、多角的利用を工夫する
- 調布、多摩川、野川、自然が多く、水、川で水遊び、乳幼児2才～6才まで水遊びが出来る公園を作ってほしい。狛江のせせらぎ参考にしてほしい。
- トイレがない公園が多すぎます。安心してゆっくりと公園で過ごせません。世田谷区ほどの公園にもトイレがあると聞いていますし、実際、利用した公園にはどこにもトイレがありました
- 調布は子育て世帯に厳しい。公園が少なく、狭く、汚い。
- ドッグランの整備（照明）
- とにかく調布市は公園が無い。公園といっても空き地に申し訳程度の遊具しか無く、雑草もボーボー。子供が出来た、調布市でいた頂いた公園MAPのすべてを回りましたが、2か所しか日中から子供たちがたくさん集まり遊べる公園はなく、あとはすべて閑散としています。遊具も取り払われて、身近に子供たちがあそべる所がありません。何しろ、現状ですら整備がされなさすぎていることに悲しくなり、狛江市か世田谷区に遊びに行っています。
- 布田小近辺は公園があまりなく、子供達が遊ぶ場所がなく、困っています
- ベンチが少し汚らしい。
- 野外でイベントが行えるような広場があるとよい。一般に貸し出ししてもらえるとよい。
- 遊休土地の借り上げなどで、緑化公園等（防災避難場所にもなる）環境の充実を計ってほしい。
- 有料でも良いのでドッグランを何ヶ所作ってほしいです。
- 公共トイレが少なすぎる。フラットな公園が多い感じで規格化された公園、個性的な公園がもっとあれば

### ③ 地球温暖化対策

- 太陽光発電に対する補助金増
- 再生可能エネルギーへの取り組み
- 全市民にわかりやすくする事ができたらと思います（ごみ減量運動のように）
- 調布市から発信するプロジェクト化したらと提案します。
- 地球温暖化対策？ここで聞くことか？
- 今の調布市に上記のような事業を推進する力はないと思われるので、必要最低限のこととして地球温暖化対策を挙げた。これだけはぜひ実現してほしい
- 地球温暖化対策については、市内活力の向上と共にぜひ検討していただきたい
- 地球環境をテーマにした事業や会社や学校や店が今後増えることを期待します。
- 震災時の停電などあるまちでは、うるおいなどほど遠い。電源の確保、例えば木質バイオマス、市営住宅など公共建築物へのソーラーパネル設置
- 生ゴミ発酵プラントの導入

④ 良好な街並み・景観の形成

- もっとも自然でうるおいのある街が必要
- 良好な街並み・景観の形成については強い＝災害時などに機能を果たす道路整備に 芸術・文化活動の促進については、安心して＝教育にもつながるのかなと考えます。
- 駅周辺に緑と花を
- 良好な街並み・景観の形成は最重要課題。景観をもっと良くしたい。特に駅付近
- 駅などの周りは植木のまわりにベンチが1周していたりちょっと一休みできるおしゃれな空間たとえば、東京駅のビルの間には花壇の周りにベンチがあり、憩いの場になっていたりします。
- 喫煙所を増やしポイ捨てを防ぐ
- 京王線跡地を緑の多い、素晴らしい遊歩道にしてください。
- 京王線地下化に伴う有効スペース拡大を官民でゆういぎに活用期待する。
- 高層建築の高さを規制に強化。
- 高層ビルの建築が年々増え景観が悪くなってる
- この所、市長がことあるごとに緑化、環境を口にするが、そのため駐輪場の場所についても問題が生じている
- 桜堤通りの傍に住んでいる。バブル期に造られたのか、彫刻等特徴ある街並になっている。今後こうしたものは要らないが、景観形成の視点は取り入れて欲しい。住み心地がよい
- 散歩しながら買い物ができるように、緑豊かな道路にしてほしい。
- 質問の設定には形容詞は使わない方が答えやすい。良好な街並み・景観の形成の質問、抽象的すぎる。何を基準に良好と聞いているのか。
- 自分のまちを良くしようとする気持、意識を高める事。家の周りのゴミ拾い等、心がけたいと思っています
- 樹木植木のカット
- 仙川のような街並みを調布駅周辺にも応用してほしい。
- 全国的に PR し活力ある街になることを期待しています。
- 創造性の共有こそ共有すべし。高齢者の文化保護ではなく、活力ある人たちに、積極的に文化推進に加わってもらおう。
- 高いマンション等の建物を作らない。
- 多摩川河川敷の環境整備。特に街路灯の増設
- 優しさあるコミュニティの街を望む。
- 道路の拡充、並木の整備。ケヤキ並木の抜枝は止めて下さい。みにくいです
- 特に駅前には街の顔にもなるので建物の色を揃えてほしい。前からあるものも色の変更を促してほしい。青いタイルはトイレっぽくて残念な気分になる。
- 調布に木造家屋を増やして欲しい。
- 街が明るく過ぎるも問題あり節電すべき
- 町中の緑化を進めると良い。美しい街であれば、人は集まってくる。
- 緑や水の多い市の特徴を活かした街づくりを希望する。他にはない良好な街並と景観は、観光はもちろん、住みたい街として、街の活性化につながると思う。駅前に緑、駅周辺の道に街路樹、植栽が少ないと思う。たづくり前の道路のように電線を地下に埋め、街路樹を充実させた方が、

イメージが良くなる

- 緑の多さ、野川など良いものを持っている街なのでそれらを大切にしていけば景観も良くなり、心地よい場所になるのではと思います。映画の町、もっと広報に力を入れても良いくらい素敵だと思います。「素敵なものがあるのだ」と地域を誇らしく思う市民が暮らしている街こそ、うらおいのある町と呼べるのかと思います。

#### ⑤ 魅力ある観光の振興

- 調布市の歴史や文化を活かした街並や駅前・公共施設の景観を望みます。それは魅力ある観光に自然と結び付くと思います。
- 「映画の街」といっているのに、映画館が無い。ぜひ、映画館を調布へお願いしたいです
- 映画の都をめざすなら、良好な街並と、芸術・文化で人が集まるまちに。電線の地下化。撮影所の設立（太秦撮影所）。テーマパークの設立を是非早く
- 木々のあるまちづくり、人が生きるための自然環境。映画の街・・・もっと観光振興に生かせると思います。
- 深大寺以外の観光スポットを探す（新名所）
- 深大寺はソバだけでなく、歴史的な価値も注目されるべきだと思います。
- 深大寺や花火大会など、調布の良いところは今後も続けていけるよう、市で支えてほしい。また日常でも、公園の清掃などの強化で、美しい町作りに努めてもらいたい
- 調布が映画のまちであることは広くは知られていないと思うので、もっと積極的にPRしてもよいのでは？
- 調布は映画の街なので、又緑が多く、自然が多い街と思いますので。
- 調布市は近隣の市の中でも比較的緑が多い。又水辺(湧水もある)も有る。又歴史、文化の素材も有る。映画関係の資源も有る。観光というより面的な資源(自然、歴史等)は整備し、点的な利用資源(映画、音楽等)をイベント化したら
- 便利さが快適である
- 道路に緑を。調布の文化、観光をアピールした街づくりを。
- ゲゲゲの鬼太郎で、随分活気づきましたがもっともっと宣伝してもいいと思います。12月でも15°C・・・地球温暖化心配です。

#### ⑥ 芸術・文化活動の促進

- 市民のおこなう芸術活動支援のため、集会室、ホールなど利用料金の引下げ
- 芸術・文化をもう少し広めてもらいたい。
- 芸術面での調布市の特徴がよく分からないので、芸術面をもっと押し出して欲しい
- 小さくてもいいので美術館を作ってほしい。

#### ⑦ 歴史・文化の保存や継承

- (現存する)歴史的な町並みや文化財を大切に、景観を壊さないようにするべきだと思う
- 「調布市史」以後の研究により明らかになった事実などのまとまった公表
- 2,3年前、甲州街道を歩きましたが、歴史・文化の保存や継承について、よく行われていると

## 第4章 自由意見

感じました

- きっちりとした歴史，文化の保存は魅力ある観光に通じると思います。

### その他

- 一人暮らしへの支援
- 稲城市の温泉施設のように安価で広い温泉施設を作り，市内の人が楽しめるようにして欲しい。体育館は老人は使わないので，その代わりとして楽しめると思う。「ゆかり」は高すぎる
- うるおいのあるまちをもっと豊かな街に
- お寺でもペットが入れられるような場所を作ってほしい。
- 環境がきれいになると心もきれいになります。すべてにつながります。
- 近所の小学校の校舎を増築すると聞きました。
- グリーンホールを災害から防ぐ場所に。
- 車の通らない，通勤者・歩行者だけの道を造る。
- 駐輪場の工夫・改善
- 自分の年代から考えると，のんびり，他世代との交流ができ，向上心を高める題材があると，人生を楽しめそう
- 調布市全体にいえる事ですが，歩道が狭く，歩きにくい！歩道のど真ん中に電信柱が有ったりして，車いすやベビーカーなどが通れないところが多いです。（主旨とずれていてすみません）
- 調布パルコ前の駐輪は点字ブロックの邪魔で危険
- 点の開発でなく面の開発をすべき
- 図書館やあくろすや憩いの場をもっと便利に，広く，充実させてほしい，皆が集まるような。
- 図書館を駅徒歩内に設置してほしい。他市から転入して遠い為，一度利用しただけです。
- 猫の放し飼い等の問題を解決してほしい。
- パチンコ店が多いのが良くない(ゲームセンター等)
- 花の街が欲しいけど，贅沢言うときりがありません。今で十分です。
- 魅力ある商店街の復活 デパートとスーパーの差別化
- 路線の整備をもう少し組み上げて欲しい。
- 街づくりの再建築について
- ゴミが不法投棄されない環境づくり
- ゴミ処理（分別しなくてよいゴミ処理）
- 街で道路自体が美しく保たれることが，犯罪抑止へつながると思うので，ゴミ（ポイ捨てなど）をなくす，見通しの良い道を目指してほしい。
- 街並みは電柱や歩道のせまさなどはヒドスギル。
- 街を送る際には水の青さが大切です。
- もう少し具体的に出して頂いた方が良かったのでは？（例えば多摩川のサイクリングロード，品川通り沿いは地場野菜等の販売所があるので，これを上手に活用するとか）

### 3 今後の調布市におけるまちづくりの視点に関する自由意見

#### 施策01 災害に強いまちづくり

##### 01-1 防災体制の充実

- (こちらは調布市です) から始まる防災無線(有線?)は何と言っているのか、聴き取れない。特に集合住宅住まいの人はみな、そう思っているのではないのでしょうか。調布ケーブル等を利用して各家にスピーカーの設置ができないもののでしょうか。多少金はかかるとは思いますが。
- もっと力を入れて欲しい
- 以前菊野台地区の無線配置が換わり、新設された施設から聞こえなくなり、市の担当部署に申し入れましたが、結果的に無視され、現在に至っております。3.11の地震後の情報や毎日の学童帰宅の防災協力情報等は一切聞きとれません。直接担当部署に申し入れたにもかかわらず、一向に改善されない行政の怠慢さにあきれます。今回のこの調査アンケートがどれだけ役立つのか空しさを感じながら、記入しているのが実状です。
- 行政側としては、市職員が即対応できるよう、X-dayとした訓練を重ね、災害時シミュレーションを理解してもらいたい。地域住民については、見学という意識をなくし、1つでも訓練に参加できるよう、もっと地域が主体になり、とりこめるよう、行政側の指導のもと改善をしていくこと
- 災害事故ワースト1位を受け地域の強化
- 災害時にものがスーパーから消えたり、復旧に時間が係らないよう願います。
- 災害予防としての対策は公共施設では順調に進んでいる。東南海地震の様な大地震が予測される中で、その後生きていけば、避難生活を余儀なく迫られる。その備えが無い様に思われる。避難生活を健康で活力あるものにするには、そのノウハウを発信、準備する事が個人でも組織でも必要ではないか?不幸にも死んだ時、多数の死者の簡易葬式、自然葬も心配事です。
- 地震など災害に強いまちづくりに取り組んでほしい
- 避難所の整備。建造物の耐震化
- 防災グッズは高齢者は取り付けられないので、転倒防止などの部品を用意している家にボランティアの人が取り付けに来てくれたら…(現在は一回取り付けした住宅はダメ)防災グッズを取り付けてくれるのは2ヶ所位と決まっていて、他のダンスをやってほしくても、取り合ってくれない。そこで、自分たちで残りの部品を買っても、危なっかしくて取付けられないのが実情です。
- 防災グッズ等の配布

##### 01-2 災害に強い都市基盤の整備

- 古い建物の改修・改築、建替えの支援。災害時の対策
- 地震に強い街づくり、歩行者と自転車の分離、一方通行の整備、あるいは車両通行禁止(せまい道幅)

#### 施策02 防犯対策の推進

##### 02-1 身近な犯罪に対する防犯意識向上と防犯活動の推進

- いつも何をやっているのか、集会所等車で集まる所にそっと陰から見て取締りをやっている。違

## 第4章 自由意見

反金を取ってうれしい警察などいない。きちんと仕事をするように！

- 季節の変わり目に暴走族が多いので対策をしてほしい
- 治安の維持の為に警察市民の力を合わせ改善を求める
- 治安の良い安全な町
- 深夜の迷惑行為、うちの周辺ではさほど感じませんが、深夜のバイク走行（特に音がうるさい）は今後も取り締まってほしいです。
- 西口駅前の治安
- 調布市は事件や事故があってもテレビなどであまり公表しないのもっと公表して、安全であるならば安全であるということを公表してほしい。
- 犯罪オレオレ詐欺
- 防犯,迷惑行為への対応
- 守って下さること感謝しています。
- 京王多摩川駅の近くに住んでいるのですが、競輪開催日は非常に治安が悪くなるように感じます。路上での飲酒や座りこみなど、子供を連れているととても怖いです。開催日にはそのような事がないように警察の方をもっと増やして頂きたいです。

### 02-2 犯罪抑止対策の推進

- 幹線道路が十分に整備されていないので、生活道路が抜け道になっている。特に通学路の安全(歩道の整備等)進めるべき。緑(雑木林)が残っているのは魅力の一つだが、夜は薄暗い所があり、人通りも少ないので、防犯カメラを設置する等して、犯罪を抑止したらどうか。
- 「安全パトロール」が見回ってくれているがたまにしか見かけない。基本的に住宅街は人通りの少ない所にあるので犯罪が起き易い気がする。又公園の設備について、何度か役所に問い合わせたがすぐ対応してくれず、面倒がられたこともあった。
- 駅周辺は明るく不安なく歩けるが、一步横に入ると暗い電球があるだけでとても不安になり、小走りしてしまうくらい恐怖を感じるのは私だけではない筈です。こんなところこそ、隠しカメラが必要ですよ。
- 街路灯をもっと充実させ夜間の交通事故の防止と町の景観を明るくし、防犯に役立たせる。(夜間、暗くて怖い場所がある)防災無線が聞きにくい。
- 交番を設置して欲しい
- 巡回強化
- 転びやすい老人や犯罪の予防として、カメラを各路地にセットし、異常を素早く感知し、対応する。
- 夜、パトロールが回ってくれているのは、とてもありがたいです。この市はこういう取り組みをしているんだということがわかるだけでも、少しでも防犯につながっていると思います。今後も続けてください。
- 夜間のパトロール、見回り等、交番を増やす

### 施策03 消費生活の安定と向上

なし

## 施策04 子ども・子育て家庭の支援

### 04-1 子育てが楽しくなるまちづくり

- “産みたいのに（経済的理由などで）産むことをためらっている”という人が沢山います。子どもの笑顔がある街は活気にあふれていて本当にステキ。心から子育てを楽しめるような支援を。
- 「三つ子の魂百までも」子育て教育訓練は家族、社会、国家の将来に極めて重大な影響を与える。親が子を育て、訓練する事で親の生きる力が、知恵が子に伝えられる。従って安心して生活できる支援（金銭、仕組、情報）が必要。又子育て、幼稚園・学童には自然観察によって、動植物を考える力が所詮観察力が要る。そう云う場が環境整備として欲しい。子育て教育都市として期待。
- 1才から幼稚園に入園するまでの期間、子供を安心して遊ばせる場所（室内）が近くにない。コロコロパンダが1才までなので残念。公園は遊具が少ない。又は遊具がない。コロコロパンダみたいなのを3才までやってほしい。（すこやか以外でも）保育園を増やすよりも、自分で子供を育てたい人に支援してほしい。週1回でも親子遊び、わらべうた、紙しばい、体操、音楽会等を月齢別や年齢別に開催してくれたら、子育ても楽しくなり、長く調布市に住みたいと思います。
- 学童の時間サービス（夏休み含め給食サービスなど）・送り迎え援助ツールをもっと多く、利用しやすく・手当の支給増・保育園、学童の充実。安全 放射線対応、計測など活発に市民の安全を守ってほしい。
- 仕事から帰ってきて、家以外に遊ばせる場所があれば（午後8時位までの児童館など。相談員を1人位おいて）家に帰って1人で子どもを見るつらさ、わかります？
- 子育てしやすい街づくりを希望しています。
- 子育ての支援がほしい
- 子供たちが安心して暮らし、成長していける、平和、環境を願います。
- 子供を育てやすい市
- 思い切った施策で子育ての街として、子育て世代が流入してくるような支援を希望します
- 時代の変化と共に子育て環境も大きく変わっている。働く夫婦を支援する計画を立てる。
- 若い人が増える事が高齢社会を支える力になると思う。
- 若い世代,子育て世代
- 新宿から20分程度、家賃相場もほどほどのため、共稼ぎの夫婦が多く住んでいるのではないかと思います。（朝の駅の風景から）子育て支援の充実は、市の魅力に充分なり得ると思います。
- 調布駅周辺には安全に子供が遊べる場が無く困っている。体力低下や非行に繋がるのでは。
- 隣り近所で子供を育てていく環境を作っていく。（補助金を出して取り組みを促進する）

### 04-2 子育て家庭の支援

- 安心して出産、子育てのできる街になることを望みます。但し、入学前までの医療費無料化は止めてほしい。この制度の悪用が目に見える。医師側は不必要な薬を処方し暴利をむさぼっている。患者側も蚊に刺されたなど些細なことで受診。1割でも払うことにより、このようなことはなくなるのでは。本当に治療が必要な40～50代の低所得者との格差が大きい。
- 育児費用の支援
- 子育ての手当で助成・市内の私立の幼・小・中・高への助成金
- 子供の医療費は無料になること。

## 第4章 自由意見

- 「都市問題は住宅問題だ」と述べた人がいますが、「住み続けられるまち」を言うのであれば、住み続けられる住宅が必要だ。世田谷区では数年前に子育てファミリーのための借仕上住宅制度を、支援は無駄遣いだと中止してしまいました。しかし、この時期がその「まち」に住み続けられるか瀬戸際なのだ。大方の夫婦は子供ができると、また、子供が成長するともっと広く家賃の安い場所へ引っ越してしまう。小・中学校の子供たちを持つ家族は大切にしなければいけない。この時代の家族は子供を仲介として、絆を作る機会が多く、特に女性たちによる地域のコミュニティが育成される芽が出来る。これを大切にしなければならぬ。子供が育ち、親が新たな住所を探してバラバラに散っていく、残ることが出来た家族は地域で孤立していく。地域に根付いた人間が多ければ多いほど、行政への関心は強くなる。子供たちの見守りや地域防災への関心など、いくらピンポイント的に制度を整備しても、成果は上がらない。長い時間をかけ、地道にニューファミリーへの支援を行っていくことこそ、少子高齢化社会への救済の道である。

### 04-3 子どもの健やかな成長の支援

- まちづくりも大切ですが、「子づくり」も大切かと思います。子育て以前に結婚してもらい、子どもを産んでもらうところの支援をしてはどうでしょうか
- 公共の場ではベビーカーがわがもの顔で通っています。十分に独歩できるような幼児でもベビーカーにのっています。そして親は携帯とママ友とのおしゃべりに夢中。又、わが子にむかって「バカ」「おまえ」呼ばわりやわが子をたたくのをよく目にします。ママ・パパ学級でおむつのかえ方もいいですが、「心を育てる」大切さを伝えてほしいです

### 04-4 保育サービスの充実

- お金の支給ではなく、保育園の充実（待機児童0へ）、またレベルアップや英語教育の充実なども若い世代をきちんと育ててほしい。
- 子育て支援の充実(保育園の増加等)
- 子育て保育の見直し
- 子供(0才から)の福祉施設を作りたい
- 私共が30代で子育て中、保育園が少なく大変苦労しましたが、今現在でも保育が不足しているとの事。働く若い人達にもっと保育園（公立）を増やしてあげてほしいものです
- 待機児童が多すぎる。学童が～18:00 or 19:00 は世間に合っていない。学童が～3年生までもおかしい。横浜では6年生まである
- 調布市立〇〇小学校附属保育園を作る。少子化で教室の空きがあるのなら、保育園を校内につくり、各町での女性の仕事をあっせんする。すべての小学校に保育園を造れば、全国的にも初となり、若い夫婦も増え、子供が増加し、市税増につながると思います。
- 保育園の倍率が高すぎるので、特に育児休業が終わる1才児が希望者全員が入園できて、復職できるように、失業しないようにする。
- 保育施設を増やす
- 保育所をもう少し数を増やすべきだと思う
- 緑が多く畑があつて子供を育てるには良い佐須地域だが、佐須内に保育施設が無く、苦労する。施設の増設をして欲しい。



- 東部は世田谷区と隣接しており、世田谷区の情報も入るが、教育（学童クラブの利便性）や医療保障など明らかに遅れが目立つ。改善を要求。

## 施策05 学校教育の充実

### 05-2 豊かな心の育成

- 教育改革が必要
- 高校まで義務教育にするより、職業教育の充実と優秀な教員養成を行う。教員養成は難しいと思うので、教員異動の季節に優秀な若い人を探し集める。小さな公園に、授業をさぼったと思われる数人がたむろしているのを見たことがある。先生方も、やっかいなのが教室に居なくて助かるなどと思わず一所懸命に頑張してほしい。物品の製造や食品関係に進む人と、好きな道を早く見つけることに生徒と一緒に考える教育が必要。
- 特にいじめ問題は真剣に（特に教育委員会）取り組んでほしい

### 05-3 個性の伸長

- 小・中学校の授業の充実→一般市民（PTA に関係なく）の授業参観と意見交換。放課後の情操向上活動、スポーツ活動→広く一般市民からリーダーを募集。放課後の時間の充実→非行化の防止（ヴェネズエラの例）
- 隣接区域との越境入学や学童の受け入れなど相互の連携で不便の無いよう進めて欲しい。上記2つに関して調布市は魅力なし。

### 05-4 健やかな体の育成

- 子供の運動能力向上

## 施策06 青少年の健全育成

### 06-1 青少年の健全な成長の支援

- 大人達が子供達（学校の行き帰り）におはよう、おかえりとか笑顔であいさつしてほしい！色々な事件等があり、知らない人に声をかけられたりとか…学校で指導されていますが、笑顔であいさつして気持ちよさを心で感じてほしいです。地域のつながりにもなるのではと思います。
- 小中学校の就学援助を強化し、給食費無料化。教育予算拡大。クラブ活動費無料化→自信持てる若者の育成→就職
- パチンコ屋や商店街など、青少年に良くない影響を与える施設が多いのが心配です
- 非行行為や威嚇行為、深夜徘徊、迷惑行為への補導や注意を商業施設や市と警察での取り組みを強化すべき。不登校生徒（日中）や青少年（夜間など）が安心して通えたり、過ごせる場所、若者に魅力的なコミュニティスペースなどの充実。

### 06-2 青少年の居場所づくり

- CAPSの様なものをたくさん（とりあえずは2駅ごとに1つぐらいの割合でほしい）SHCなどあるが、もっと手続き等簡単でその場ですぐに借りることが出来るシステムにして、料金も無償か安価で提供してもらいたい。中、高生あるいは20代の青年が安心して遊べる、交流できる

そんな場所が本当に欲しいと思う。

## 施策07 共に支え合う地域福祉の推進

### 07-1 地域が一体となった福祉のまちづくりの推進

- これからますます増えるであろう高齢者や障害のある人、幼い子どもをつれた人々も安心して外に出られるようにしていくまちづくりをしていくことが調布を魅力的にする一番の方法だと思う。私の親が車椅子を利用しているので、その視点で見ると、連れ出せるところは限られている。調布駅周辺などは、段差、バス、自動車、自転車が危なくて、全く行くことができない。また新調布駅は階段が多く、エレベーターが北口にはないという、弱者を無視した設計で、とても残念であった。
- 異なった特性と異なった状況、利害を持つ多様な人々、特に声を上げにくい人々や集団の声を市が積極的に拾い上げてニーズを掘り起こしエンパワーすることが必要である。
- 子供～高齢者、女性など社会的弱者も安心して暮らせる街
- 子供と老人を共に生かす政策。別々な政策でなく、一緒にお互いが快い生活を持てるように
- 年寄りや子供の力って大きいと思うので。弱い立場の人を大事にする街であってほしい。
- 福祉の充実を感じないので力を入れてほしい。
- これからますます増える高齢者のためにバリアフリーなどを一層促進する。
- バリアフリーなどはもちろんだが、実際に関わっている人たちから意見をもっと聞いて取り入れるべきだと思う。経験者でないと感じない事はたくさんあるのだから。
- 高齢者のバリアフリーや障害者のエレベーター増。若年の自転車の駐輪場や、映画館、ひといきできる休憩スペースに。広場やベンチにコーヒーショップやファストフードなど。市民の方にこんなのがあったらいいなどの要望をきくなどして、興味をもってもらい、実現化にできるだけ進めてもらいたい
- 今母親が介護を受けています。都営3Fでもエレベーターをつけてもらいたい
- 子どもにも、老人にもやさしい街
- 周りに高齢者が増えて、対応が大変になります。皆んな元気で明るく暮らして行ける調布市に期待します。
- 住民の高齢化は避けられないので、老人でも安心して出かけられる街づくりへの配慮と同様に若者が学べ、楽しめる街作り 若年層の夫婦の子育てが安心してできる街作りを目ざしていただきたい。
- 老人、母子世帯が孤立しない地域で一体となる街づくりを願います。
- 公共施設、駅が障害者や高齢者に利用しやすく安全であってほしい。
- 私の出身は京都ですが、子供が巣立った街には老人ばかり。商業に活気が全くなく、街の最後をみるようです。この様な街にならない様に、複数の年代が利便性高く、楽しく住める街にして欲しい
- 市役所職員は、机の上だけで仕事をするのではなく、もっと地域のイベントや地域の人たちとの連携を取るべき。

### 07-2 参加と協働による地域福祉活動の推進

- 福祉はボランティアに頼らず有償とすべき。絶対必要な事で、ボランティアは経済的・時間的に余裕が無ければ無理。仕事として雇用促進を促すべき。福祉に対しての考え方を変えるべき
- 駅周辺の整備。市内・外の人が集まる（府中駅周辺のように）活気ある街，高齢者と協働して子供が住みやすい街
- 福島などで被災した家族に住まいを提供する

## 施策08 高齢者福祉の充実

### 08-1 在宅生活の支援

- 子育て支援,高齢者へのサービス
- この中に老人についての事は何も組み入れてないか。調布市では病院はあるが、専門医がいなく、行っても受け付けてくれない場面とか、老人病院は1か月したら、動けなくても強制的に転院しなければならず、50年近く住んでいるが市立病院（安心して受けられる医療）の事は考えられないのでしょうか?老人が安心できなければ子供達へに負担も増し、若者に支援などといっても絵空事に聞こえます。
- だんだん高齢化が進んでいます友人との会話で他市とは少し年寄に優しい街である事を知りました。私は集合住宅に住んで居ります。一人住まいが70%に届きます。それぞれに条件が異なりますが、一人で亡くなる方が多い様です。日々安否の確認をする人が必要です。緊急の場合、身寄りのない人どうなるのでしょうか。
- リスクヘッジのレベルアップ，市民活動の活用化作り，高齢化対策
- 高齢者が住みやすい町
- 高齢者が増えつづける調布。でも受け入れ態勢は…。主人が介護者になり、つくづく感じています。（家族が見る大変さを…）。大企業が少なすぎるのは、調布に魅力が無い為？
- 高齢者たちに安心して利用できる場所を設立する。
- 高齢者世帯を助けるシステムを充実させてほしい。
- 今後どこへいっても高齢者の為の色々な問題（医療・年金・インフラ）を考えながら、まちづくりを検討して欲しいと思います。
- 年輩者には安心が得られる街に
- 夫を先月ガンで亡くしました。夫は「入院しない、点滴しない、自然死を自宅で」と申しました。巡回して下さるお医者さん、介護士さん、ヘルパーさん、入浴サービス、ベッド等借用器、とにかく昼も夜もない生活でしたが、夫は眠るような最期を迎えました。これから老人の死は増加します

### 08-2 社会参加の促進及び健康づくりの推進

- 週1一回（2時間位）老人施設にボランティアへ行ってますが、皆さん（仲間）年を重ねて若い人がいません。ボランティアが増えるよう何か工夫してくれませんか？（たとえば、手帳を作って点数を記入する）→お金が欲しいのではなく、自分がしてる事が確認できるためです。ポイント制を他市では、やってるところもあるようです…人はみな老いていきます。自分のためにポイントがある・・・と考えるとボランティアの人たちにも張り合いになると思えますが。

## 第4章 自由意見

- おかげで寝込むことなく感謝しております。植物公園の年間1,250円で何度も入園できますこと嬉しく思います。日ごろのご苦勞感謝申し上げます。
- 講習会、運動の機会を増加する
- 少子高齢の楽しみの場所を作る。
- 調布の市民サークル、生涯学習などは、多くの高齢者が参加しており、心身の健康につながっているようで良いと思う。そのような活動を行う文化施設も多数あり、歩いていける距離にあることも良い。また高齢者が歩いて買い物に行くことができるように、中小の商店街を支援し、活気づけることができればよいと思う
- 働き場所の提供、活動を通して交流の機会を作る
- 老人が多く、これから先不安な毎日ですが、老人同士で楽しめる憩いの場所が出来たらなあと思います

### 08-3 介護保険事業の円滑な運営

- 国の方針で療養型病院が縮小され、在宅介護における家族の負担が増大される中、調布市内のショートステイ受け入れ施設に24時間看護体制を取っているところがまったくない、夜間のたん吸引等が家族を疲労させ、在宅介護の限界を感じさせる。民間の老人ホームではなく行政として一刻も早く、「一日8回以上のたん吸引がある」者でも受け入れ可能なショートステイ利用施設を立ち上げてほしい。現状では「安心して住み続けられる街」とはほど遠い。
- 特養を増やし、年を取っても安心して暮らせるようにしてほしい。
- 特養を中心とした老人ホーム施設の充実
- 老人ホーム介護施設等に待たずに入れるようにしてほしい

## 施策09 障害者福祉の充実

### 09-1 生活・相談支援体制の整備

- 調布養護学校がある町なのだから障害のある人達にやさしい調布市としてほしい。

### 09-2 自立に向けた就労支援・社会参加支援

- 障がい者の人が安心して働くことが出来る就職先の充実や安心して生活出来る制度の充実を求める。無料の駐輪場を設置して頂き、点字ロードの上に自転車が駐輪するということがなくなるようにして頂きたい。
- 事故や病気などで中途障害になった人のための施設（事業所）が少なく選択肢が無い。社会復帰や、今以上生活が悪くならないための（心と身体の）リハビリできる仕組みを作ってほしい（\*失語症になったが訓練を受ける場が無かった）

### 09-3 障害福祉サービスの充実

- 障害者福祉の支援

## 施策10 セーフティネットによる生活支援

### 10-2 適正な保護の実施

- 一番困っている人を切り捨てない社会が、困難に対して一番強い社会だと思う。
- 生活保護の人が多いと思う。そのような人を見かけるが、楽な生活をしている。お金の面でも少し金額を下げてはどうか。生保を受けないで懸命に生活をきりつめている人もいるのに、税金も高い。若い人は結婚もできないではないか。なんとかしろ。病院に入院している人を見かけるが、おこづかいまでもらっている。なぜだ。医療費もただなのに

## 施策11 雇用・就労の支援

### 11-1 雇用・就労に向けた支援

- 経済のことばかり考えて仕事に追われ、忙しいのは心を失うことに通じます。今の若い人の労働のあり方を皆で考える必要あり
- 公共の場（公園・道路など）の清掃に高齢者の力を大々的に利用する→時給1000円以上
- 市内の企業のあっせん 35才以上になると募集自体なくなる。再就職が厳しくなる人々への支援

## 施策12 生涯を通じた健康づくり

### 12-1 調布市民健康づくりプランと食育推進計画の推進

- 20年以上前、夏休み頃になると近所の小学校でラジオ体操を朝おこなっていた。子供だけではなく、大人やお年寄りの方も一緒になってやっていた。これをきっかけで知らない人と話すきっかけになったり、普段スポーツをしない人も体力づくりの素になった。今は近所に誰がいるのかわからない世の中、こういう行事がもう一度あったらいいなあ。
- 一人一人の意識レベルを高めること「自分の健康は自分で守る」という健康指導をどんどんしてほしい。
- 健康づくりも必要。
- 手軽なスポーツイベントや健康増進の為のイベントを増やす
- 薬に頼らない健康を作る、環境を作る

### 12-2 早期発見・早期治療・重症化予防の充実

- かかりつけ医の情報を、口コミ以外にも簡単にわかると良いと思います。
- 安心・健康。検診等、強化してほしい
- 健康診断の支援
- 健康診断の問題
- 健康診断内容の充実。健康診断の回数を増やす（年2回としては？）
- 仕事していると土日しか通院できないが、日曜は休診、土曜は午前中のみで、激混雑。本当に具合の悪い人がしっかり受けられる態勢を整えてほしい（現状、待合室で待っている間に更に具合が悪くなる。土曜日におしゃべり目的で病院に来ないでほしい！）
- 女性が希望すれば無料で健診を受けられる様になると良い。
- 定住促進のための安心感。治安は申し分ないため、医療の充実があればさらに良い。

## 第4章 自由意見

- 健康予防保全に注力

### 施策13 生涯学習

#### 13-1 学びのきっかけづくり

- ニュースでみたのですが、高齢の方で文字が読めず、書けない人がいると驚きました。その人は区で勉強する場所があり、利用し勉強をがんばっていました。ここで初めて学ぶ幸せを感じたそうです。もし調布で文字を書くことも読むこともできない人がいれば、どこでも学ぶ事ができる施設があればいいなあと思いました。

#### 13-2 学べる機会の充実

- 社会人でも参加しやすい学習・活動などを広げていただきたい
- 社会全体を教育するサポートが必要。
- 図書館が出来て欲しい。
- 図書館の充実。保有する本を増やす（DVDなども）。新刊を。貸出期間延長
- 図書館の増加。

#### 13-3 団体の学びの活動支援

- 最近では元気な中高年がふえ、様々な趣味活動を行っていますが、その活動場所の確保が困難な状態です。少子化にともない廃校となった所を活用する方法はいかがでしょうか。中高年が元気であることは、ひいては若年層にも市経済にもプラスになるのでは？
- 絵画・歴史・音楽などのグループがプロの講師の指導を受ける時の受講料補助

### 施策14 市民スポーツの振興

#### 14-1 スポーツ環境の整備

- 調布市総合体育館充実。公園用地の買収が進んでいますが、体育館を拡大したものにしてほしい
- もっとスポーツイベントを増やしていくべき。Ex)フットサル大会、野球大会 etc
- 体育館や校庭の一般開放(スポーツ振興)
- 中小体育館の増設
- 府中市や稲城市の様に休日に家族でも気軽に使える体育館が欲しい。調布はサークル団体に入っていないと体を動かす場が少ないと思う。

#### 14-2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- 味の素スタジアムでの10月のスポーツ祭りの内容について一部の団体の発表会ではなく、会場に来た人たちが体を動かせるような運動を取り入れたら良いのではないのでしょうか。(例えば、スポーツ選手が取り入れているストレッチやリトミックなど)

### 施策15 地域コミュニティの醸成

#### 15-1 地域コミュニティの活性化に向けた支援

- 地震等災害時に即対応できるよう、旧態依然とした旧組織を、行動力ある組織に再構成をする。

その中で、協議会の位置づけについて、再度行政指導のもと、統廃合し、市傘下の組織にしていく

- 我が家の近隣では、親しくあいさつし、一見親しそうに見えるが、最近ある家の主人が亡くなられて、知らせもなかったので、10日以上もたってから弔問に訪れた、一人暮らしの家庭が増えつつある現在近隣の人達同士で触れ合う場所を作っていけると良い。
- 向いに独り暮らしの老人の方がいます。うちの子どもが元気にあいさつするだけで本当に嬉しそうにしてくださいます。母親である私はその笑顔を見ると、“ああ、見守ってくれている人だ”とありがたく感じます。心のつながりが沢山ある街になってほしい
- 事件や事故、イザという時に助けが必要
- 自分中心でなく、他人を思いやり、少しずつ譲り合って、気持良く、生活出来る事をのぞみます。
- 住民に妙な連携感やプライドがない所
- 必ずしもテーマと合っているとはいえないが、世代サイクルがうまく機能するまちづくりを望みます。最近子育てを終えつつあるこの時期に強く感じる事は、近所とのコミュニケーションが少なくなった、という事です。地域サークルを利用したコミュニケーションの場を望みます
- 友達作り、ボランティア等の充実等
- 利益で利便性を追求するのではなく、「人」を中心に考えてほしい。たとえコストや手間などかかっても、「人」が中心になってほしい
- 隣近所の人と仲良く何かあったらお互いに助け合うこと。
- 話し合いのしやすい人数で意見を出し合います。意見をまとめ、市民全員が行動に移すことが出来ればコミュニティが生まれ、良い町づくりに発展できる気がします。

### 15-2 地域コミュニティ活動の拠点整備

- 高齢者から乳幼児迄をわけずに同じ空間で接し活動できる場所をどんどん作ってほしいです。
- 若者が集うコミュニティ

### 15-3 コミュニティ活動への参加の促進

- 手軽に参加できるボランティア活動を増やす
- 盆踊りを一例としても若い年代の参加がない学校等で郷土意識を学ばせたら
- 私の若かった頃は、幼い児を「チョットあずかって」と気軽に近所の方に頼んだり、たくさん頂きものがあつたら近所にわけたりしました。老人が床につけば、「おばあちゃん、気分はどうですか」と声をかけたり、亡くなれば皆で見送りました
- 小さいことからコツコツと！まずは、隣の住人に挨拶をしっかりとすることを呼びかけていって頂きたい。生活をしていて、この基本的なことを行えないひと（大人も子どもも）が多いと感じる。挨拶から人と関わるということを広げ、共に何かとして助け合いをしたり、協力をするということにつなげていけば良いと思う。
- 脱退する家が増えています。当番、回覧板を回す煩わしさ。半強制的な各種募金への不公平感。今の社会に有効な大事な組織だと思いますが、何か市の方からご助言頂けることはありませんか。老人夫婦のうちは当番が重荷で、脱退希望です。
- 調布は、「歴史、歴史・・・」というけれど、目立ったものもなく地元色が強すぎて新しく入って

## 第4章 自由意見

きたファミリー層には入り込みにくいコミュニティ感がある。

- 多数のマンションが建ち、新住民が転入する中で過干渉にならぬ適度な連帯感を醸成していく方法は？市報や「ぱれっと」などで魅力的イベントをPRしていく・・・
- 住民自治活動

### 施策16 活力ある産業の推進

#### 16-1 にぎわいを創出する商店街の支援

- さまざまなお店を入れ、活気づける。駅周辺のお店は閉店時間をもう少し長くし、更に利便性に力を入れる（最近仕事で帰りが遅い人も多いため）
- パルコだけではもったいない。せっかく乗降客数が多い駅なのに
- 映画館が無い。商店通りが少ない。
- 旧住民と新住民、新住民間の隔たり、交流の乏しさ。商業に活発さがなく、住んでいるのは調布でも、買い物は新宿か府中
- 京王多摩川にもストア、マーケットがない。
- 国領くすのき商店街の活性化。周辺にスーパーが出来てしまい、衰退しているので活性化させてほしい。
- 商店街によって豊かな町作りができていると思う。色々新しくなるのもいいけど、ヨーカドーとかもできて便利だけど、商店街って大切だから、守って行ってほしい。
- 仙川のように開かれた皆が来なくなる商店街にしてほしい
- 仙川商店街がすきです。
- 調布市内には、買い物に行く場所が少ないと思います。なので、映画館や飲食店も含むショッピングモールのようなものがあると、より人の集まる街になると思います。
- 立地の良い調布駅前、なぜ人々が利用しないのか？ 買い物、食事など、魅力のある店が少ない
- 商店街の目玉、たとえば調布のお菓子や祭り、人に優しいバリアフリー、緑豊かな景観、京王線後の公園で災害時の避難場所。
- 商業の活性化
- 店が少ない。歩行者天国

#### 16-3 市内事務所・事業者への支援

- 市内へ働く人、雇用者を増やす施策が乏しい。調布の産業は何か。就労者の福祉も重要ですが、中小企業を育成する行政機関を設立し、雇用問題へ関心を深めて欲しい。府中までは遠い。
- 経済の拡大とうるおい
- 経済を進めていくことで町は自然に作り出せる。新しいことを考えポストへニュース板として、他に買い物人気店が沢山あるので有名な店、催し多く作り、もっと活力ある商店づくり、イベントを知らせる。
- 市内の商業、工業が発達しないと街が潤わない
- 大・中企業を積極的に取り入れ、人口の増加を図り、市民税等を増加させる。市の経済状況をもっと向上する様検討されたし
- 中小企業への融資援助



### 16-5 特性を生かした地場産業の振興

- 街の中心地にある大学なのに、市との結びつきが弱いように感じる。IT 政策で電通大と手を組めば、先進的で面白い取組みができると考えます。調布市として、電通大をもっと囲い込んで欲しいです
- 調布への企業の誘致，観光誘致の稚拙でない企画（やれば良いので実施しない）
- 高校，大学と市民の交流 大学生の活用方法，市民と企業，いじめ解消の知恵は
- 電通大などともっと協働してやってもいいのでは？市民が大学の講座を，大学はもっと市民講座を受けやすくする情報の風通しがあっていいと思います。
- 活気ある街作り～民力の活用 生産，再生産サイクルの向上，強化，税収額の拡張
- 旧甲州街道あり，古くからの商店街もあり，そのことは大切にしたい。そのうえで，若者にも人気のあるモダンな街づくり（商店街）をする。若者も関心を持つショッピング街ができると良い。
- 臭い汚いと嫌われている布田にある牧場を生かして地産商品を開発し，産業を作り出す。その他，負の遺産を積極的に正の方向に変換する。・深大寺だるま市のダルマは上州高崎のダルマである。新たに優れた審美性のあるだるまを開発し，地産産業に高める。・食料の自給率はその国（地域）の底力（震災や戦災など有事の時の持久力）を示す。憲法改正を宣言した政党に国政をゆだねた市民は，自衛の備えが必要である。調布飛行場周辺など，公共機関が所有する土地を市民に開放し，菜園活動を行う。
- 小さめで良いのでスーパーを増やして欲しい。安売りなどを目当てに生活をしやすくして欲しい。
- 深大寺4丁目周辺には商店がほとんど無く，日用品の買物に乗物（バス）を使わなくてはならない
- 大型店の導入 ショッピング街，レストラン街
- 調布南口にデパートを作ってほしい。
- 特色ある商店で集客を上げる
- 東京の23区に隣接している割に緑が多く，河川や自然に恵まれていると思うが，人が集まる様な魅力があまり感じられない。都市開発としては隣の府中市に負けている。映画館や商業施設の充実を図って欲しい
- 調布店への転居について拡大・増加を望む。

## 施策17 魅力ある観光の振興

### 17-1 「映画のまち調布」の推進

- 映画のまちと言っているが，映画館がないので，再開発で映画館を作ってほしい。
- 大映，日活の撮影所があった昔，映画の町をもっとアピールする。
- 調布の良さを知ってもらうこと。地域の活気作り。調布全体の統一感，一体感の醸成。
- ‘映画の街調布’を活かしてほしい
- 映画のまち調布
- 映画の町の復活撮影所でのイベント，映画観施設 etc・アニメ，ライトノベルなど調布を舞台にしたコンテンツの振興（賞などの創設 etc）・SNS，ブログなどにおける地域イメージの発信。

## 17-2 地域資源を活用したにぎわいの創出

- 最近はやりのフルマラソン大会をおこなうのはどうでしょうか。景色がよくてすてきな街には〔都心から近く〕参加者は多数だと思います。収益もあがり、参加や応援の方々には街にも必ずお金をおとしていかれます。(宿泊、買い物、飲食)調布は花火大会も有名ですし、もうひとつ名物があってもよいと思います。
- 深大寺～味の素～甲州道→出来るはずです。武蔵野の森、市民は協力します。私は夢です。何年かかっても計画してほしい。
- 調布市に〇〇祭りのようなイベントは正直思いつかない。(私は東京生まれで地元は他の23区ですが)地場の中小企業を巻き込んだ大きなお祭りが布田天神以外でもあり、外部からの人の呼び込みが出来ると思う。
- 深大寺付近まで行かなくても、深大寺そばを食べられる店が駅付近にあれば良いと思いました。
- 飛行場への交通アクセス改善・遊覧飛行を組み込んだ調布観光プログラム・飛行場イベントの発展
- そのために道はもう少し整える必要があるのかと思います。(観光客のための道があれば周辺のお店が潤うと同時に、地元民が煩わしい思いをせず済むことと思います)また訪れたいと思ってももらうためにはやや道が不親切なのかと感じられます。(布田天神の骨董市や国領神社の藤の花など、素敵なのに、たまたま訪れた地元民しか知らないのはもったいないのかと思います。)
- 市民への調布飛行場利用に関する割引や利用促進
- 深大寺はテレビ小説の影響もあり、数多くの人々が来ている。しかし、観光案内所(市産業振興課所管)においているパンフレットは白黒のお粗末なもの。調布市民としても恥ずかしい。もっと予算を付けて、多くの人々を迎え入れる体制を作してほしい。多摩川もブランドを利用する人だけでなく、散歩や、釣り、川遊びなど多くの人々が、楽しんでいる。もっと多摩川を活用したら良いと思う。京王多摩川駅から多摩川までの道を“多摩川ロード”と名付け、わくわくしながら多摩川に向かうような雰囲気作りなど考えてみてはどうだろうか？
- 深大寺や神代植物公園、多摩川や野川など、緑豊かで、最近人気のウォーキングやサイクリングにも最適な観光資源があるにもかかわらず、駅からそこまでのアクセス(歩道やサイクリングロード)の整備がとぼしく、十分活用できていない。気軽に立ち寄れる商店や飲食店(カフェやレストラン)も少ないため、旅人が楽しめる要素が少ない。車で行って帰るのみとなり、街の商店が充実していないと思います。味の素スタジアムや日活/角川撮影所も同様です。街の資源を活かし、交流のできる街づくりを望みます
- 以前より規模は縮小されていますが、「花火大会」のような市民以外の人々が集まる行事をもっと計画し、「調布市」をもっと世間にアピールする！
- 観光やスポーツ等を進めて欲しい
- 国体もあるので、今後とも周辺の市と連携して、多摩地域(といっても広いので、三鷹とか府中あたり)を活性化していくこと
- 三鷹や吉祥寺や国分寺のように、町のキャラクター、個性をPRすることで、投資を呼び込む
- 市のキャラクターの作成
- 重点プロジェクト1, 2, 3, 4以外に東京都その他都道府県に調布市の存在をアピール、その為のイベント(一瞬的でなく継続的に)食や地名(深大寺, 多摩川, 調布飛行場その他)等々を

マスメディアに結果的に人を呼び、観光等につながり、調布市の財政がうるおうのでは。

- 先にも述べてまいりましたが、調布らしさ（自然、寺、神社、映画、ゲゲゲ等）を、守ってゆくことで観光にも、暮らしの快適さにもつながってゆくのかと思います。
- 地域性をいかしてのイベント
- 調布といたら「〇〇」のような、だれでもがイメージしやすい内容のキャチフレーズなど考えてPRし、客を呼びこむ。（例えば「長崎をいたら「ちゃんぽん」みたいな、食べ物に限りません。）
- 年に一度の花火大会は楽しいイベント
- 都心からは京王線のアクセスは大変良いのですが、横のアクセスが弱い。鶴川海道が25m～36mと幅があるので、観光用の小型列車等走らせば面白い。途中、深大寺もあるし、人が調布市に集まってくるのでは。商業の助けにもなる。

### 17-3 特色ある観光情報の発信

- 京王沿線に住む人はもちろん、他の地域の人にももっと知ってもらうようPR強化
- 調布市の特色など聞きたい。

## 施策18 都市農業の推進

### 18-2 農のある地域づくり

- ファーマーズマーケットを毎週定期的を開催して、調布市内の農場の生産力をアップする。
- 高齢者活用、住民参加型の農業など
- 農地が少なくなっているように思う。もっと人々が土に親しめるように計ってほしい。

### 18-3 農地の保全

- 調布は新宿から特急で15分という場所にありながら、緑が多い、その多くは農地であると思う。新鮮な農作物を身近なところで手に入れられるのはすばらしいこと。しかし、農地は目に見えて減少している。市がたとえば10年後の農地をどのくらい残すかしっかりと指標を出すべきではないか。農家だけに任せていては相続等でやがて調布から農地が無くなってしまうと思う。
- 農地を活かし緑を保全する街づくり

## 施策19 芸術・文化の振興

### 19-1 市民の芸術・文化活動の促進

- グリーンホールを中心として、芸術文化など、様々なイベントを中心に活動。そこそこのセンス有イベントを！
- 音楽やパフォーマンスなどを駅や公園などで行えるようにする。外国人居住者の文化も取り入れたイベントを開く。
- 習い事と創造活動にはこれから生きる姿勢（主体性）として明らかに差がある。危機感の自覚から創造性ある文化は芽吹く。文化は社会の鏡であると考え、消費文明に翻弄されている主体性を持つ創造文化は育たない。産業も含め、地域からの創造が、独自の文化となる。深大寺だるまの新規デザインは既存のダルマや活動に阻害されることなく、よりすぐれた物を創り出す創

## 第4章 自由意見

造性をブランドにし、作り出す喜びを分かち合う。

- 調布には素晴らしい文化人、芸術家がたくさんいらっしゃるし、イベントもやっているのに、あまり知られていないのはもったいない。市民ですら情報が入らないのはアピールの仕方をもっと考えるべきではないでしょうか。
- 美術館、演奏会、古典芸能、映画に常に触れられる街にしてほしい。そのためのイベントをもっと数多く、市民が気軽に参加できるようにしてほしい。

### 19-2 芸術・文化施設の整備・運営

- 仙川劇場は暗く、狭く入りにくいので、照明等で明るくしてほしい。
- 図書館、美術館など総合施設がほしい。
- 美術館や、ギャラリーの充実。を望みます。
- 民間大学（桐朋学園や白百合女子大学等）の市民の更なる利用（演奏会等鑑賞）
- 民間大学イベントの見学や参加

## 施策20 地域ゆかりの文化の保存と継承

### 20-1 歴史・文化遺産の保存と継承・活用

- 「調布市の歴史」通信教育講座開講（有料）→忙しい人のために コミュニティづくりにもつながる
- 国内のみならず、世界にアピールできる
- 深大寺、実篤、鬼太郎などといった文化をどのように盛り上げるかの委員会を作る（既にあれば取り消します）
- 歴史ある布田神社を調布市の宝として大事に
- 歴史を文化を成生発展させる

## 施策21 良好な市街地の形成

### 21-1 適正な土地利用の推進

- 高齢化・少子化が進む中、賑わいや活気のある街を創出することはとても困難な課題です。人口を増やし続け活気ある街にするには、若い人たちの流入をいかに図るかが一つのポイントになると思います。調布は、幸い多目的スタジアム、点在する観光スポット、京王線沿線の大学の存在と、活気ににぎわいを創出する好条件に恵まれた地域です。特に地理的に新宿と八王子の中間にあり、若い人や学生にとって、学び、働き、生活のしやすい地域になっています。ともすると学生は消費や購買力が弱く、行政にとって厄介な存在であることは否めません。しかし、賑わいを創出するには学生や若い人たちの力は不可欠です。学生たちが卒業しても調布の良さを感じ、そのまま住み続ける魅力ある街にすることで、住むなら調布というイメージを若い世代に植え付けることです。このチャンスに最も恵まれているのは調布市です。取り組む最優先課題は「利便性が高く快適な街」です。対策として一般的ですが、(1)交通の利便性と (2)働く女性や学生の支援です。交通の利便性は、高齢者をはじめ多くの方が求めているものですが、市内を巡回するミニバスを周辺の市や区と連携を図り、もっともっと地理、時間的に密度をあげて利便性を高めることです。2点目は働く女性や学生の支援で、保育所、学童クラブ等の整備はもとより、働く場

所を斡旋したり、提供できるようになると良いと思います。将来を見据え、次の世代につながる街づくりをお願いしたいと思います。何よりも今、調布に必要なのは、「利便性が高く快適な街」です。さらに働く学生には…？

- 工場の跡地はほとんどマンションになり、そのマンションの住人による苦情により工場地帯がなくなる。（地方へ行かなくてはならない工場が増える）準工等に作られたマンション等に住んでいる方は、以前からある工場には過度な苦情はいえない様にする等、役所は市民からの苦情を受入れすぎ、工場がかわいそう（ホッピー等はこの先調布にいられるのか）
- 深大寺くらいしかないので、観光に力を入れなくてもいいのではと思います。観光ののぼりを見るといつも違和感を覚えます。調布は観光地でなく、住むところです。
- 「ホッ」と出来る空間が欲しい。実現期待しております。
- 建ぺい率、容積率の緩和。現在の基準は現状ニーズに合っていない。調布市全域で高層化（住宅地は3F建てを可能とする）を図り、空地为緑地化してキレイな住環境を作ることが良い
- どちらともつかない位置にある地域の一層のまちづくりの開発を進めるべきです。（ほとんど三鷹に依存しています。）

## 2 1 - 2 景観まちづくりの推進

- きれいな建物等
- 駅前駅周辺の景観をイメージアップしたい
- 街の色合いをまとめてみたら時々思います。ヨーロッパの様な！！色の暴力的な道路のペイントなどを考えて欲しい。
- 各駅周辺にゲームセンター、パチンコ、風俗店が多く、とてもはずかしい。又、吉祥寺までとはいかなくても、もっと魅力ある店（個人店の方が良い）を増やせる環境があっても良いのでは。又、今後老朽化した家やマンションは建て替えとなるだろうが、もっと規制緩和して、街がもっともっと素敵になることを期待しています。
- 景観、利便性
- 街路樹の充実などで景観の美化を図る
- 高層建築物の乱立の抑制
- 人にやさしい美しき街づくり
- 昔ながらの街並みを残す。無理かなと思いますが
- 調布の景観
- 駅周辺のゲームセンターなどのネオンサイン、呼び込みなどを禁止する条例の制定。自転車を撤去するなら年間を通して毎日やってほしい。
- 今、いろいろ新しい建物が出来ているので、自然をもっと増やしたり、かわいい感じにしてほしい。調布は便利だけど、ちょっと田舎っぽい温かい感じがいいからそこんところよろしく願います。あんまり近代的になりすぎてほしくない。
- 歴史ある街だけに、大規模な整備が難しいのはわかります。が、例えば仙川はブランドイメージが高いと思います。他市でいえば、ハイクラスな国立、子育てしやすい多摩、若い人に人気のある吉祥寺や三鷹に比べて劣るのは、やはり街のイメージを良くすることが大切ではと思います。
- 歴史の町。緑と水の調布。

## 第4章 自由意見

- もっと緑を増やし、独自の景観をつくるべき
- 自然の豊かさのPRと、環境に配慮を最大限していることをPRすることによる街のイメージアップ
- 住環境の規制
- 昔から変わらない景観，緑豊かな場所
- 野外広告の規制色の統一

## 施策22 地域特性を生かした都市空間の形成

### 22-1 魅力的な中心市街地の形成

- 特に調布駅周辺を市の中心地としてより、賑わいのある町，若い人の集まる町にする。
- 調布駅周辺は魅力的な商業施設が少なく，やたらパチンコ屋さん，ゲームセンターが多くて集客力に欠ける。魅力的な商業施設の誘致と駅整備に合わせたふんだんな緑化をしてほしい。
- 23区に隣接し，調布駅が京王線の基点，ターミナル駅的な役割を果たしている現状を大いに活用し，商業・文化施設の充実，強化を図って，活力のあるまちづくりを進める。
- せっかく京王線が地下化されたのですから，調布でなくてはできないような，ユニークな町にしてほしい
- マンションが駅前に多くなってきた。このままだと次に再開発する際，めんどうにならないのか？
- 駅からそう遠くない場所への大規模複合施設（三菱地所スナモ，ヨーカ堂，アリオ，又ジャスコなど），駐車場も完備した総合施設は若い年代の家族が多く集まる。駅前が古い商店街と小さなスーパーでは，高齢化が進み，若い家族は集まって来ない。新しいマンションも必要
- 交通と商業活動を分離した街づくり。特に駅前の再構築が望まれる。
- 人口流入への魅力施策推進 都市グローバル化の対応強化
- 線路の跡地は，札幌の大通公園のように細長い公園にしたらいいと思っています。ベンチをたくさん置いて，魅力的な遊具でも一部におけば，市外からも人がくるのではないのでしょうか。
- 地下化は急いだが，それによって出来た地上の整備工事の先行きが分からない。少なくとも敏捷性に欠けている
- 南口は居酒屋 or ゲーム店が多いので，もっとバラエティに富んだお店が有ったらよいと思っています。駅の跡地に駅ビルのお店が欲しい。（パルコと競争させると良い）
- ①若い人が”住みたい””調布にお店を出したい”と思える様なオシャレでトレンドな街作り ②お年寄りが住みやすいと思える様な文化的で自然豊かな街づくり ③若い人からお年寄りまでが魅力を感じる街づくり
- とんりの府中駅前を参考に調布駅前は商業施設の充実をお願いしたい。それ以外の駅前も道路や広場を広くしてほしい。
- どの街も何か中途半端なかんじがします。活気も中途半端。せめて府中駅くらいにはなしてほしい。
- 一般車両も入れるロータリーを造ってほしい。もっと人が集まるよう，様々な店舗を誘致し，にぎわいのある街にしてほしい。市への税収が増え，より住み易い街造りが可能になるはず！！今後の調布市に期待しています。

- 一般送迎者用スペースがあると聞きました。すごく良いと思います。長時間の駐車，停車をする車が必ずいるので，（他地域の話しをききました）利用しやすい，あらかじめの対策が必要だと思います。
- 駅の工事が長かったです
- 駅の周りに大型の商業施設を造ると良いと思う
- 駅ビルがあるといいです
- 駅ビルをつくり,活性化する。
- 駅周辺が狭くまだまだ利用しづらい。ロータリー周辺の景観も悪い。スッキリとさせて，深大寺への道筋をつけると良い雰囲気になるか…。
- 駅周辺の開発，整備を進めて，商店街を活性化してほしい。人・車・自転車の分離を考えつつ，安全な駅前開発をしてほしい。
- 駅周辺の大人の街（20代～）計画。子どもは深大寺，染地辺りで（駅周辺に興味を持たせないため。供用クライミング，アスレチック etc.）。治安の問題はあるが，活力の一つになる。長く見ればメリットの方が大きいのでは？
- 駅前開発
- 寒い夜，バスの中に早く暖をとりたいのに，バスが吉野家前で停まっていて，バス停まで入ってこない。ロータリーが狭く，バスが停まっていると他のバスが通りにくくなる為だが，線路を取り除いた後，改善して欲しい
- 旧線路後は駅ビルにしてほしい。人口も増え，自転車も増えているのに駐輪場が少ない。駅の近くに地下駐輪場があると良いと思う。南口の大通りを魅力ある商店街にしてほしい。
- 京王線が地下化したことによる調布駅一西調布駅間（調布一布田間は解りません）の線路跡の計画はわかりませんが，緑化した歩道になると歩行者も車も自転車も安心して通行できるようになると思います。災害対策にもなると思います。
- 京王線の地下化に連動して，その跡地をいかに魅力的なものに変えていけるか（集客力のある商業施設の誘致，それと一体となった道路，公園などの整備等）。調布市をワンランクアップさせるための最後の絶好のチャンスだと思いますので，着実な行政の指導力に期待したい。
- 京王線地下化などにより，若干の未利用地が出来た今，人の流れの変化に注意して都市施設や交通計画を総合的に見直して計画を立てる。
- 京王線調布駅の整備を早く頼みます。バス，タクシーを降りて，高齢者，身障者が改札口まで楽に行けるような配慮をどうかよろしくお願いします。どうぞ早く。
- 現在調布駅の周り大きく変化をとげようとしておりますが，大きな建物よりも解放された広場を望みたい。狭い日本ですが，楽しく集える様な場所になってほしいです
- 今の駅前ロータリーでは，車のあいだをすり抜けるように人や自転車がとおり抜けていきます。お互いに危ないし，そういうキケンがない道路の確立をしてほしい。
- 今後，より生活がしやすい環境になるように整備してほしいと思います。大半を公園などにすると若者などの溜り場となりがちで防犯の観点からも良くないと思うので，商業施設などをまじえながら整備してほしいと思います。
- 今後駅周辺がきれいに整備されていく事を思うと楽しみ。
- 線路跡を駐車・駐輪だけの暗いイメージにしないで，駅近くの所はおしゃれなテナント・カフェ

#### 第4章 自由意見

などを配したり、御徒町駅の高架下のような感じはいかがでしょう。

- 単に人集め目的の商業施設が増えることは望まない。調布の自然、地域の連携、伝統や文化を重んじながら、老若男女、誰にとっても住みやすく、愛着のわく街になってもらいたい。現在も調布はとても雰囲気の良い街で私自身も親しみを感じています。市民が誇れる街が理想です。そういう環境の中で子どもたちが地域を愛し、教育のレベルも高まっていくといいと思います。
- 地下路線地上部を緑地歩道をして市民に開放。市内外の様々なイベントを行い、交流を図る。・市民による新テキ屋を養成して新産業化し、緑地を市場化する。・定年後の人々の時間つぶしに文化活動をあてがう政策をやめ、これから生きようとする若者と、生きて経験を積んだ人たちを結び付ける。
- 中心の調布駅周辺が仙川、吉祥寺のようにオシャレ度を増す努力を！
- 中心駅（調布駅）周辺の商業施設の充実度が府中市に比べて格段劣っている。仙川の例も参考にしながら、調布駅の地下化を契機に、道路・区画整備を行い、商業施設の集約化、多様化を図り、調布駅の集客力→調布のブランド向上という展開につなげるべき。
- 調布・布田等駅が地下化しましたが、線路や駅（地下）の整備・解体含む、この後どのように計画されているのか知らないので教えて欲しい
- 調布や布田駅前がどのようになるかよく分からないので、公報などで知りたいと思います。
- 調布らしさ見て「アッ素敵！！」と言いたくなる様な駅前広場。駅前には水木さんの銅像でも。
- 調布駅、布田、国領駅、仙川駅前のように買物しやすい街になるよう期待しています。緑道沿に発展することを望みます。
- 調布駅周辺の活性化
- 調布駅前整備。どうもゴチャゴチャした印象が強すぎる。府中駅前のようにキチンと整備してほしい。
- 調布駅南側の公園、道路など、街のイメージアップを意識すべき。ベッドタウンとして常に需要はあると思いますが、街づくりにおいて意識すればもっとイメージアップが出来る立地だと思います。
- 調布市は開発と言う視点で見れば近隣の市区より遅れている。反面、自然の豊かさが残されている。あまり手を加えず保存し、その豊かさを訴求し、アピールすべき
- 都市設計をさらに魅力ある町にしてほしい
- 都心に近い近代的な街並みが欲しい。
- 布田駅、調布駅のまわりを明るくにぎやかにして欲しい。桜並木など老人の発想は取り入れないで、便利にして欲しい。立川のような感じ
- 魅力ある街づくりに
- 魅力のある町、住んでよかったと言える街へ。
- Garden City を目指す。ワシントン D.C., メリーランド, ヴァージニアをベンチワークとする
- 甲州街道、中央高速、飛行場、京王線といった交通網があり、尚、京王線の地下化により、東名高速、川崎口との流通が良くなった。都心からはずれた位置なので、流通の拠点として発展させる
- 駅前を中心に、広場等にもっと緑を増やした方が良い
- 何処の町を見ても、変わりばえの無い町にはしてほしくありません。調布市にしか無い自然を最



大限に生かした。街づくりをして下さい。

- 調布市駅周辺の緑あふれる環境
- 日本では“駅”が街を象徴するひとつのイメージになると思います。その意味で、調布は「緑と水辺の豊かさ」が、全く駅前の景観に反映されていないと思います
- 調布の中心地（街）をスルーして吉祥寺に行く事が多い。深大寺周辺も只道路が整備されたと感じるのみで、もろもろ街並み作りにいわゆるセンスが感じられないのだ。統一感（アンバランスの美も含めて）がどこにもない。分断されているイメージが濃い。
- 公共の色彩
- 調布駅は自然豊かで広さがある街に

## 2 2 - 2 駅周辺におけるまちづくり

- 駅廻りの整備（京王電鉄を利用，協力要請）を長期的に取り組む「回遊性」の文言には大いに賛成，その意味では車道，歩道，自転車道の整備が必要，但し，中心となるべく，テーマ施設等なるべくサービスが必要。
- バリアフリーで，高齢者でも障害者でも利用できる駅づくり
- 駅全体をもっと豊かな街に
- 京王電鉄と協力して「開かずの踏切」を無くしていく。
- 仕事帰りに買い物（食糧品）をしたいので，柴崎駅近くに商業施設がほしい
- 自家用車で送り迎えがしやすいような余裕のある駅前にしてほしい。それがいざという災害時にスペースとしても役立つと考えます。
- 周辺の新しい駅舎を利用又は通りすぎるたびに、「何で柴崎だけ？」と思います。平等にならないものですかね
- 西調布・飛田給あたりは，まだまだ街づくりが遅れていると思う。特に西調布に駅前広場の整備を急いでほしい。
- 仙川の辺りにも開発してほしい。
- 仙川や吉祥寺のような人の流れがある街。→そのためには駐車場や駐輪場が気軽に使える便利なところに。
- 地下化に伴い，せつかく整備するチャンスなのに，全然便利になっていない。無人でいいので改札やエレベーターをもっと増やしてほしい。電車に乗りやすくする。
- 駐車場が少なすぎる
- 駐車場対策
- 調布駅が地下になったため，駅周辺の地下街を作り，地上の畑などは残しつつ，経済の活性化が図れる。地下通路・改札を増やし，駅出口の混雑も緩和される。
- 調布駅地下化で不便に感じている人は多いと思います
- 調布駅北口周辺の整備
- 都会すぎず，田舎すぎない調布に魅力を感じている人もいると思うので，背のびしすぎないまちの発展を希望
- 特に調布駅周辺。駐輪場も少なく，不便な場所にある為，足が遠のいてしまうことがある。自転車，車が停められないから行くのはやめたことが多々ある。道路も整備して，駐車場，駐輪場の

## 第4章 自由意見

心配がなくなれば、もっと行きやすくなる

- うちには車を持っていないので、なかなか遠くまで買い物に行きません。国領はかなり栄えている様ですが、その他の地区ももう少し利便性のあるまちになると助かります。
- 高架化、橋上駅舎化で開かずの柴崎駅の踏切を解消してほしいです。自殺者や事故があった時、車が渋滞して踏切が開かず困ったことがあります。又、自分の母の経験ですけど、母は認知症からくるうつ状態の時に、何度か踏切の中に入ってあぶない時がありましたので、踏切をなくしてほしいと思います
- どの駅もおしゃれな街
- パチンコ、飲み屋はあっていいが、場所が問題、駅前すぎる。
- パチンコ屋が多く環境が悪い、歩道が安心して歩けない（道端が狭く、段差が激しい）、商店街が充実していない
- 駅前のパチンコ屋出店を規制して欲しい。多過ぎると思う。
- 飛田給駅の利便性
- 調布は良い所だと思います。あと、柴崎駅他も良くした方がいいと思います。市長たのみます。

### 2 2 - 3 深大寺地区におけるまちづくり

- 調布市の端に位置するせいか、あまり調布市と一体化しているように感じません。（どちらかともいいうと、三鷹市の施設を利用する機会が多い）スーパー等も少なく、子供と遊べる施設も国領方面まで行かないとないので、（あっても規模が小さい）もっと深大寺地区のまちづくりも考えてほしい。
- 深大寺は千三百年もの間、大勢の人たちが心の平安を求めて訪れたところです。この思いを、雰囲気壊さず、後世に伝えていくのは市の責任だと思います。神代植物園と合わせて、この一帯を守り、格式高い調布市の印象としてください。
- 30年以上も前に吉祥寺が新宿からも人を呼んだように、都心からも人を呼べるように、小さなお店を充実させるのが良いのでは。
- 近くに深大寺の様なのんびりする所があるから
- 近代的な商業施設の充実よりも、子供やお年寄りがゆったり利用できる商業施設が出来たらうれしいです。広場や休憩スペースが有ったり、緑や自然を感じられる屋上があったらいいと思う。市中心部へアクセスできる遊歩道の整備や、緑あふれる調布を感じられる街並み。
- 将来の為につつじヶ丘の駅から高架の舗道(歩行者用)を深大寺に連げる。私は境港の水木ロードも見て来た者ですが、あれに負けない”ロード”をつくったら、調布市は万里の長城の様に永久に栄える。基本構想は10年では完成せずとも、10年を延長して、10年までに何処まで作るかにしては如何でしょうか。
- 深大寺の趣ある街並みや、おしゃれなショップが立ち並ぶ仙川など、もっとPRしてほしい。
- 深大寺の道は広くなっても、前と変化がなく、最近空気の悪さを強く感じています。市ではどの様に計画しておるのですか。早急にお願いします

## 施策23 良好な住環境づくり

### 23-1 安全・安心な住環境づくり

- 空屋が結構あるのではと思います。恐らくいろいろ問題があり難しいと思いますが提供できる土地、家屋があるのではと思うことがあります。
- マンションが林立する駅の周辺道路から考えても何かあったらどうするのだろうと、不安になる。高層マンションの最上階の救助が出来るかを考えて、高さに制限を設けるべきだ。
- 若い人が住みやすい環境と価格の住宅を増やす
- 新婚の住居

### 23-2 良好な居住環境の形成と支援

- 住宅ローンの補助・支援
- 都営住宅に入居したいがなかなかあたらない。なんとかしてほしい。今住んでいる所の家賃が高い

## 施策24 安全で快適なみちづくり

### 24-1 円滑に移動できる道路網の整備

- 道が狭く、雑然としてクリーンなイメージに結びつかない。理想は仙川、成城
- 住宅地の道路が全体として狭い。
- (整備のみにとどめ、新規道路はやめた方がよい。) 計画案が出来たら早く公表すること。特定の議員や党員関係者だけに情報が流れないようにすること。地主、利権者のみに計画がもれないように。
- せまい道路や街灯のない道路が多いので、改善してほしいです
- 以前住んできた世田谷に比べ、道路が未整備の印象がある。(歩道の未整備、デコボコ道、街路樹の少なさ)
- 外灯が少ない、暗い。(道路)
- 街並や道路の整備
- 街路樹の根で歩道の整備及び対策
- 既存の道の多くは、狭く曲がりくねった、又は狭い道である。調布には畑が多く残っているが、何の対策も講じなければ同じような道が増えていく。秩序ある街並みを構築するため、目標を示し、開発業者等の土地利用者の協力を促すべき。
- 菊野台2丁目39近辺は道路は見た目にも汚いし、歩きやすくしてほしいです。何度も転びました。品川道はきれいですが、横道に入るとだめです。
- 狭い、曲がっている、舗道暗い
- 狭い道路が多すぎる。幹線以外にも目を向けてほしい。調布は緑の多い街。それはやはり大切に、緑は増やしてほしい
- 現在、甲州街道と旧甲州街道、旧甲州街道と品川通りをつなぐ南北の道路網が非常に脆弱である。一日も早い幹線道路の整備をお願いします。
- 市が計画している主要道路の土地の確保など早急に進めて欲しい。
- 市内各所に歩道が狭く、危険なところが多いと思う。

## 第4章 自由意見

- 車2台がすれ違い出来ない道路は一直に。
- 車道と歩道の整備
- 車両歩道を整備して危険をなくす
- 人が安全に通れる道路，信号の整備。
- 仙川のバス通りの整備（人と自転車の通行するスペースが非常に狭く，大変危険である）。民間商業施設を利用した歩行者や自転車等の更なる確保や道路の拡張や渋滞の解消。
- 他の市に住んでいた頃，人も車も同じ道路を使用していた。白線があるのみで，駐車がある時は，歩行者はその車をまわって通らなければならない。さらに後ろから車が来て，とても危ない。白線ではなく，ガードレール，植木，街路樹などで，歩行者専用道を作ると，交通事故を減らせることにつながる
- 大町通り等，調和小の通学路が危険
- 調布駅北口の道路幅の拡張
- 道の狭い所を広げる必要があると思う
- 道中が狭すぎる。
- 道路と交通設備
- 道路の整備は，機会があれば是非取組みしてほしいと思っています。調布駅北口は，特に人，自転車，自動車，バスがきれいに分かれて利用できるようなればいいと思います
- 歩道が狭い，府中位駅前通路を広くした方が良く思う
- 歩道が狭い所が沢山ある。特に小学校・子供たちが安全に登下校するために広くしてください。歩いていても自転車にぶつかりそうになる時があるので歩道と自転車を分けてほしい。
- 歩道の整備
- 歩道の整備，電柱の撤廃，駅周辺の自転車置き場の拡充
- 歩道の整備が悪い。
- 歩道の幅が狭く自転車も走るの危険
- 本当に必要な道路を整備していますか？品川通りのつつじヶ丘から先，世田谷へ抜ける道路計画があります。しかし元キューピー工場脇から上祖師谷へ抜ける（桐朋横）道路拡張の方が，緊急性が高いと感じていますし，賛同する人が多いと思います
- 旧街道の歩行者の安全

### 24-2 人と環境にやさしい道路空間の整備

- 道路，駅をもっと高齢者，弱者の視点で徹底的に整備改善してほしい。住環境整備（都営住宅など基準を見直し，多くの人が安く住めるようにしてほしい）
- 他，佐須は，道路が本当に狭い割には車の通行が多く，危険と思える場面が多々ある。改善を
- バリアフリー化や自転車通行路を整備し，今まで以上に人が集まるように考える。
- 街は若者中心ですが，年寄り中心の街を希望（スガモ）緑の多い街をアピールしたら？道路幅を広く歩きやすく。車イスでも通れる様に，途中ベンチもあれば
- 自転車道の整備，マナー向上の教育，街灯その他の環境整備
- 多摩川をより親しみのもてる場所にする。サイクリングロードをより安全に（歩行者専用とするなど）

- 電柱が見苦しい。全部地下埋設する。公共工事が増え、活性化する
- (できれば) 自転車用の道路を整備してほしい。
- 旧甲州街道や世田谷道路の整備。旧甲州街道は一方通行とし、自転車道路を設置。歩行者や自転車通行車が安全で安心して利用できるようにしたい。(青物横丁の旧東海道は石畳とし、一方通行です)
- 高齢者にやさしい道路(歩道)づくり
- 自転車は、車道を走行と言われるが、車との間隔が狭い。危険。又、歩道では自転車が道を通ろうとすると歩行者との間隔が狭く、こちらも車道と同様に安全さを感じられない。自転車専用道を車道の中に作るといった対策をとって頂きたい。現段階では、とても危険な道路である。(車道、歩道ともに)
- 自転車レーン道路等の設置があれば嬉しい。
- 自転車通ると人が歩きにくいのもっと広くしてほしい
- 誰でも安心して歩ける歩道・道路
- 通学の整備(子供が事故にあった為)
- 電柱とガードレールの間隔が狭い。車椅子でも通れる歩道
- 歩道・自転車道の整備充実を図る。
- 歩道と自転車道の充実
- 公共交通と自転車、徒歩を優先、マイカーは規制。高齢化が進めばマイカーの運転は危険であり、子供など利用できない人も実は多い。すべての人、年代が便利に移動できる町づくりを。
- 自転車(スピード、とび出し、マナー)
- 自転車に乗る人はマナーが悪いと思います。自動車と違い、免許や教習などなく、子供の時から勝手に乗るせいだと思います。(今更軽車両だなどと言っても遅いでしょう) 小学校・中学校などで、自転車も守らねばならない交通ルール等を教えると良いのでは？
- 自転車運転免許の制度化、歩道の整備
- 自転車用の舗道が欲しい。ベビーカーの方が、危ないと思う。また、自転車の方も、無理な運転をしていると思う。
- 歩道での自転車走行に対する安全走行の徹底のための指導、啓発
- 歩道橋、地下通路を設置してほしい。児童、高年齢は不安感が強い
- 豊かな街づくりは人が流れ、お金が動くことにより発展していく。そのお客様の自転車を市が取り締まるとは町づくりが出来ない。環境、やさしいどンドン置き場を作る。安心してゆっくり買い物を楽しむシステムへ。
- 例えば旧甲州街道は自転車専用道路にするとか
- 自転車,車,人が共存できる道づくり
- 車中心ではなく、人中心の町(若い人は車離れしている)

### 2 4 - 3 災害に強い道路空間の整備・維持管理

- 菊野台2丁目は雨が降ると雨水があちらこちらにたまっています。穴もあいています。
- 災害時の緊急車両が通れるか心配。でも今から整備するにはお金と時間がすごくかかりそうですね。
- 事故,災害防止

## 施策25 総合的な交通環境の整備

### 2 5 - 1 公共交通ネットワークの形成

- その為にもコミュニティバスを近くまで走らせてもらいたい
- ミニバスが通ることになり、大変便利に利用させて頂いています。運行時間が30分間隔を15分にしてほしい。
- ミニバスの本数を増やして欲しい
- 京王線地下化も実施され、これに伴う街の変化や、道路の問題ですが、三鷹、吉祥寺行きのバスの問題です。電気通信大、交番の道路を地下化していただきたいと思います。
- 公共交通機関
- 市バスの運行 交通手段としては、京王線とバスがありますが、バスは調布駅に集中しており、他の駅では不便です。市内循環バスの運行を希望します。
- 足腰の悪い年配の人は、特にバス券を市からいただいてもバス停が遠いので、母の場合利用できませんでした。又、若い人もバスを利用しにくいので、不便を感じています（個人的なことですが、19年前に杉並から柴崎に引っ越してきましたが、柴崎の発展が遅れたのは一部の地主さんや商店の方の利己的な動機で反対したそうですが、市の方が交渉の面でも参加してほしいと思います)
- 地下化にはなったが、乗る人の数は変わらず。複々線化を進めてほしい。またホームへ着くまで時間がかかるようになった
- 調布,府中の交通手段も必要
- 調布駅行のバスの本数の増加
- 調布市のコミュニティバス、深大寺地区にももっと増やして欲しいです。
- 鶴川街道から甲州街道に出る所の交通渋滞を緩和してほしい。西調布駅の車の相互通行を実現してほしい。調布⇄矢野口のバス便の向上（本数を増やす）
- 日常利用していて「快速」「急行」がとまる駅になってほしいと思う。利用者が多いので必要だと思う。また、改札口が狭く、少ないと思う。改札口は、柴崎選りにも欲しい。
- 品川道にバスが通って、菊野台2丁目にバス停が出来るとうれしいです。シルバーパスをいただいても、乗ることも出来ません。足が痛いので何とかお願いします。
- 北部地域、ミニバス路線を中心に、人、自転車安全・安心に通行できる対策を、地域住民を囲み込んで取り込むことで、結果的に街づくりになる
- 野水方面、野川方面、調布飛行場、武蔵野の森公園への交通が不便なので、柴崎駅から野川公園まで佐須街道を通るミニバスを通すと便利になる。国体もあるので。
- 料金200円をちょっと高いと思う。

## 25-2 交通安全対策の推進

- 広さに限界があるかもしれないが、3つが整うと、事故が減ると思う。
- 自転車の走行・駐輪の問題
- 自転車マナー向上
- 自転車利用者のマナー違反の取締り強化
- 商店街は自転車を押して通る様にしていただければ、年寄りも安心して買い物に行く事が出来ますが、混んでいる所を平気で走っている人がいるとこわくて買い物に行けません。
- 調布市に転居して半年が経つが、以前住んでいた横浜市と比べ、かなり意識が低いと感じる。道路や歩道が狭いこともあるが、それ以上に市民の歩き方や信号待ちの状態、特に自転車に乗っている人達がとても危なく感じる。教育として交通マナーを低学年から徹底して取り入れたらどうか？
- マナーの悪い自転車への取締り
- 法律違反を犯している自転車が多すぎる。違反行為なのかをもっと呼びかけて周知させていく必要がある。
- 暴走自転車

## 25-3 自転車関連施策の推進

- ①たづくり B1 の駐輪場の二段重ねの廃止（狭い、入れにくい、殆ど利用していない等の為） ②南口から品川通りにかけての駐輪には目を覆いたくなります。抜本的工夫により改善すべきを考えます。猫を追うより皿を引けのとおり、駅周辺に用地を求め、超高層の自動式駐輪場の設置をすべきであります（誰でも廉価に使用できる駐輪場が必要です） ③財源は市農道、国土交通省の農道を売却、または転用して頂きたい
- エコロジーの観点から駐輪場を増設する必要性あり（防犯カメラ設置を含める）
- 駅周辺についての、駐輪対策が必要。 ・駐輪場の整備 ・違法駐輪自転車の即時撤去
- 駅周辺の駐輪場をふやして下さい
- 駅周辺駐輪場品川区で導入されている地下式無人立体駐輪場をぜひ整備して下さい。地下化した調布駅を中心にこの機会は絶好と思います。台数も多くとめられ、人件費も少なく、放置自転車がなくなったそうです。
- 駅前駐輪場の整備
- 健康、エコ、節約などの追い風を受けて自転車利用者が増えた。私もその一人、困るのが歩道の駐輪、歩きづらい。どう考えても駐輪場が足りない。
- 自転車で買い物（パルコ）→撤去される。自転車で駅周辺入り→駐輪場が不備。＊総合的な対策及び計画
- 駐輪場の整備
- 駐輪場を増やしてほしい
- 駐輪場を地下に増設し、日の当たる場所を公園にしてほしい。歩道を確保してほしい。
- 駐輪場整備の見直し
- 美しく大きいスペースで駐輪場ができれば放置自転車が減ると思う。誰で求めやすく、駅に近いとよいと思う。

## 第4章 自由意見

- 無駄な土地を洗い出し活用すべき(自転車置場)
- 無料の駐輪場の整備を行って欲しい。
- 駅周辺についての違法駐輪対策
- 歩道の整備，自転車道路の設置が必要。川沿いを整備し駐輪場を作り，市民が利用できる公園にしてほしい。
- 確保駐輪場の整備
- 傾斜が激しいので，子連れや高齢者は利用が難しい。平置き駐輪場もあるらしいが，遠い。改善されれば，駅前様子も良くなるのではと思います。
- 車を所有できない我が家では，子育てをしている私の移動手段は自転車です。調布駅周辺で買い物をするとき，SEIYUの駐輪場は満車で狭く，パルコ前は撤去される・・・景観を気にするのであればその分のスペースは用意して頂きたいです。調布は子乗せ自転車も多く，同じように感じているお母さん方も多いと思います。子供2人にオムツや食料品を抱えて動き回るお母さんたちが快適に利用できる駐輪場を切に希望します。
- 品川の駐輪場のように地下もしくは上に自動にビルの中に入れていくようにしてほしい。南口，北口に大きな駐輪場を作ってください。
- 放置自転車

## 施策26 地球環境の保全

### 26-1 地球環境保全意識の啓発

- 中国を代表とする途上国からの輸入で低価格製品があふれ，低成長経済が今後も続く予測されます。ある人には無価値，でも別の人にとって価値があります。エネルギーの省エネ大賞に輝く調布市ですが，省エネは関連分野の裾野が広い。クリーンセンターの技術革新（ごみ処理，再利用）を期待したい。（物品交換紹介所等含め）
- 全ての事業者が「地球環境」を一番重視して物事を決め，取り組んでほしい。

### 26-2 地球環境保全行動の推進

- 特にありませんが，ただ市役所内の暖房の温度をもう少し低くしても良いのでは。職員の人が薄着で働いている様な温度は如何なものかと思えます。

## 施策27 水と緑による快適空間づくり

### 27-1 水と緑の保全

- ある程度，お店は必要ですが，自然もたくさん残すべきです。ゲームセンター，パチンコ屋さんはたくさん建てないでほしい。
- 郊外の良土（自然，緑）がせつかくあるのだから，利便性ばかり望まないで，特に今まで残してきた自然を大切にしてほしい。
- 今ある自然を極力残し，人工的なものにしないよう望みます。まだ武蔵野の面影がそこにここに残っているので。
- 多様な生物を身近に置きたい。家を建てたら必ず樹を植えることを義務づける。酸素はみどりの光合成でしか作れません。草が生えるのがイヤなのか石を，敷きつめたり，コンクリートにした



りするのを見かけます。草ですら私達を生かしてくれているのです。

- 調布市の良い所は自然が残っていることです。ストレス社会の今、少しでも緑、畑などを残すような調布作りをして下さい。
- 程良い緑があり都心にも近い。
- 都心に近いわりに緑が多い調布。しかし近年畑がなくなり、緑が次々とコンクリートを化している。高層マンションより緑を残してほしいです
- 野川、カニ山、街路樹の下の植え込みなどの草木を大切に育て、かつ、ゴミが多いので、市民が清掃に参加する機会を多く作る。中学生などのボランティアも考えてよいのではないか。調布市を愛する心を育てるためにも、緑の多い調布市を更に作ってゆくため。
- 野川、深大寺の緑を守る

## 27-2 水と緑の創出

- 公園の設備
- 府中市のような、子どもが安全に遊べる公園を整備して、子育てしやすい街 No.1 を目指してほしい
- 犬を散歩させている時の感じですが、世田谷区と調布市では、公園に設置されているトイレの有無がかなり違います。小さな公園にもトイレがあった方が、全ての市民が利用しやすくなると思います。
- 相模原の公園は小規模であっても、高い柵が設置されており、ボールを使用できる。調布は球技NGの立て看板をただ立てているだけで、取り組む姿勢を感じない。子供たちは昔のように草野球やサッカーなどを楽しむことが出来ない。立派な施設は大人を通さなければ使用できない。放課後気軽に遊べる対策ある公園は増えてほしい。子供の運動能力の低下は大人が、場所を奪っている事です。公園付近の大人が子供たちに球遊びを禁じている。学校へのクレームもひっきりなしである。学校側は立て看板を重視し、ダダ広い公園ですら球を禁止している。学校側は「野球は平日やるな、土日に少年野球でやればよい」と吐き捨てる始末。調布市からスポーツ選手やオリンピック選手を輩出すると皆でたたえるのに、子供の体を動かす場づくりに消極的なのが残念です。
- 調布市は隣接する府中市や世田谷区と比べ、公園や文化施設が少ないと感じています。調布市はベッタウン的な要素が強く、集合住宅が多い割には公園・文化施設が不自由分と感じています。  
①多摩川河川敷の開発→公園やコミュニケーション施設②美術館、博物館の設置
- 毎週子供達がたくさん野球に来ていますが、日除けも無く、トイレも無く、ただの野原で気の毒です。それとも何か意味があるのでしょうか？野原ってことに
- 公園や緑化を整備する。街路樹はその植物の特性を考えて選び、きちんとした方法で育て、手入れをする。
- 四季の花々を植えて心なごむ公園ごとと思います
- 市民に開放して賃貸する
- 自然環境に伴うものは進行するも人工的施設、インフラ設備に傾注
- 自然豊かな街にしてもらいたい。
- 木や花を植え増やし自然を大切にする

## 第4章 自由意見

- 緑あふれるエコな街へ
- 緑と水，屋外で昼食を取れるような公園等があると良い
- 緑の街づくり計画
- 緑化をすすめて、多くの人が住みたくなる町にする。
- 深大寺には空いている叢がいっぱいあるのにドッグランが少ない。1ヶ所に入っている犬の数が多いため危ない。土も整備されていないので穴が何か所もあって骨折をしてしまいそうです。土、日は、遠い方がくるので大きいドッグランに小型犬1頭など大きい犬が入る所が無いので意味のないドッグランです。来年こそは増やしてほしいです。

### 施策28 ごみの減量と適正処理

#### 28-1 3R推進によるごみの減量

- テレビで見ましたが、販売されている食品は消費する期限が短く書き、残ったものは処分されるがまだまだ食べられるものが多いとのこと。そのようなものを有効利用したらよいと思います。コンビニ、弁当屋等は特に早く処分するようですね。
- 庭木の剪定枝をチップにしてもらえるのは良い取り組みだと思います。しかし、チップにするときの騒音と道路上に作業車を停めることで近隣からクレームが出ました。チップに出来るステーションで作業してもらえると良いのですが、現状では利用できない状態です。
- ゴみの分別が出来なくなってきたので、無意味な分別は廃止し、更に、高価なゴミ袋として、後で分別する費用を上乗せすることで、なんでも入れられる袋を作る。
- 世田谷区のように、「燃えるゴミ」と「プラスチック類」は一緒にして収集できるようにしてもらいたい。
- ごみの回収、回数を増やしてほしい
- ④としてゴミ収集 個別分別収集は本当に素晴らしいです。これからもぜひつづけていただければと思います。新しい焼却施設も発電ができるなんて誇らしい気持ちです。

#### 28-2 ごみの安定処理

- 新しいゴミ処理場を作ったのですから、有料のゴミ袋やめてください。意味が分かりません。

#### 28-3 ごみの適正処理

- 可燃ごみ

### 施策29 生活環境の保全

#### 29-1 生活環境の維持向上

- 放射能検査，使用前に全品目。西日本食材使用の推進。ガレキ焼却は受け入れないで。
- ⑤として 飲料水 以前のように地下水を全てつかった水道水に戻していただけたらどんなによいかと思っております。前は本当においしかったです。
- これは隠れた問題ですが切実な問題で、何らかの対応・対策が必要です。ご存知のように猫の糞尿は嫌臭であり、それ以上に非衛生で、市民生活にとって不愉快極まりない喫緊な最重要案件です。市・国は「動物愛護」という偽善者めいた言葉のもとに適切な処置を何一つ取ってはいない

ように思えます。「動物愛護」という言葉を盾にとり、野良猫に餌を定期的に与え他人の迷惑も考えない人に対する処罰もない事が問題であり、善良市民の快適な暮らしを阻害し、不快な日々を強いられている現実をご理解願います。よって、ここに解決策を提案いたします。1)野良猫の自然消滅の為に不妊ホルモン剤入り餌を与え出産数を減少させる、被害者には無料若しくは割安料金で提供する。(市は不妊処置を推進しているようだが、現実的に非常に困難、野良猫をどのように捕獲するのか?) 2)野良猫に餌を与える人に対する処罰を制定する。(これは調布市独自で制定することが可能と理解しています) この問題を解決することで市が求めている真の「快適な住みよい町づくり」の原点であり最重要案件だと思います。以上をご提案しますので、市議会でご検討していただき、しかるべき回答と共にインターネットに開示してください。何卒宜しくお願い申し上げます。日々猫糞尿に悩まされ不快な生活を強いられている市民より。

- 騒音、雑音の取締
- 中心以外は静かに！

## 29-2 美化活動の推進

- 12月(この季節)、落葉が散ります。甲州街道の沿線・単に道路だけでなく歩道にも落葉が積もります。雨が降るとすべりやすく危険です。せめて市道は落葉樹ではなく低木に変え、葉の落ちないものに変えていただきたい。高齢化に伴い、道路際に住んでいる住人は掃くのも大変です。一考下さい。
- 子供をのせた自転車が当たり前の様に大手を振って走っている。自転車の駐輪、カンバン、樹木の板、植木鉢、商品のオートバイのタイヤを出して、当たり前の様に営業している等の規制を徹底してもらいたい。
- 街の美化
- 環境づくり
- 草刈りやゴミ拾いは大変だと思いますが大事にしてほしい。
- ポイ捨ての教育(特にタバコ)
- 町をきれいにすることとして、ゴミ箱を設置
- 通勤時、タバコのポイ捨てをよく見かけるが、その煙を吸い込むことがあります(ポイ捨て禁止、道路での喫煙禁止)。
- 歩道の整備、定期清掃実施、南大沢駅前の様にきれいな環境であれば汚す人もいなくなるだろうし、ゴミが無ければ物を捨てることも出来にくくなる。一本の吸い殻から環境、マナーが悪くなっていくのでは。
- ドッグランが有りますので、犬の散歩禁止の公園があってもよいのではないのでしょうか。(糞がそのままになっている時があり、乳幼児等が転んだりした時とても困っています。
- 自転車に乗りながらの携帯・タバコの禁止
- 多摩川住宅西のバス停のすぐ脇に喫煙場所がある。この場所は(バスは)お年寄りが多い。風によっては、もろにバス待ちの列に煙がくるので、ハンカチで防いでいる人もいる。多いときは20人以上の人が吸っているのも非常に煙い。以前から不快に思っていたため、良い機会なので、ぜひ、分煙場所の検討をお願いしたい。どうぞよろしく申し上げます。
- 歩きたばこを全面禁止(駅周辺だけでなく)

## 第4章 自由意見

- 歩き煙草
- 路上喫煙のマナー，ゴミのポイ捨て等，両方とも守っている人が多いので，駅周辺等はどこに何とかしてもらいたいです。

### 29-3 下水道事業の推進

- 予算の分捕り合戦をやめ，共同計画が必要。下水溝の整備，夏になると地下より異臭（悪臭）が上がってくる。下水管の二重構造式など。

## 施策30 平和・人権施策の推進

### 30-3 国際交流と多文化共生の促進

- 調布在住の外国人の交流イベントなど

## 施策31 男女共同参画社会の形成

### 31-1 男女の人権の尊重と擁護

- 男女共同参画に関する条例の促進。実現に困難はあるものの，促進のための準備を希望する。

## 行革プラン

### 方針1 参加と協働のまちづくりの実践

#### 1-1 市民参加プログラムに基づく市民参加の推進

- 参加と合意を重視する課題解決型の市政。ガバナンスの視点で姿勢を見直すこと
- 仕事や子育てなどに追われる市民は，説明会や意見交換会にはなかなか参加できません。でも街づくりに参加したい人は実はたくさんいるのかもしれませんが。インターネットがこれだけ普及しているのだから，街づくりにも，もっとインターネットを活用して，すべての市民が参加できる様になる事を望みます。
- 市民の意見を届ける機会の創出
- 市民の声が問題
- 市民の声を聞く意見交換会をする
- 市民の日常的
- 市民への街づくりの協力
- 町内会や子供会などの市民団体の声がイコール市民の声というわけではない。道路の事を考えるとき，めったにその道を使わない人たちの意見よりも毎日利用している当事者の声に耳を傾けてほしい。
- 機会があれば街づくりに参加したい。
- 橋本，吉祥寺，八王子各街づくりは，学生も楽しめ，市民と交通できる街づくりは，企業と学生の交流機会をつくる

#### 1-3 市政情報の積極的な提供

- 調布駅周辺がどのように変わるのか情報が入ってこないなので，チラシや広報誌で教えて欲しい

- このように総合計画を立て行っていることをもっと市民にアピールしたら良いと思う。
- 市の各月の冊子が届きますが、お年寄りには字が小さく、見づらいそうです。もうすこし字が大きいと便利です。
- 市報の配布の見直し
- 調布に限らないが、公官庁の通信、書面文書が抽象的でむずかしく、一読しただけでは理解しにくい。もっと平易で、誰にでも理解しやすい文書にして欲しい。一応（三流）大学を卒業しているが、何を言っているのか分からない文書が多すぎる。
- 道路整備などの情報をいち早くわかりやすく伝達

## 方針2 効率的な組織体制の整備

### 2-1 効率的で機能的な組織・システムづくり

- あくろすよく利用します。常にYahoo知恵袋やインターネットページを開き明らかに何もしていない方々が沢山います。市民が相談に来たり、いろいろな講座を受けたり沢山利用してもらうための工夫を現場レベルでも工夫される指導をされてください。とにかく、このようなアンケートでどの程度反映されるのかわかりませんが、調布市は、せつかくの施設規模に対して活気がありません。なあなあで仕事をされている職員の方々を見てがっかりします。
- 神代出張所を利用する際、混んでいてもうしろの席の人は知らん顔。そんな忙しくはないと思うので、混雑するときは手伝ってほしい。府中等と比べるとサービスが悪い。職員の給与ばかり上げないで（福利厚生も必要以上に良いと思う）、住民にもっと返してほしい
- 名字の違う子供が、親の住民票の除票を取るだけでも大変でした。必要な物をセット販売し、他の市区町村と連携し、手続きの簡略化を。市役所内の連携もお願いします

### 2-2 市民サービスの提供主体の見直し

- たづくり、グリーンホールのどちらかの施設の廃止（類似施設は2ヶ所も不要）、シルバー人材センターは雑な仕事しかしないし誠意がないので解体すべきである。（材料を横流ししている？）

## 方針3 人材の確保・育成

### 3-1 専門性を有する人材の確保と育成

- 計画や施策の実施を支えるのは人です。街づくりは創造力や感性、さらに企画力、交渉力などが求められる仕事だと思います。人材を育成することが何よりも優先する課題です

### 3-2 人事・給与制度の見直し

- 役所の職員の給与の減額（民間委託の職員を除く）、役所の職員数削減、役所の怠慢への厳罰化、役所の職員に因る市民への傲慢な態度を改める（1階正面玄関の職員は最低）

### 3-3 研修の充実

- この2、3年で市役所の方の対応が大分変わりましたが、保険係の若い娘の対応の仕方にはプロ意識が無く、不正の多額のお金が出費されている事を報告に行ったのに、「都庁の保険係に行ってください」こちらは調布医療保険から「貴方は何月何日何回行って間違いないか」紙を頂いたの

## 第4章 自由意見

で訂正に行ったのに本当に失礼きわまりない事で、2度目の時は課長に直接に報告しました。70才以上でも3割の医療費は払い、レシートも残してあり、老人といえど税金は大切に使いたいです。日本の国力の落ちている現在子供や孫に負担なく、老人を優遇する事なく、これからを支える若い人や子供を大切に日本を発展させる事を願うばかりです。文化祭に300万円をかけてお金を使う事もなく、子供達のに為にもっと有効な使い方をして頂きたい。「選挙権の無い人を大切に」。市の方も「親方日の丸」でなく、プロとして、頑張ってお返しをお願い致します。

- 市役所職員の研修をスタート、次段階での育成と役職をになう人材について、積極性が不足、各機関の女性を参画希望。将来は女性の知事、副知事の擁立も視野に入れる。
- 職員の対応で、問題がある人がいる
- 独り暮らしのお年寄り、個人商店、企業、独り親家庭・介護の現場に公務員は研修に行くべき。いろいろな事が見えてくると思う。中学生の職場体験の様に
- 年代別の必要事項の把握

## 方針4 計画行政の推進

### 4-1 計画の推進

- 将来新しい市役所になったらいいなと思います。食堂も美味しく良い物になったらうれしいと思います。無駄ではなく、顔として、災害の時にもそのいざという準備、使いやすいようにということ。
- 施設の整備

### 4-2 PDCA マネジメントサイクルによる行財政運営

- Scrap and build 中途半端、未完成 先を越す（全て慎重すぎ、土俵際、負けた、と）
- プランを立てたり、パブコメ実施したりする費用を商品券（市内）でもバラまいた方が確実に効果がある。
- ムダな使い方はやめてほしい。道路の整備もお金をかけすぎている感じがする。役所の職員の人数が多すぎる。仕事が楽そうに見える、今時土・日休みは考えられない。
- 効率的な財政利用
- 重点化、効率化。市民の自助力育成でバラまきは止める。文化振興を税金ですべきではない。低いレベルの人間欲求の充足で良いと思う。他の社会保険料で世代格差が酷い
- 人の為にとやってやる事がお金を使う為に人にとって良い事をするのは間違っている。本当に困っている時、お金を使うべきで、ワザワザ集まったお金を使わなくてはいけないという考えをまず変えるべきと思う。無駄ではないのかと本当に今それが必要なのかと今で充分に用は足りているのではないかとその考え方やスタンスを変えて、信用のある社会を地域である事が軸ではないいけないと感じます。
- 人口が減っていくこと、それにつれて経済規模も縮小して停滞すること、税収も減少する可能性が高いことを前提とした街づくりが必要だと思います。総じていえば、拡大や新規の建設ではなく、今あるものを上手に使うことを心がけるべきでしょう。そうした中で、市の街づくり施策は、弱者が住みやすくなることを重視すべきで、経済的に恵まれた層には、自助努力を期待することも必要かと思っています。

- 配当された予算をその年度に消化しないと次年の予算がけずられるため、予算消化のため、不必要なものの購入や工事をするときいています。真実なら是非改めてほしいです。調布市の給与は多摩地域でベスト5に入る高さときいています。市の組合活動の部屋も市役所にあるときいています。適正な予算配当と、公民館や児童館、図書館などの充実を望みます。行政側のためではなく、そこを利用する市民のために。
- 無駄、不正の無い、税金の使われ方を希望します。
- 地元商店会などの方々が予算の余りで旅行や飲み食い（レストランで）、観劇とかってどうなんですか？普通、社会的に見て会社の経費で自由にお楽しみなんて今の時代無いと思います。そのお金で他の事出来ると思うのですが。

## その他

- このようなアンケートはとても素晴らしく思います。市民の意見をぜひ反映させてください。
- お願い 返信用封筒は封の部分にテープなどを貼っておいて頂たい。自宅にのりを常備しておらず、困ります。
- アンケート、市民の意見もわずかでも謝礼が出れば、もっと意見する人もいます。時間はタダじゃない。
- 市民アンケート用紙など勝手に送ってこないで下さい。はっきり言って迷惑です。
- 封筒が小さすぎます。テープ付のものが便利だと思います。
- 民間企業のアンケートに協力をしているが、有償である。高い市民税を、この地域のことをあまり知らない市役所員に払っているのに、何故無償でこのようなことをしなければならないのだろうかと思う（2時間近くかかった）。市は凶々しいと感じます
- 問とは関係ないが、無作為で抽出された人にアンケートを送っているとのことだが、以前にもそのようなアンケートが送られてきたので、連続して当たった場合には除外するなどして頂きたい。（その年度内同じ方々に送っているというのであればその旨を明記すべき）
- 都市計画法で転居予定で有り、良い考えがうかばない。
- 10年であるのでその為の対策をしてほしい
- 京王線の地下化や武蔵境通り・市役所通りの拡張は、便利にはなったが、数億円（数十億？）かけてでもやる価値があったのか。結局は建設関係の人の給料を払うために税金を払っているようなもの。そのお金を福祉へ！ 調布市だけでなく都・国も「10～20年後には、箱物・道路関係の仕事は大幅に減る」と宣言して、建設関係の人を別の仕事にうつす方向にした方がいい。別の仕事が見つからず失業してしまう人には、それこそ税金を充当して良いと思う。そうすれば、（10～20年後までは、お金がかかっても）10～20年たてば、公共事業が大幅に減り、税金は福祉などに充分あてられるようになると思います。この意見が是非市民にも読んでもらいたいです。長友市長の時しか、そういうことはできないと思うから。後任を期待せず、任期中にそういう方向を考えたり、議会に提案してほしいです
- なにもやっていない市長だと思えます。何も取り組んでないと思えます。市長は市民にあいさつをしない！選挙のときだけだ！
- よい調布に成りますようによくお願い致します
- 子育てのしやすさ、行政サービスの充実、おしゃれ等何か突出した強みを打ち出すべき

#### 第4章 自由意見

- 他の政策的経費をゼロにしてもやるんだというようなビックプロジェクトを期待します。特定の人のみ受けられる補助金とかは後回しでよいかと思う。
- 調布市長を変えるべきです。
- 両論の中間点を取るようなやり方はしてほしくない。豊かな調布市として先進的な取り組みを期待します。市民、議員にまけるな！
- これからも調布を良い町にしていきたい。
- 安心、安全はもちろん、清潔なくらし
- 安心して住み続けられる街
- 安心に住み続けられる街
- 一人一人のやることの大切さ
- 活気のある町あのような時代戻ってほしい。
- 京王線と言えば調布
- 国立の大学があるのだから、地方出身の学生が住みやすい町。働く場所のある町
- 子ども達が大きくなって、別の場所に住んだり、家庭を持って、また調布に戻って住みたいと思えるようなまちになると良いと思います、
- 市民が暮らしやすい町 施設・税金等のいい
- 人が集まりのある街調布
- 人が落ち着ける街にしたい。
- 人を中心に
- 生活水準が高い人が多い街ですね（地主？）。この感覚を保つのか、新しい感覚を取り入れるのか。調布市はどうしたいんですか？ より良くは分かりますが、どうしたいんでしょう。
- 他の地域から人がやって来る調布市
- 誰でも安心、安全に生活できる町。人にやさしくなれる町
- 調布を無意味な街にしない。
- 調布市のいわゆる箱モノはいらない
- 調布市を安心安全の街に。
- 調布市国領に来て22年目になります。今まで大きな災害にもあった事なく、とても住みやすい街です。「強いまちづくり」なんて考えたこともありませんでした。今は満足（町）で何の不満もありません。
- 長く住んで根付いてゆく市になってほしい。
- 箱物づくりは不要
- 発展の遅い町
- 文字からはどんな街か全然イメージできない。ロールモデルなどがあれば、それぞれのプロジェクトで示して欲しい
- 様々の施設が増え、町というより都市になりつつあるので24区目のような特区優待されるべきだと思います。調布の名は残し調布区になってほしい。
- ゲゲゲの鬼太郎は調布の文化ではない。
- まちづくりに関係なくてごめんなさい。
- もう少し補助金があると良いと思う



- 金や教育担当者強化, 雇用促進策強化等を進めてもあまり期待できない。65才以上の資産を無理無く進んで社会に提供出来るような方法を考えるは。



**【参考】 調査票**

---



# 調布市基本計画策定に関する 市民アンケート調査

平素より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

市では、調布市総合計画に基づき、計画的なまちづくりを推進しています。現行の総合計画の計画期間が平成24年度で終了することから、平成25年度からの10年間のまちづくりの方向性を示す新たな総合計画の策定に取り組んでいます。

本年6月には、「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」をまちの将来像として掲げた新たな基本構想を市議会の議決を経て策定しました。この将来像の実現に向け、基本的な施策の体系や各施策における主要な事業の概要などを示す平成25年度からの新たな基本計画について、現在検討を進めています。

この調査は、新たな基本計画の検討内容などに関して、市民のみなさんの意識をうかがい、今後の計画づくりに生かすことを目的として行うものです。

調査に当たりますには、調布市に住民登録をしている16歳以上の方から、約3,000人の方を無作為に抽出させていただきました。

ご多忙のところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成24年12月

調布市長 長友 貴樹

## <ご記入に際しての注意事項など>

### 1 ご記入に際してのお願い

- このアンケート調査にお答えいただくのは、調布市に住民登録している満16歳以上の方から、無作為に選ばれた3,000人の方々です。
- このアンケート調査は無記名で、かつ、回答結果は統計的に処理するとともに、調査目的以外には利用いたしません。ご意見をありのままにご記入願います。

### 2 ご記入上の注意事項

- 宛名のご本人がお答え願います。ただし、事情により、ご本人の記入が難しい場合には、ご家族の方が代わりにご記入いただいても結構です。
- お答えは、この調査票に直接ご記入願います。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に折りたたんで封入していただき、

**12月27日（木）までに**郵便ポストへ投函してください。

## <本調査に関する問い合わせ先>

調布市役所 行政経営部 政策企画課

TEL：042-481-7368 FAX：042-485-0741

E-mail：[kihonkeikaku@w2.city.chofu.tokyo.jp](mailto:kihonkeikaku@w2.city.chofu.tokyo.jp)

## 【参考】調査票

アンケートにお答えいただく前に、新たな基本計画の検討状況についてお知らせします。

## 総合計画とは？

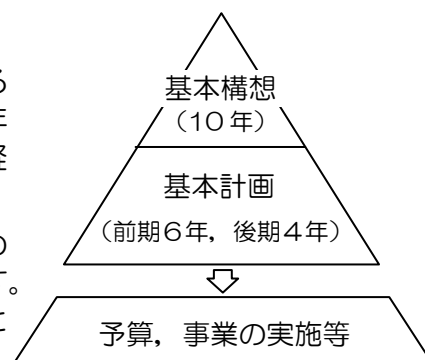
総合計画とは、市が市政・まちづくりを計画的・総合的に進めるに当たって、中心的な役割を担う計画です。現在、策定に向け取り組んでいる新たな総合計画は、平成25年度から平成34年度までの10年間を計画期間としています。今後の調布市の市政・まちづくりの方向性を明らかにし、各施策・事業の展開や毎年度予算の基本的な指針となるものです。

### ■（仮称）第5次調布市総合計画の構成

新たな総合計画は、「基本構想」と「基本計画」によって構成します。

「**基本構想**」は、調布市が目指すべき将来都市像と、それを実現するための基本方針を示したものです。計画期間は、平成25年度を初年度とする10年間です。平成24年6月19日に、市議会の議決を経て策定しました。

「**基本計画**」は、基本構想に即して、その基本方針を具現化するための主な施策の体系や各施策における主要な事業の概要を示すものです。計画期間は、平成25年度を初年度とし、前期6年間、後期4年間とします。前期計画は、平成24年度末に策定する予定です。



〈参考〉総合計画策定に関する取組や検討状況については、調布市ホームページ (<http://www.city.chofu.tokyo.jp>) のコンテンツ「（仮称）第5次総合計画（平成25年～34年度）」でお知らせしています。

（ホームページのトップページ画面の左下「**新・総合計画策定**」のボタンをクリック）

## 基本計画の内容(検討案)

### ■基本計画の位置付け

- 新たな調布市基本構想に掲げた将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」の実現に向けて、分野ごとに現状や課題を明らかにするとともに、基本的な施策を体系的に示します。
- 従来策定してきた実施計画については、その主な内容をこの基本計画に包含するものとし、各施策分野における主要な事業の内容及び規模の概要を基本計画において一体的に示します。
- 各施策における現状と課題を踏まえた基本的取組に加え、主要な事業の実施により、基本計画の実効性を確保します。

### ◇◇基本計画の特色◇◇

#### **まちの将来像の実現に向けた重点プロジェクトを明確にした基本計画**

分野別の施策体系の中で、特に計画期間内に重点的に取り組むべき主要課題を選択と集中の観点から重点プロジェクトとして位置付け、優先性を踏まえた事業実施によって、限られた経営資源を計画的かつ効果的・効率的に活用し、基本構想を着実に実現していく計画とします。

#### **まちづくり指標により施策の到達目標を分かりやすくした基本計画**

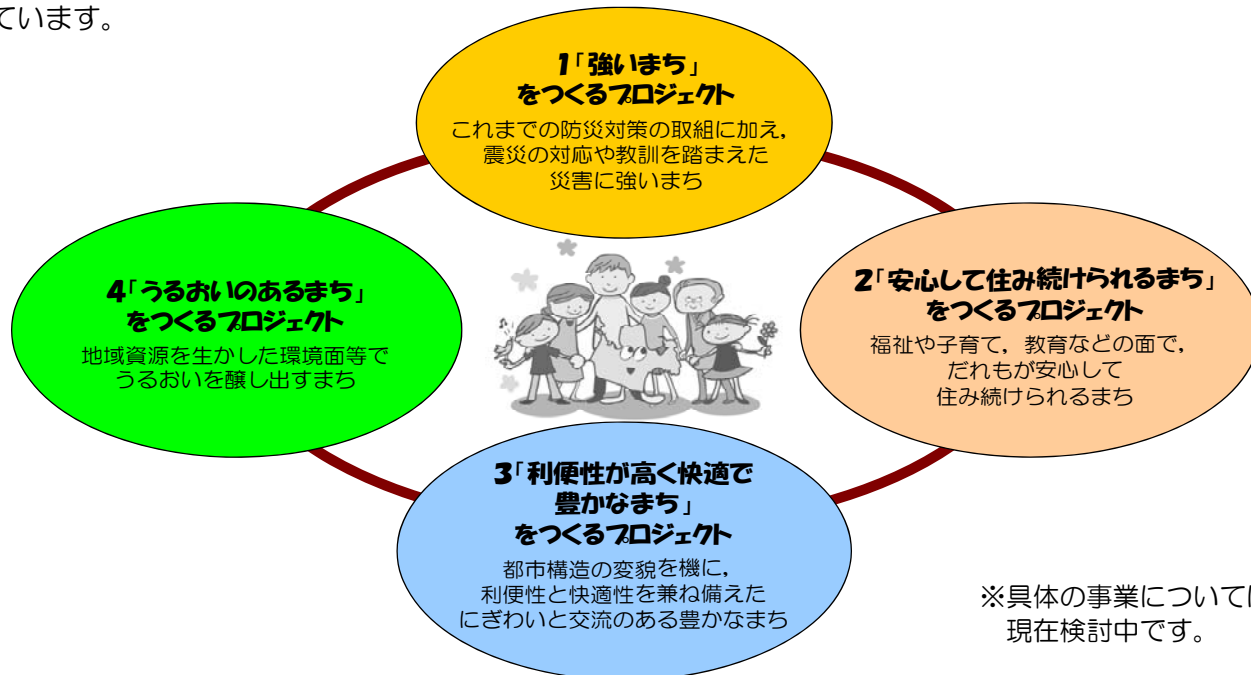
分野別計画の各施策において、事業の実施によりどれだけ成果が上がったかを把握するための「まちづくり指標」とその目標値を設定し、施策の到達目標や成果を分かりやすくする計画とします。

#### **参加と協働をより一層高める基本計画**

分野別計画の各施策において、施策を推進するうえで期待される市民や事業者等の役割など、参加と協働の視点を盛り込み、参加と協働を一層高める計画とします。

## 重点プロジェクト

基本構想に掲げたまちの将来像「**みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布**」を実現していくうえで、計画期間内に特に重点的に取り組むべき主要課題について、以下の4つの視点から重点プロジェクトとして位置付けています。



## 分野別計画

8つの基本目標とまちづくりの基本理念に沿って、分野別の将来像の具現化に向けた施策の方向や基本的取組、主要な事業などを位置付けます。

### 【8つの基本目標】

- ①共に助け合い、安全・安心に暮らすために(施策01～03) **防災** **防犯** **消費生活**
- ②次代を担う子どもたちを安心して育てるために(施策04～06) **子ども・子育て支援** **学校教育** **青少年の健全育成**
- ③だれもが安心して、いきいきと暮らすために(施策07～12) **地域福祉** **高齢者福祉** **障害者福祉** **セーフティネット**  
**雇用・就労** **健康づくり**
- ④身近な学びと交流のあるまちをつくるために(施策13, 14) **生涯学習** **スポーツ**
- ⑤地域のつながりの中で、ぬくもりのある暮らしをおくるために(施策15) **地域コミュニティ**
- ⑥地域資源を生かした活力あるまちをつくるために(施策16～20) **産業** **観光** **都市農業** **芸術文化** **歴史文化**
- ⑦快適でより便利なまちをつくるために(施策21～25) **市街地整備** **都市空間の形成** **住環境** **道路** **交通**
- ⑧環境にやさしく、自然と共生するために(施策26～29) **地球環境** **水と緑** **ごみ** **生活環境**

### 【まちづくりの基本理念】

- ⑨まちづくりの基本理念を実現するために(施策30, 31) **平和・人権** **男女共同参画**

## 計画を推進するために(行革プラン2013)

基本構想に掲げた、まちづくりの実践に当たっての3つの基本的な姿勢を柱に、具体的な行財政改革の取組を示しています。

### 【3つの柱】

- ①市民が主役のまちづくり
- ②市民のための市役所づくり
- ③計画的な行政の推進

### 【4つの方針】

- 方針1:参加と協働のまちづくりの実践**
- 方針2:効率的な組織体制の整備**
- 方針3:人材の確保・育成**
- 方針4:計画行政の推進**

### 【プラン】

個別プラン  
(年度別計画)

次のページからが質問・回答シートです。全部で47問あります。

設問が多く恐縮ですが、最後までご協力をお願いいたします。

### ＜質問・回答シート＞

それぞれの質問に対し、選択肢の中からあなたご自身のお考えに最も近い番号を選び、質問文に示されている範囲で、該当する番号に直接○をつけてください。

## 1 「新たな基本計画」について、うかがいます。

平成25年度からの新たな基本計画では、優先的かつ重点的に取り組む必要がある主要課題について、課題解決に向け各施策を横断的に関連付け、4つの視点から重点プロジェクトとして位置付けます。(P2参照)。それぞれの重点プロジェクトに対する優先度について、うかがいます。

### 1 「強いまち」をつくるプロジェクト

これまでの防災対策の取組に加え、震災の対応や教訓を踏まえた災害に強いまちをつくります。

問1) 「強いまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。2つ以内で選んで○をつけてください。

- 1 地震などの災害対策
- 2 火災などへの消防対策
- 3 災害時に機能を果たす道路整備
- 4 自助・共助による防災への取組の促進（地域での防災訓練など）
- 5 地域コミュニティの醸成（地域のつながりや連帯感を育む）

【その他、「強いまち」づくりについて、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

### 2 「安心して住み続けられるまち」をつくるプロジェクト

福祉や子育て、教育などの面で、誰もが安心して住み続けられるまちをつくります。

問2) 「安心して住み続けられるまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。3つ以内で選んで○をつけてください。

- 1 保育園・学童クラブなど子育て支援サービス
- 2 小・中学校の教育
- 3 青少年の非行防止及び健全育成対策
- 4 高齢者の福祉
- 5 障害者の福祉
- 6 雇用・就労支援
- 7 地域コミュニティの醸成（地域での見守りや助け合い）
- 8 健康診断など保健サービス

【その他、「安心して住み続けられるまち」づくりについて、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】



### 3 「利便性が高く快適で豊かなまち」をつくるプロジェクト

京王線の地下化により南北市街地の分断が解消されまちの一体化が図られます。この都市構造の大きな変貌を機に、利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと交流のある豊かなまちをつくります。

問3) 「利便性が高く快適で豊かなまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。3つ以内で選んで○をつけてください。

- 1 中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気、にぎわいの創出
- 2 回遊性を高める安全で快適な道路整備
- 3 市内工業・商業などの活力向上
- 4 魅力ある観光の振興
- 5 日常の買い物の便利さ
- 6 市内中小企業に対する支援
- 7 公共交通環境の整備
- 8 自転車駐車場の整備

【その他、「利便性が高く快適で豊かなまち」づくりについて、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】

### 4 「うるおいのあるまち」をつくるプロジェクト

地域資源を生かした環境面等でうるおいを醸し出すまちをつくります。

問4) 「うるおいのあるまち」づくりについて、今後の市の取組として、次のうちどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。3つ以内で選んで○をつけてください。

- 1 緑や水辺などの自然環境の保全
- 2 公園や遊び場の整備
- 3 地球温暖化対策
- 4 良好な街並み・景観の形成
- 5 魅力ある観光の振興
- 6 芸術・文化活動の促進
- 7 歴史・文化の保存や継承

【その他、「うるおいのあるまち」づくりについて、ご意見やご提案がありましたらご記入ください。】



問9) あなたは、定期的ながん検診を受けていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1 受けている	2 受けていない
---------	----------

問10) 問9で「1 受けている」を選んだ方に伺います。どのようながん検診を、どのような場所で受けていますか。次の中からそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

【受けているがん検診】

1 胃がん	4 乳がん
2 大腸がん	5 肺がん
3 子宮がん	6 その他 ( )

【受けている場所】

1 職場での検診	3 人間ドック
2 住民検診(調布市で実施している検診)	4 その他 ( )

【生涯学習について】

問11) あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習に取り組んだことがありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

※「生涯学習」とは、自らの意思で自発的に行う学習活動です。具体的には、家庭・学校・職場・公民館・図書館などでの学習の他、健康・スポーツ、芸術・文化などの活動における知識・技能の習得を含みます。

1 取り組んだ(年1回)	3 取り組んだ(月1回以上)
2 取り組んだ(年に数回程度)	4 取り組んでいない

問12) あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能をまちづくりや仲間づくりなど自分以外のために生かしていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1 生かしている	3 どちらかといえば生かしていない
2 どちらかといえば生かしている	4 生かしていない

【参考】調査票

【地域コミュニティについて】

問13) あなたは、この1年間に地域の活動やイベントに参加したことがありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1 参加している（ほぼ毎日）	4 参加している（年に数回程度）
2 参加している（週に1回程度）	5 ほとんど参加していない
3 参加している（月に1回程度）	

問14) 問13で「1～4」のいずれかを選んだ方に伺います。それはどのような団体のどのような活動ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

【団体】

1 自治会	6 学校開放運営委員会
2 地区協議会	7 防災市民組織
3 NPO法人	8 老人クラブ
4 PTA・保護者会	9 その他の任意のグループ・サークル
5 健全育成地区委員会	

【内容】

1 消防・防災・防犯	5 高齢者・障害者の見守り
2 地域美化	6 環境保全
3 子ども・子育て支援	7 健康づくり
4 青少年健全育成	8 その他（ ）

【活動場所】

1 地域福祉センター	5 文化会館たづくり
2 ふれあいの家	6 公民館
3 小・中学校	7 市民活動支援センター
4 保育園・児童館・青少年ステーション	8 その他（ ）

問15) あなたは、「地区協議会」の取組をご存じですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

※「地区協議会」とは、市が設立・運営を支援している地域のゆるやかなネットワーク組織です。

1 良く知っている	3 知らない
2 聞いたことがある	



【参考】調査票

【市街地整備について】

問 20) あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的であると思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。また、中心市街地の魅力を高めるために必要なものは何だと思いますか。3つ以内で選んで○をつけてください。

【中心市街地の魅力（1つ選んで○をつけてください）】

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |

【必要なもの（3つ以内で選んで○をつけてください）】

- |            |           |            |
|------------|-----------|------------|
| 1 商業・業務施設  | 6 公共交通    | 11 バリアフリー  |
| 2 文化施設     | 7 人に優しい道路 | 12 良好な駅前景観 |
| 3 子ども・福祉施設 | 8 広場空間    | 13 その他     |
| 4 防災施設     | 9 自転車走行空間 | ( )        |
| 5 駐輪場      | 10 公園・みどり |            |

問 21) あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |

問 22) 問 21 で「1～2」のいずれかを選んだ方に伺います。特に優れていると思う景観を次の中から1つ選んで○をつけてください。

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1 国分寺崖線の水と緑       | 3 深大寺通りや参道などの通りから見える街なみ |
| 2 深大寺や青渭神社などの社寺仏閣 | 4 その他 ( )               |

問 23) あなたが普段利用する市内の駅周辺は、利便性が高いと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |

【上記のように思う理由をご記入ください】

【その他、普段利用する駅周辺について感じていること】



【参考】調査票

【参加と協働のまちづくりについて】

問 29) あなたは今後、市政・まちづくりに参加したいと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

1 積極的に参加したい 2 機会があれば参加したい	3 参加したくない 4 関心がない
------------------------------	----------------------

→ 問 31 へ

問 30) 問 29 で「1 積極的に参加したい」、「2 機会があれば参加したい」を選んだ方にうかがいます。あなたはどのような手法で参加できますか。また、どのような参加手法をとれば、より多くの市民の意見が行政に届けやすいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

内容	あなたが参加できると 思うものに○	より多くの市民意見が届 きやすいと思うものに○
1 説明会や意見交換会（平日夜間の開催）		
説明会や意見交換会（土日・休日午前の開催）		
説明会や意見交換会（土日・休日午後の開催）		
2 アンケート調査		
3 パブリック・コメント ※1		
4 委員会・審議会		
5 インターネットを活用した市政モニター※2 や SNS※3 など IT の活用		
6 【その他、市政・まちづくりへ参加できると思う手法がありましたらご記入ください。】		
【その他、より多くの市民意見を行政に届けやすいと思われる参加手法がありましたらご記入ください。】		

※1 市が定めようとする条例や各種の計画・制度等の策定過程の案について、市民から意見を募集し、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、提出された意見や市の考え方などを公表する一連の手続

※2 インターネットを使用して市政に関するアンケートを実施することで、市政に関する課題解決の方向性などを把握し、市の事業等の改善や新たな施策等の企画立案に活用するもの

※3 Social Networking Service（ソーシャルネットワーキングサービス）の略で、参加するユーザーが互いに自分の趣味、好み、社会生活などのことを公開しあったりしながら、幅広いコミュニケーションを取り合うことを目的としたコミュニティ型の Web サイトのこと。代表例としては、Facebook（フェイスブック）や Twitter（ツイッター）がある。

問 31) 問 29 で「3 参加したくない」、「4 関心がない」を選んだ方にうかがいます。参加をしない・関心がない理由は、主にどのようなことですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないため 2 市政・まちづくりに関する情報が足りないため 3 参加したいと思う・興味がある取組がないため 4 市政・まちづくりは行政や議会にまかせるため 5 市政・まちづくりに対して特に不満や意見がないため 6 その他（具体的に _____ ）
--



## 3 「国民体育大会・オリンピック」について、うかがいます。

## 【国民体育大会の開催について】

問 32) あなたは、平成 25 年（2013 年）秋に、味の素スタジアムをメイン会場として「第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会」（スポーツ祭東京 2013）が開催されることを知っていますか。次の中から 1 つ選んで○をつけてください。

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 33) 問 32 で「1 知っている」を選んだ方にうかがいます。開催をどのように知りましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。（※複数回答可）

1 市報・ホームページ	3 地域イベント
2 チラシ・ポスター	4 その他（具体的に）

※味の素スタジアムでは、国民体育大会の開閉会式、陸上競技、サッカー競技、障害者スポーツ大会の陸上競技が実施されます。このほか、調布スポーツセンターで、障害者スポーツ大会のボウリング、調布市総合体育館でデモスポ行事のドッチビーが実施されます。

## 【2020 年東京オリンピック招致について】

問 34) あなたは、東京都が行っている 2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の招致活動において、東京スタジアム（味の素スタジアム）が競技会場の候補となっていることを知っていますか。次の中から 1 つ選んで○をつけてください。

1 知っている	2 知らない
---------	--------

※東京スタジアム（味の素スタジアム）では、サッカー競技、近代五種競技（馬術、ランニング、射撃）の実施が計画されています。このほか、スタジアムの西側に整備が予定されている（仮称）武蔵野の森総合スポーツ施設で、近代五種競技（フェンシング、水泳）が実施される予定です。

問 35) あなたは、2020 年オリンピック・パラリンピック大会が東京で開催されることを希望しますか。次の中から 1 つ選んで○をつけてください。

1 希望する	3 希望しない
2 どちらでもない	



TOKYO ● 2020  
CANDIDATE CITY

今、ニッポンにはこの夢の力が必要だ。  
2020年 オリンピック・パラリンピックを日本で!

東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート



スポーツ祭東京 2013  
第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会  
2013(平成25)年9月28日(土)~10月14日(祝)開催

【参考】調査票

4 最後に「あなたご自身のこと」について、うかがいます。

問 36) あなたの性別について、1つ選んで○をつけてください。

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問 37) あなたの年齢について、1つ選んで○をつけてください。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 16～19 歳 | 6 60～64 歳 |
| 2 20～29 歳 | 7 65～69 歳 |
| 3 30～39 歳 | 8 70～74 歳 |
| 4 40～49 歳 | 9 75 歳以上  |
| 5 50～59 歳 |           |

問 38) あなたのお宅には次の方が同居していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 6歳以下の乳幼児がいる  | 3 65歳以上の家族がいる |
| 2 小・中学生の子どもがいる | 4 いない         |

問 39) あなたの現在のお住まいについて、1つ選んで○をつけてください。

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 1 一戸建て（持ち家） | 5 公営住宅（公団，公社，都営，市営） |
| 2 一戸建て（借家）  | 6 社宅・官舎             |
| 3 集合住宅（分譲）  | 7 その他（ ）            |
| 4 集合住宅（賃貸）  |                     |

問 40) あなたの職業について、1つ選んで○をつけてください。

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1 自営業                   | 6 専業主婦（主夫） |
| 2 農業                    | 7 無職       |
| 3 会社員・公務員など             | 8 その他（ ）   |
| 4 派遣・契約・嘱託社員，パート・アルバイト  |            |
| 5 学生（高校生，大学生，各種専門学校生など） |            |
- ↓

問 41) 問 40 で「1～5」のいずれかを選んだ方にうかがいます。あなたの通勤（就業）・通学先はどちらですか。

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| 1 自宅                      | 4 東京 23 区内 |
| 2 市内（自宅以外）                | 5 その他      |
| 3 多摩地域（東京 23 区内・島しょを除く地域） |            |

問 42) あなたがお住まいの地域はどこですか。「1 東部地域」～「5 西部地域」の中から、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

1 東部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 西部地域
対象となる町丁目				
菊野台1～3丁目 東つつじヶ丘1～3丁目 西つつじヶ丘1～4丁目 入間町1～3丁目 仙川町1～3丁目 緑ヶ丘1～2丁目 若葉町1～3丁目	佐須町1～5丁目 柴崎1～2丁目 調布ヶ丘3～4丁目 深大寺元町1～5丁目 深大寺北町1～7丁目 深大寺東町1～8丁目 深大寺南町1～5丁目	小島町1～2丁目 布田1～4丁目 国領町1～5・8丁目	小島町3丁目 布田5～6丁目 国領町6～7丁目 染地1～3丁目 多摩川3～7丁目 調布ヶ丘1～2丁目 八雲台1～2丁目	飛田給1～3丁目 上石原1～3丁目 富士見町1～4丁目 下石原1～3丁目 多摩川1～2丁目 野水1～2丁目 西町

問 43) あなたが普段利用する駅はどこですか。1つ選んで○をつけてください。

1 調布駅	5 つつじヶ丘駅	9 京王多摩川駅
2 布田駅	6 仙川駅	10 京王線以外の駅 (                  駅)
3 国領駅	7 西調布駅	
4 柴崎駅	8 飛田給駅	

問 44) あなたは、調布市にお住まいになって、通算で何年になりますか。1つ選んで○をつけてください。

1 3年未満	4 10～20年未満
2 3～5年未満	5 20～30年未満
3 5～10年未満	6 30年以上

問 45) あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。1つ選んで○をつけてください。

1 感じている	4 どちらかといえば感じていない
2 どちらかといえば感じている	5 感じていない
3 どちらともいえない	

問 46) 問 45 で「1～2」のいずれかを選んだ方にうかがいます。あなたが、調布のまちに親しみや愛着を感じている理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 安全で安心して暮らせる	5 豊かな自然がある
2 地域のふれあいがある	6 魅力的な店や商店街がある
3 祭りやイベントが楽しい	7 スポーツ施設が充実している
4 歴史や伝統が根付いている	8 文化施設・学術機関が充実している

【その他、調布のまちに親しみや愛着を感じる理由等がありましたら、ご記入ください。】

【参考】調査票

【全体を通じて】

問 47) 今後の調布市のまちづくりにおいて、どのような視点で取り組んでいくことが必要だと思いますか。ご意見やご提案等がありましたらご記入ください。

視点・テーマ	ご意見・ご提案の内容
①	
②	
③	

質問は以上で終わりです。  
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート調査票は、お手数おかけして恐縮ですが、折りたたんで返信用封筒（切手不要）に封入していただき、**12月27日（木）まで**に郵便ポストに投函してください。

なお、本調査の結果の概要については、市のホームページ等で公表します。



登録番号  
(刊行物番号)

2012-298

---

調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査報告書

発行日 平成25年(2013年) 3月

発行 調布市

編集 行政経営部政策企画課

〒182-8511 調布市小島町2-35-1

電話 042-481-7368～9 (直通)

FAX 042-485-0741